

輸入税率
一〇〇斤に付——三圓二五錢

◎主要生産者

- 富士製紙株式会社 (東京)
- 王子製紙株式会社 (〃)
- 樺太工業株式会社 (〃)
- 三菱製紙株式会社 (〃)
- 北越製紙株式会社 (長岡)

◎主要輸入者

- 三井物産株式会社 (東京)
- 米國貿易株式会社 (〃)

模造羊皮紙類

本項に屬する始ものには模造羊皮紙即ち硫酸紙をめとし、パラフィン紙、ワックス紙等がある。

模造羊皮紙はサイズを施さざる原紙を、一定の速度を以て硫酸溶液中を通過せしめ、表面を膠質に變化せしめたるものにして、耐水性に富み且つ頗る強靱なるを以て食料品、各種藥劑、石鹼其の他防水を必要とする各種物品の包紙として用ひらる。

パラフィン紙及びワックス紙は共に模造羊皮紙に類似し、半透明にして防水性に富めるを以て菓子、牛酪乾酪等の包紙、或は煙草、化粧品其他の包装紙として用ひらる。

輸入品の包装は、一連毎に紙包みとしたるもの二五連を一箱とす。

◎輸入税率

金屬箔粉を用ゐたるもの、押型を附したるもの、又は捺染したるものは一〇〇斤に付三圓八五錢。其他は一〇〇斤に付三圓二〇錢。

◎主要生産者

- 音羽加工紙製造所 (東京)
- 弘濟堂 (〃)

主要國別輸入額(昭和三年)

	輸 入 額		國 名	數量 價 額	
	數量	價 額		數量	價 額
大正10	16,792擔	941,545圓	英 吉 利	1,561擔	49千圓
11	20,219	639,872	獨 逸	18,122	511
12	32,608	993,320	伊 太	3,265	86
13	35,227	1,050,174	瑞 典	21,838	569
14	26,592	771,948	諾 威	4,212	77
昭和1	46,711	1,338,640	北 米	835	50
2	35,945	1,010,745			
3	54,215	1,494,239			
4	69,320	1,936,463			
5	52,504	1,391,990			

國 産 額

	數量	價 額
大正10	—	630,083圓
11	—	142,998
12	—	1,471,100
13	—	2,903,783
14	—	2,462,984
昭和1	—	4,842,369
2	—	5,301,148
3	—	7,278,225
4	—	7,054,368
5	—	7,358,160

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣 名	數量	價 額
東 京	—	2,406,955圓
福 井	—	126,932
靜 岡	—	2,248,884
京 都	—	690,665
大 阪	—	140,609
兵 庫	—	1,214,800
和 歌 山	—	403,275

◎主要輸入者

- 三井物産株式会社 (東京)
- 合名會社矢島商店 (〃)
- 株式會社高田商會 (〃)
- 米國貿易株式會社 (〃)
- 株式會社小峰商店 (〃)
- 合名會社朝田商店 (〃)
- 合資會社島田商店 (〃)
- 株式會社萩原商店 (大阪)
- 合資會社大一洋紙店 (〃)
- 株式會社岩井商店 (〃)
- 島貿易株式會社 (〃)

◎外國競争者

本邦に輸入さるゝものは多年間大部分獨逸産品が占めてゐたが、スエーデン其他の産品が獨逸産品と競争し、次第に獨逸産品の販路を蠶食し、現今に於てはスエーデン産品最も有力にして獨逸産品と相拮抗し、續いて伊太利産品及びノールウエー産品の順序である。ノールウエー産品の代表的なるものはマンゲダル會社製品にして、多年輸入されつゝあるが未だ徴々として振はず、スエーデン及び獨逸は依然として對等の地位に

1は今尚ほ國産不足にして且外國品は概ね價格低廉なるためである。

◎輸入品と國産品の優劣

模造紙は品質に於て輸入品稍々優り、且つ價格も輸入品が割安の場合が少くない。チエツユペーパーは國産品と外國品とは夫々用途が異なるも品質に於て大差ない。

◎輸入防止の主要處置

パルプの供給を潤澤ならしめることが最も肝要である。

◎輸入の主要原因

在り、互に品質を競ひ價格を競ひ、販路擴張に努力しつゝある。

模造羊皮紙、パラフィン紙及びワックス紙はその製造に熟練せる技術を必要とし、國産品は技術的に外國品に對抗し得ざるのみならず、強ひて之を生産するも到底外國品と同等以下の生産費を以て製造すること困難にして、外國品に壓倒されること頗る明白である。故に國産品として見るべきもの殆んどなく、僅かにワックス紙の生産者として別項記載の弘濟堂、音羽加工紙製造所等あるもその生産量は到底需要を充し得ざるため輸入は止むを得ない。

◎輸入品と國産品の優劣

前述の状態なるを以て、國産品は品質、價格共に輸入品に及ばない。

◎輸入防止の主要處置

現狀に於ては輸入を防止し得べき成算なく、時機を待つの外なし。

一二三、封筒

封筒は筆記用紙中特に強靱なるもの、或はマニラ麻、黄麻等を原料とせる所謂マニラ紙等を以て製し、又特に粗布を裏貼りしたる封筒用紙を以て製したるものにして、形状、寸法等は一定せざるも、本邦在來の和封筒と西洋封筒との二種に大別さる兩種共現今に於ては殆んど國産品を以て需要を充し得るが、價格その他の關係に依り時に僅少の輸入を見る場合もある。

輸入品の包装は二四枚、四八枚、六〇枚乃至一二枚を一函とし、普通五〇函又は七二函を一箱とす。

◎輸入税率

箱入は一〇〇斤(箱共)に付三六圓六〇錢。
其他は價額に對する三〇%。

◎主要生産者

- 東京紙工株式会社 (東京)
- 吉川四郎商店 ()
- 東山堂 ()
- 武藏野製袋株式会社 ()
- 鎌田榮續堂 (大阪)
- 合名會社上村商店 (神戸)

	國産額		輸入額	
	數量	價額	數量	價額
大正10	—	—圓	—斤	—圓
11	—	—	—	—
12	—	—	—	—
13	—	—	31,724	38,316
14	—	—	13,804	16,663
昭和1	—	1,756,249	14,259	17,051
2	—	1,766,288	13,298	16,215
3	—	1,789,452	13,995	16,786
4	—	1,566,254	10,268	13,285
5	—	1,449,298	—	—

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
東京	—	346,564圓
愛知	—	24,516
大阪	—	562,533
兵庫	—	166,914
岐阜	—	96,128
岡山	—	87,254
高知	—	67,568

主要國別輸入額(昭和三年)

國名	數量	價額
北米	7,256斤	9,623圓
英吉利	2,153	2,368
獨逸	2,013	2,121
佛蘭西	568	625
和蘭	765	910
支那	15	13

◎主要輸入者

- 丸善株式会社 (東京)
- 伊東屋 ()
- 牧野商店 ()

◎外國競争者

獨逸産品、米國産品及佛國産品等であるが、輸入額微々たるものにして、有力競争者と見做すべきものはない。

◎輸入の主要原因

實用品は殆んど全部國産品が使用されつゝあるが、上流社交界の贈答用等として一部の需要あるために輸入さる。

◎輸入品と國産品の優劣

國産西洋封筒も大部分は外國製原紙を以て製作される。故に外國品は比較的割安であるが、品質に於ては何等優劣がない。

◎輸入防止の主要處置

輸入殆んど根絶の状態なるを以て何等防止策の必要なし。

一二三、寫真用紙

寫真用紙は其種類頗る多く、主たるものはバライタ紙、プロマイド紙、プラチナム紙、アリスト紙、セロイデン紙、ソリオ紙、青色印畫紙等で

額

- 1,374,634圓
- 1,454,804
- 1,188,304
- 1,478,647
- 1,197,756
- 1,194,624
- 1,201,620
- 1,264,552
- 1,353,911
- 1,211,068

昭和三年)

- 價額
- 14千圓
- 90
- 138
- 804

◎外國競争者

- 桑田商會 (大阪)
- 合資會社本庄商會 (神戸)

◎輸入税率

箱入は一〇〇斤(箱共)に付三六圓六〇錢。
 其他は價額に對する三〇%。

◎主要生産者

- 東京紙工株式會社 (東京)
- 吉川四郎商店 (〃)
- 東山堂 (〃)
- 武藏野製袋株式會社 (〃)
- 鎌田榮續堂 (大阪)
- 合名會社上村商店 (神戸)

二二三、寫眞用紙

寫眞用紙は其種類頗る多く、主たるものはブライタ紙、プロマイド紙、プラチナム紙、アリスト紙、セロイデン紙、ソリオ紙、青色印畫紙等である。

輸入品の包装は色紙又はパラフィン紙に包みたるものを、更に厚紙製筒、葉鐵製罐、亞鉛板製罐等に入れて固く密封す。

◎輸入税率

ブライタ紙は一〇〇斤(内装共)に付八圓五五錢。

鶏卵紙は同八五圓六〇錢。

プロマイド紙及プラチナム紙は同三三四圓。

◎主要生産者

- オリエンタル寫眞工業株式會社、合資會社六櫻社 (以上東京)
- 旭日寫眞工業株式會社 (濱松)

◎主要輸入者

- 合資會社小西六本店 (東京)
- 合資會社淺沼商會 (〃)
- 近江屋寫眞用品株式會社 (〃)
- 山下友治郎商店 (〃)

	國 産 額		輸 入 額	
	數量	價 額	數量	價 額
大正10	—	—圓	404,210斤	1,374,634圓
11	—	—	432,604	1,454,804
12	—	—	368,849	1,188,304
13	—	430,000	430,169	1,478,647
14	—	750,000	332,625	1,197,756
昭和1	—	1,000,000	579,799	1,194,624
2	—	1,236,000	735,967	1,201,620
3	—	1,300,000	749,673	1,264,552
4	—	1,350,000	934,079	1,353,911
5	—	1,400,000	859,511	1,211,068

(推定産額)

主要府縣別生産額

縣 名	數量	價 額
東 京	—	750,000圓

(推定産額)

主要國別輸入額(昭和三年)

國 名	數量	價 額
英 吉 利	686擔	14千圓
獨 逸	1,454	90
白 耳 義	1,730	138
北 米	3,596	804

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣 名	數量	價 額
東 京	—	346,564圓
愛 知	—	24,516
大 阪	—	562,533
兵 庫	—	166,914
岐 阜	—	96,128
岡 山	—	87,254
高 知	—	67,568

されつゝあるが、上流社交界の贈答用等として一部の需要あるために輸入さる。

◎輸入品と國産品の優劣

國産西洋封筒も大部分は外國製原紙を以て製作される。故に外國品は比較的割安であるが、品質に於ては何等優劣がない。

◎輸入防止の主要處置

輸入殆んど根絶の状態なるを以て何等防止策の必要なし。

桑田商會

合資會社本庄商會

(大阪)
(神戸)

◎外國競争者

- インフオード會社 (英國)
- インペリアル會社 (〃)
- エペン會社 (〃)
- ウエリントン會社 (〃)
- イーリング・ウォース會社(〃)
- イーストマン・コダック會社(米國)
- バイエル藥品染料株式會社(獨逸)
- マイテルス會社 (〃)
- アクファ藥品染料會社 (〃)

◎輸入の主要原因

近時優良國産品あるも、多年の習慣並に因襲に依り外國品崇拜者尙ほ多きことが主因である。

◎輸入品と國産品の優劣

オリエンタル寫眞工業株式會社製品の如きは輸入品に對して何等の遜色なく、價格亦低廉である。

◎輸入防止の主要處置

優良品生産者を保護し、且つ輸入税を高率に引上げる事を要す。

二二四、硅砂

硅砂は硅石即ち石英が天然に粉碎されて砂となりたるものにして、海濱湖畔等に堆積し、又は地層間に砂粒層を爲して産出す。主成分は硅酸にして、純粹なるものは無色透明であるが、不純なるものは着色し半透明又は不透明である。硝子、陶磁器の製造には缺く可らざる原料にして又研磨材料、鑄紙の材料或は鑄物用等に供せらる。

輸入品はシリカサンド及クオルツサンドと稱せられ、主として關東州及英領印度方面より輸入さる。

◎輸入税率

着色せるものは價額の二〇%。
其他は無税。

◎主要生産者

天然の産物なるを以て特に生産者として掲ぐべき者はないが、主要取扱者は左の如し。

- 成田高之助 (東京)
- 加藤春吉 (シ)
- 乙宗商店 (大阪)
- 日本陶器株式會社 (名古屋)
- 小高銀砂工場 (福島)

年次	國産額		輸入額	
	數量	價額	數量	價額
大正10	—貫	—圓	—	—
11	24,488,516	532,076	—	—
12	20,888,230	379,886	—	—
13	59,404,244	749,630	6,108,816斤	105,700圓
14	61,281,972	851,962	6,719,944	91,261
昭和1	38,581,972	771,765	5,864,299	87,258
2	33,315,020	717,642	5,966,214	88,569
3	32,280,874	707,458	6,816,925	96,532
4	38,563,316	748,780	5,246,354	81,256
5	38,795,404	749,998	5,444,269	83,456

主要府縣別生産額(昭和四年)

縣名	數量	價額
宮城	320,000貫	48,000圓
福島	1,949,451	25,782
福井	3,430,500	93,940
岐阜	11,557,488	172,238
愛知	11,468,960	279,394
京都	685,000	24,136
兵庫	4,046,840	41,166

主要國別輸入額(昭和三年)

國名	數量	價額
關東州	4,156,253斤	51,236圓
海峽殖民地	1,356,566	26,348
香港	396,254	6,653
北米	85,430	5,264
支那	261,968	3,166

◎主要輸入者

乙宗商店

(大阪)

◎外國競争者

本品は國産不足に因る輸入にはあらずして、單に試験的に輸入されるに過ぎず、従つて普通の輸入品とはその趣を異にし、外國競争者と見做すべきものはない。

◎輸入の主要原因

一時試験用として輸入されたるに過ぎざるを以て特に輸入の原因と見做すべきものはない。

◎輸入品と國産品の優劣

品質に於ては何等の優劣もなく、價格は勞銀その他の關係上、關東州及英領印度産品は國産品よりも概して低廉であるが、運送に多額の費用を要するを以て、縱令關稅を課せられざるも國産品に對抗することは困難である。

◎輸入防止の主要處置

特に防止策の必要なし。

二二五、研削磨用磁物材料

研削磨用磁物材料は金屬石材等の研磨に使用さるゝものゝ總稱にして其の主なるものは金剛砂、コランダム、トリポリ、カーボランダム、ア

額	價額
152,625圓	
320,232	
341,981	
526,886	
564,553	
658,544	
557,053	
750,701	
916,191	
743,572	

昭和三年	價額
123千圓	
5	
58	
7	
48	
30	
464	

◎主要生産者

各種研磨用磁物材料の中天然産のものゝは國內生産乏しく、人造品とし

着色せるものは價額の二〇%。
其他は無税。

◎主要生産者

天然の産物なるを以て特に生産者として掲ぐべき者はないが、主要取扱者は左の如し。

- 成田高之助 (東京)
- 加藤春吉 (シ)
- 乙宗商店 (大阪)
- 日本陶器株式會社 (名古屋)
- 小高銀砂工場 (福島)

年次	國産額	
	數量	價額
大正10	—貫	—圓
11	24,488,516	532,076
12	20,888,230	379,886
13	59,404,244	749,630
14	61,281,972	851,962
昭和1	38,581,972	771,765
2	33,315,020	717,642
3	32,280,874	707,458
4	38,563,316	748,780
5	38,795,404	749,998

◎主要府縣別生産額(昭和四年)

縣名	數量	價額
宮城	320,000貫	48,000圓
福島	1,949,451	25,782
福井	3,430,500	93,940
岐阜	11,557,488	172,238
愛知	11,468,960	279,394
京都	685,000	24,136
兵庫	4,046,840	41,166

◎輸入品と國産品の優劣

品質に於ては何等の優劣もなく、価格は勞銀その他の關係上、關東州及英領印度産品は國産品よりも概して低廉であるが、運送に多額の費用を要するを以て、縦令關稅を課せられざるも國産品に對抗することは困難である。

◎輸入防止の主要處置

特に防止策の必要なし。

二二五、研削磨用磁物材料

研削磨用磁物材料は金屬石材等の研磨に使用さるゝものゝ總稱にして其の主なるものは金剛砂、コランダム、トリポリ、カーボランダム、アラシタム等である。

金剛砂は鋼玉石中の劣等品を粉碎したるもの、コランダムは下等鋼玉石の砂粒状となりて砂又は壤土中に存在するものにして、礬土、酸化鐵、硫酸及石灰等より成り、石材、金屬硝子等の研磨料、人造砥石の原料等に用ひらる。主産地はギリシヤ群島小亞細亞、北米等である。

トリポリは不純なる石灰石が天然に分解されたる粘土質の塊にして英國、瑞西、獨逸、瑞典等に産す。

カーボランダム即ち人造金剛砂は炭化硅素より成り、天然金剛砂に次ぐ硬度を有す。

◎輸入税率

金剛砂、コランダムサンド、トリポリ及其他の類似品は無税。
カーボランダム、アラシタム及その他類似の研磨用人造磁物材料は一〇〇斤に付二圓一〇錢。

年次	國産額		輸入額	
	數量	價額	數量	價額
大正10	135,496封度	60,973圓	642,602斤	152,625圓
11	240,218	37,888	1,374,221	320,232
12	733,186	146,656	1,811,236	341,981
13	264,937	79,481	1,881,354	526,886
14	667,834	200,350	2,630,514	564,553
昭和1	—	—	3,413,846	658,544
2	—	11,070	2,895,790	557,053
3	—	—	3,492,432	750,701
4	—	—	4,746,400	916,191
5	—	—	4,425,600	743,572

(金剛砂の産額)

◎主要府縣別生産額(昭和二年)

縣名	數量	價額
東京	—	5,056圓

◎主要國別輸入額(昭和三年)

國名	數量	價額
英吉利	7,534擔	123千圓
佛蘭西	346	5
獨逸	2,292	58
和蘭	631	7
瑞典	1,885	48
諾威	890	30
北米	20,624	464

◎主要生産者

各種研磨用磁物材料の中天然産品ものは國內生産乏しく、人造品としてはカーボランダムが大正八年頃より生産されつゝあつたが、輸入品に對抗すること困難にして業績振はず、現今に於ては殆んど國産なき状態である。故に生産者として掲ぐべきものがない。

◎主要輸入者

米國貿易株式會社 (東京)
アレフレッド・ハーバード社(大阪)

◎外國競争者

米國、英國、獨逸及諾威産品。

◎輸入の主要原因

國産少く、且つ生産振はずして供給不足を告ぐる爲めである。

◎輸入防止の主要處置

天然産にして國産なきものは止むを得ないが、人造品に就ては原料の輸入を保護し、電力の安價供給を圖ることなど最も肝要である。

二三六、メタルポリツシユ

メタルポリツシユは真鍮その他の金属器具を磨くに使用される一種の研磨料にして、礦物を粉碎し適宜に調製したるものである。

粉状、泥状、液状又は塊状等の種類あり、粉状のものは過酸化鐵、エメリー、トリポリ、ホワイチング等の粉末である。泥状のものは粉状のものに油脂、石鹼等を加へて煉製し液状のものは之に酒精、松精油等を加へて稀釋し、塊状のものは泥状のものを型に入れて製す。

尙ほ此の外過酸化鐵粉末と油類とを混和せるトリポコンボジション及硅藻土と石鹼を混和せるサポリオ等の各種がある。

◎輸入税率

液状又は泥状のものは一〇〇斤に付五圓四〇錢。
其他同三圓一〇錢。

◎主要生産者

内藤ピカール商會 (東京)
下村商會 (シ)
此の外大阪及神戸地方に少數の生産者あり。

	國産額		輸入額	
	數量	價額	數量	價額
大正10	—貫	—圓	448,270斤	135,134圓
11	907,900	256,460	941,441	287,420
12	956,200	272,315	849,143	268,470
13	941,256	326,876	1,101,595	399,015
14	944,010	346,564	589,274	240,236
昭和1	566,258	234,965	—	294,162
2	886,236	312,459	—	134,499
3	984,516	361,368	—	98,986
4	958,269	351,235	—	104,960
5	895,146	316,544	—	87,706

(原料礦の産額)

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
奈良	693,916貫	277,559圓
大阪	253,214	70,354
青森	2,560	1,374
新潟	1,389	158

主要國別輸入額(昭和三年)

國名	數量	價額
關東州	—	1千圓
英吉利	—	18
獨逸	—	9
北米	—	69

◎主要輸入者

岡村梅藏商店 (東京)

◎外國競争者

輸入品は北米産品、英國産品及獨逸産品等にして、獨逸製品は主としてアムール商會の取扱である。

◎輸入の主要原因

國産メタルポリツシユは主として粉状のものにして、輸入品の如く各種類の金属器磨用としては、不適當なるため、普く需要されるに至らず且つ外國品は概ね價格低廉なるが爲めである。

◎輸入品と國産品の優劣

國産品中に於ても優良なるものがあるが、一般的に比較すれば、輸入品は國産品よりも品質優良にして而も低價である。

◎輸入防止の主要處置

政府が本品の生産者に對し適當の保護をなすこと、及關稅を適宜に引上げること等が緊要である。

二三七、人造砥石

砥石は双物、金属、石材等の研磨料にして、天然産と人造の二種があり、人造砥石には更に金剛砥石、カ1ボランダム砥石、浮石等の各種類がある。金剛砥石及びカ1ボランダム砥石、浮石等の各種類

額	價額
203,412圓	
435,645	
313,870	
500,349	
376,520	
273,212	
251,550	
197,947	
212,912	
135,212	

昭和三年)

價額
18千圓
2
2
0
173

コードランド會社 (米國)
デトロイト會社 (シ)
スターリング會社 (シ)
ピトリフアイド會社 (シ)

硅藻土と石鹼を混和せるサポリオ等の各種がある。

◎輸入税率

液状又は泥状のものは一〇〇斤に付五圓四〇錢。
其他同三圓一〇錢。

◎主要生産者

内藤ピカール商會 (東京)
下村商會 (シ)
此の外大阪及神戸地方に少數の生産者あり。

	國産額	
	數量	價額
大正10	—貫	—圓
11	907,900	256,460
12	956,200	272,315
13	941,256	326,876
14	944,010	346,564
昭和1	566,258	234,965
2	886,236	312,459
3	984,516	361,368
4	958,269	351,235
5	895,146	316,544

(原料礦の産額)

二二七、人造砥石

砥石は双物、金屬、石材等の研磨料にして、天然産と人造の二種があり、人造砥石には更に金剛砥石、カーボランダム砥石、浮石等の各種類がある。金剛砥石及カーボランダム砥石は金剛砂又はカーボランダムの粉末にして適度の粘土を加へ、膠或はセメントを混じて型に入れ、壓搾焼成し、人造浮石は天然浮石の粉末に粘土、膠等を混和し壓搾焼成す。

◎輸入税率

一〇〇斤に付——二一圓五〇錢

◎主要生産者

日本研磨砥石株式會社 (京都)
廣島製砥所 (廣島)

◎主要輸入者

ホーン株式會社 (大阪)
アルフレッドハーバート商會(シ)
ムラーエンドフイツプス商會(シ)

◎外國競争者

ノールトン會社 (米國)
カーボランダム會社 (シ)
アプラーシップ會社 (シ)

	國産額		輸入額	
	數量	價額	數量	價額
大正10	—貫	—圓	151,417斤	203,412圓
11	16,527,822	459,503	402,795	435,645
12	12,830,327	374,947	307,004	313,870
13	12,906,442	447,956	404,026	500,349
14	13,553,267	393,217	263,732	376,520
昭和1	14,372,747	346,193	204,363	273,212
2	13,378,455	315,401	199,067	251,550
3	20,735,870	440,766	150,806	197,947
4	23,921,948	527,157	153,839	212,912
5	23,998,550	528,320	107,661	135,212

(浮石粉の産額)

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
宮城	35,000貫	1,050圓
千葉	8,520,888	216,848
愛知	7,664,068	183,799
三重	7,536,700	121,468
兵庫	130,500	2,445

主要國別輸入額(昭和三年)

國名	數量	價額
關東州	156擔	18千圓
英吉利	20	2
佛蘭西	14	2
和蘭	62	0
北米	1,246	173

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
奈良	693,916貫	277,559圓
大阪	253,214	70,354
青森	2,560	1,374
新潟	1,389	158

且つ外國品は概ね價格低廉なるか爲めである。

◎輸入品と國産品の優劣

國産品中に於ても優良なるものがあるが、一般的に比較すれば、輸入品は國産品よりも品質優良にして而も低價である。

◎輸入防止の主要處置

政府が本品の生産者に對し適當の保護をなすこと、及關稅を適宜に引上げること等が緊要である。

◎輸入の主要原因

金剛砥石及カーボランダム砥石は多年本邦に於て生産者なく、専ら外國品就中米國製品を使用し來つた習慣上、傳統的に輸入品を尊重し、優良國産品の製造されつゝある現今に於ても、因襲的に外國品の需要減少せざることが主因である。

◎輸入品と國産品の優劣

輸入品中最も著名なるはノールトン會社製アランダム・クリストロン及カーボランダム會社製カーボランダム・アロキサイト等であるが、國産製品は是等著名品には比較するも毫も遜色が認められない、唯國産品は輸入品よりも幾分高價であることが缺點である。

◎輸入防止の主要處置

原料の輸入稅を撤廢し、製品の輸入稅を引上げることが肝要である。

二二八、貴石及半貴石

貴石に屬するものは金剛石を第一としルビー、サファイヤ、エメラルド等、その種類頗る多く、半貴石には水晶、瑪瑙、翡翠、玉髓、猫眼石、紅玉髓、孔雀石、碧玉、瑠璃、砂金石其他の各種がある。

金剛石は南アフリカ、ブラジル、印度、ボルネオ、濠洲等に産し、ルビーはビルマ、ビクトリア、ニウジールランド等を主産地とし、サファイヤはボヘミア、セイロン島、シヤム濠洲等に産す。本邦に於ては美濃、近江地方にトパーズ及エメラルドを極く僅か産し、半貴石としては水晶及瑪瑙を産す。

◎輸入税率

貴石は價格の五〇%
半貴石の内切らざるもの及び磨かざるものは價額の五〇%、其他は二〇%。機械用又は工業用に供するため形造りたるものは二〇%。其他は凡て五〇%。

◎主要生産者

水晶は甲斐及び美濃、近江、伯耆地方に産し、瑪瑙は出雲、越中、甲

	國 産 額		輸 入 額	
	數量	價 額	數量	價 額
大正10	—貫	—圓	—瓦	2,459,876圓
11	25	130	—	4,739,048
12	1,025	2,630	—	2,931,456
13	1,020	2,580	—	1,865,980
14	1,181	2,998	—	144,032
昭和1	1,968	3,546	—	170,474
2	2,877	4,965	—	223,778
3	3,568	6,234	231,100	149,785
4	2,169	3,751	—	178,803
5	2,069	3,459	—	127,270

主要府縣別生産額

縣 名	數量	價 額
北海道	—	1,963圓
新潟	—	560
岐阜	—	932
山梨	—	1,546
滋賀	—	532

主要國別輸入額(昭和三年)

國 名	數量	價 額
英 吉 利	3千瓦	5千圓
佛 蘭 西	62	7
獨 逸	57	31
瑞 西	78	92
和 蘭	0	8
北 米	2	1

斐等に産するも近來産額頗る僅少である。其他の貴石及半貴石は國産として見るべきものは殆んどない。

◎主要輸入者

- 服部時計店 (東京)
- 天賞堂 ()
- 山崎商店 ()
- 御木本眞珠店 ()
- 松林丑三商店 ()
- 久米武夫商店 ()
- 伊勢善寶飾店 ()
- 依田志次郎商店 ()

◎外國競争者

白耳義、和蘭、英國、伯刺西爾及び露國産品等。

◎輸入の主要原因

國産少きに拘らず、文化程度の進歩、生活慾の向上に伴ひ需要逐年増加しつゝあるが爲めである。

◎輸入防止の主要處置

國民の自制心に俟つの外ないが、關稅を極度の高率に引上げること亦有効である。

二二九、石綿及同製品

石綿は蛇紋石、角閃石等の分解に依つて生じたる一種の礦物にして、岩石の分解せるもの、間に束となり又は脈となりて存在す。主成分は硅

額 價 額
1,112,397圓
1,327,204
1,590,439
2,090,712
2,326,245
1,654,255
2,911,113
3,698,834
3,772,735
3,313,547

昭和三年) 價 額
1千圓
476
429
4
477

◎外國競争者

原料は加奈陀、アフリカ、印度、露國等の諸國より輸入され、製品は

二二九、石綿及同製品

及瑪瑙を産す。
◎輸入税率
 貴石は價格の五〇%
 半貴石の内切らざるもの及び磨かざるものは價額の五〇%、其他は二〇%。機械用又は工業用に供するため形造りたるものは二〇%。其他は凡て五〇%。

◎主要生産者

水晶は甲斐及び美濃、近江、伯耆地方に産し、瑪瑙は出雲、越中、甲

石綿は蛇紋石、角閃石等の分解に依つて生じたる一種の礦物にして、岩石の分解せるもの、間に束となり又は脈となりて存在す。主成分は硅酸苦土及び炭酸石灰酸化鐵等にして火熱、濕氣、摩擦等に對する抵抗力に富めるを以て防濕、防火材料、又は保溫材料等に供せらる。
 世界的産地は伊太利、露西亞、コルシカ島、加奈陀、北米、支那等の諸邦である。

◎輸入税率

塊、粉及纖維状のものは無税。
 石絨糸は一〇〇斤に付八圓二五錢
 石絨板は一〇〇に付四圓〇五錢
 其他は同一八圓八〇錢。

◎主要生産者

日本アスベスト株式会社(東京)
 カナエパツキング株式会社(シ)
 榮屋石綿紡織株式会社 (シ)

◎主要輸入者

日本アスベスト株式会社(東京)
 淺野物産株式会社 (シ)
 三井物産株式会社 (シ)

	國 産 額		輸 入 額	
	數量	價 額	數量	價 額
大正10	—貫	—圓	4,123,608擔	1,112,397圓
11	248,932	12,766	6,073,770	1,327,204
12	220,320	16,456	8,664,142	1,590,439
13	165,540	7,840	11,766,805	2,090,712
14	312,988	14,000	13,864,457	2,326,245
昭和 1			8,144,746	1,654,255
2			155,643	2,911,113
3			190,925	3,698,834
4			190,839	3,772,735
5			189,132	3,313,547

	國 産 額	
	數量	價 額
大正10	—貫	—圓
11	25	130
12	1,025	2,630
13	1,020	2,580
14	1,181	2,998
昭和 1	1,968	3,546
2	2,877	4,965
3	3,568	6,234
4	2,169	3,751
5	2,069	3,459

主要府縣別生産額

縣 名	數量	價 額
關 東 州	44擔	1千圓
英 吉 利	9,013	476
獨 逸	4,674	429
伊 太 利	7	4
北 米	4,514	477

主要國別輸入額(昭和三年)

國 名	數量	價 額
關 東 州	44擔	1千圓
英 吉 利	9,013	476
獨 逸	4,674	429
伊 太 利	7	4
北 米	4,514	477

主要府縣別生産額

縣 名	數量	價 額
北海道	—	1,963圓
新 潟	—	560
岐 阜	—	932
山 梨	—	1,546
滋 賀	—	532

白耳義、和蘭、英國、伯刺西爾及び露國産品等。

◎輸入の主要原因

國産少きに拘らず、文化程度の進歩、生活慾の向上に伴ひ需要逐年増加しつゝあるが爲めである。

◎輸入防止の主要處置

國民の自制心に俟つの外ないが、關稅を極度の高率に引上げることにも亦有効である。

◎外國競争者

原料は加奈陀、アフリカ、印度、露國等の諸國より輸入され、製品は米國、獨逸、英國等より輸入さる、製造會社の主たるもの左の如し。

- ターナー・アスベスト會社(英國)
- デヨンス・マンベル會社(米國)
- カルモン・アスベスト會社(獨逸)
- ゴルゼン會社 (英國)

◎輸入の主要原因

内地に於て優良なる原料を生産されざる爲めである。

◎輸入品と國産品の優劣

國産品は塗料用としては諸國品に比し遙かに優良であるが、諸製品材料としては輸入品に及ばない。又石綿製品は一部のものを除く外、凡て輸入品よりも劣等である。

◎輸入防止の主要處置

原料の輸入に適當の保護を加へ、製品の輸入税を引上げ、以て内地生産者を保護すると共に、國産品愛用を奨励する事が急務である。

二三〇、大理石

大理石は白大理石と雑色大理石とに大別さる。何れも主成分は炭酸石灰にして右理滑かにして光澤に富めるを以て、肖像、記念碑、置物類其他の裝飾材に供せられ、又門柱、支柱其他建築材として使用され需要頗る廣汎である。

◎輸入税率

加工せざるもの及び單に割りたる儘のものは無税。
研磨せざるもの又は彫刻せざるものは價額に對する一〇%。
其他は同四〇%。

◎主要生産者

- 株式會社中央石材工作所(東京)
- 合資會社常陸銘石商會(シ)
- 合資會社木村大理石工作所(シ)
- 淺野石材株式會社(シ)
- 鍋島石材工業株式會社(シ)
- 合資會社大日本銘石商會(横濱)
- 合資會社矢橋大理石商店(岐阜)

◎主要輸入者

- 三井物産株式會社(東京)
- 服部時計店(シ)

	國産額		輸入額	
	數量	價額	數量	價額
大正10	—才	—圓	—斤	—圓
11	141,445	1,244,696	—	—
12	53,134	276,156	—	—
13	87,736	324,922	—	—
14	73,324	298,392	—	—
昭和1	85,731	352,963	917,868	212,289
2	119,551	251,698	1,051,497	223,797
3	82,902	269,420	1,479,847	316,882
4	96,710	277,226	1,718,221	368,556
5	97,878	278,543	4,994,300	214,264

主要府縣別生産額

縣名	數量	價額
茨城	3,500才	7,500圓
富山	2,500	10,000
岐阜	9,200	20,380
山口	21,510	106,830
徳島	37,000	84,520
福岡	2,240	7,706
大分	8,000	16,000
沖繩	5,000	15,000

主要國別輸入額(昭和三年)

國名	數量	價額
英吉利	168擔	1千圓
獨逸	1,260	16
自耳義	168	1
瑞西	250	5
丁抹	12,950	290

◎外國競争者

- 合資會社矢橋大理石商店(岐阜)
- エヌ・テイ商會(横濱)
- 白伊貿易株式會社(神戸)

◎輸入の主要原因

洋式建築の發達に伴ひ各種類の大理石需要逐年増加しつゝあるに拘らず、國産大理石は種類少く品質、色彩等に變化少く、且つ大材に乏しくして需要家の意を充すに足らざるが爲めである。

◎輸入品と國産品の優劣

國産は六尺以上の大材なく、往々にして火成岩を含み色彩單調にして且つ加工の際破損し易き事等の缺點あり輸入品に及ばない。

◎輸入防止の主要處置

天然産物にして國內に優良なるもの産せざるを以て、輸入は止むを得ざるべし。

二三一、雲母及同製品

雲母は硫酸礬土より成る弾力性に富む礦物にして、その色に依り白雲母、黒雲母、紅雲母、金雲母、眞珠雲母等の各種類がある。耐火性強く

額	價額
—圓	—
—	—
403,806	—
234,233	—
240,514	—
198,362	—
278,516	—
255,469	—
177,324	—

昭和三年)

價額
178,843千圓
12,569
4,553
29,516

- 米國貿易株式會社(東京)
- 千代田貿易株式會社(シ)
- 古賀礦業株式會社(シ)
- 三井物産株式會社(シ)

二三一、雲母及同製品

- ◎主要生産者
- 株式会社中央石材工作所(東京)
 - 合資會社常陸銘石商會 (シ)
 - 合資會社木村大理石工作所(シ)
 - 浅野石材株式會社 (シ)
 - 鍋島石材工業株式會社 (シ)
 - 合資會社大日本銘石商會(横濱)
 - 合資會社矢橋大理石商店(岐阜)

- ◎主要輸入者
- 三井物産株式會社 (東京)
 - 服部時計店 (シ)

大正	國産額		輸入額
	數量	價額	
10	—才	—	—圓
11	141,445	1,244,696	—
12	53,134	276,156	—
13	87,736	324,922	403,806
14	73,324	298,392	234,233
昭和 1	85,731	352,963	240,514
2	119,551	251,698	198,362
3	82,902	269,420	278,516
4	96,710	277,226	255,469
5	97,878	278,543	177,324

主要府縣別生産額

縣名	數量	價額
茨城	3,500才	7,500圓
富山	2,500	10,000
岐阜	9,200	20,380
山口	21,510	106,830
徳島	37,000	84,520
福岡	2,240	7,706
大分	8,000	16,000
沖繩	5,000	15,000

爲めである。

◎輸入品と國産品の優劣

國産は六尺以上の大材なく、往々にして火成岩を含み色彩單調にして且つ加工の際破損し易き事等の缺點あり輸入品に及ばない。

◎輸入防止の主要處置

天然産物にして國內に優良なるもの産せざるを以て、輸入は止むを得ざるべし。

雲母は硅酸礬土より成る弾力性に富む礦物にして、その色に依り白雲母、黒雲母、紅雲母、金雲母、眞珠雲母等の各種類がある。耐火性強く電氣を導き難きため軍艦の窓板、置煖爐の扉、瓦斯ランプのホヤ、或は電氣絶縁用等に好適す。

本品の世界的産地は北米、英國、佛國等にして、輸入雲母製品にはマイカナイト、マイカペーパー、マイカクロス等の各種がある。

◎輸入税率

塊及粉のものは無税。
板(着色せざるもの及び裝飾せざるもの)は無税。
其他は價額に對する二五%。

◎主要生産者

- 神奈川電氣株式會社 (神奈川)
- 日本理化工業株式會社 (東京)
- 日本マイカナイト製作所(シ)
- 菅原電氣商會 (シ)
- 秋山商會マイカ製作所 (シ)
- (右はマイカナイト生産者)

◎主要輸入者

大正	國産額		輸入額
	數量	價額	
10	—貫	—圓	—圓
11	4,000	300	—
12	114,800	14,550	—
13	157,880	16,150	403,806
14	288,480	27,182	234,233
昭和 1	256,198	23,458	240,514
2	321,258	29,654	198,362
3	296,546	27,441	278,516
4	288,165	25,652	255,469
5	275,145	24,112	177,324

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
長崎	195,654貫	20,545圓
群馬	17,541	2,514
埼玉	9,258	1,259

主要國別輸入額(昭和三年)

國名	數量	價額
英領印度	—	178,843千圓
英吉利	—	12,569
北米	—	4,553
ブラジル	—	29,516

◎外國競争者

- 米國貿易株式會社 (東京)
- 千代田貿易株式會社 (シ)
- 古賀礦業株式會社 (シ)
- 三井物産株式會社 (シ)
- 野上工業所 (大阪)
- 藤崎商店 (横濱)

◎輸入の主要原因

天然マイカは朝鮮に僅少の生産あるも需要の一部を充すに過ぎず、マイカナイトは國産豊富なるも外國品崇拜者の需要ある故に輸入さる。

◎輸入品と國産品の優劣

天然マイカは印度産マスコバイトマイカが世界的逸品にして、國産品は遠く及ばず。其他は優劣なし。

◎輸入防止の主要處置

雲母の國産僅少なるを以て、輸入は止むを得なく。

二三三、滑石及ソープレストーン

滑石は蛇紋石及び輝石等の分解に因つて生じたる柔軟なる礦物にして主成分は含水硅酸苦土である。化粧粉、筆、滑澤料、製紙の填料、陶器の原料等用途頗る廣汎である。

ソープレストーンも滑石の一種にして、滑石よりも質稍々硬く、陶器の原料、大理石及硝子の研磨料等に用ひらる。

輸入品の包装は滑石は吹入にして一箇の重量一三〇斤乃至一四〇斤である。ソープレストーンは主として粉状のもの輸入され、二重アンペラ包みにして普通一〇〇斤入である。

◎輸入税率

滑石及ソープレストーン共無税

◎主要生産者

滑石及ソープレストーンは共に國産額頗る僅少にして、生産者として特掲すべき者なし。

◎主要輸入者

- 三井物産株式会社 (東京)
- 淺野物産株式会社 (シ)
- 三菱商事株式会社 (シ)

國産額			輸入額		
年	數量	價額	年	數量	價額
大正10	—貫	—圓	10	173,111擔	326,906千圓
11	113,000	9,210	11	207,331	374,385
12	286,000	6,020	12	194,431	309,897
13	290,000	6,100	13	329,969	537,030
14	375,000	14,483	14	419,509	700,651
昭和1	450,000	17,000	15	486,537	888,170
2	423,000	16,500	16	462,813	835,125
3	377,000	15,000	17	511,837	924,581
4	392,000	15,500	18	659,069	1,173,504
5	356,000	13,500	19	617,838	1,031,741

(滑石の推定産額)

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
山口	350,000貫	12,259圓
和歌山	45,000	1,895

主要國別輸入額(昭和三年)

國名	數量	價額
支那	371,220擔	683千圓
關東州	140,577	240
獨逸	2	—
伊太利	17	—
北米	18	—
加奈陀	3	—

◎外國競争者

此の外に邦商の手を経て輸入されるものもあるが、大部分は神戸及大阪在住の支那商人に依つて輸入さる。

主として支那産品及滿洲産品。

◎輸入の主要原因

本品の用途は各方面に亘り、國內消費高は逐年増加しつゝあるに拘はらず、國産額は僅少にして需要の極く一少部分を満たし得るに過ぎざる状態である。故に國內消費の殆んど全部を海外輸入に仰がざるを得ない同時に本品は頗る廉價なることも亦輸入の一因である。

◎輸入品と國産品の優劣

極く少量の國産品あるも、輸入品と對抗して優劣を比較する程度の生産ではない。

◎輸入防止の主要處置

本品の如きは天然産物にして而も國內に殆んど生産されざるを以て、海外輸入を仰ぐの外なく、寧ろ輸入の圓滑を計るべきである。

二三三、磷鑛石

磷鑛石は過磷酸肥料の原料として頗る重要なものにして、各種鑛石中最も巨額に輸入されつゝある。その種類は多く西班牙及加奈陀等に多く産す磷灰石、西印度諸島に産する

年	價額
大正10	749千圓
11	3,255
12	383
13	2,043
14	425
昭和1	92

◎外國競争者

太平洋磷鑛株式会社 (米國)
クリスマス磷鑛會社 (シ)
此の外フロリダ及アイダオ磷鑛を

至三九%、酸化鐵一%乃至三%である。故に成分に於ては國産品が寧ろ優り、加ふるに取引上の價格、數量及時期等に於て國産品は需要家に便益が少くない。

滑石及ソープストーン共無税

◎主要生産者

滑石及ソープストーンは共に國産額頗る僅少にして、生産者として特掲すべき者なし。

◎主要輸入者

- 三井物産株式会社 (東京)
- 淺野物産株式会社 (〃)
- 三菱商事株式会社 (〃)

國産額

年次	數量	價額
大正10	—貫	—
11	113,000	9,21
12	286,000	6,02
13	290,000	6,10
14	375,000	14,48
昭和1	450,000	17,00
2	423,000	16,50
3	377,000	15,00
4	392,000	15,50
5	356,000	13,50

(滑石の推定産額)

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
山口	350,000貫	12,259圓
和歌山	45,000	1,895

輸入の一因である。

◎輸入品と國産品の優劣

極く少量の國産品あるも、輸入品と對抗して優劣を比較する程度の生産ではない。

◎輸入防止の主要處置

本品の如きは天然産物にして而も國內に殆んど生産されざるを以て、海外輸入を仰ぐの外なく、寧ろ輸入の圓滑を計るべきである。

二二三三、燐 鑛 石

燐鑛石は過燐酸肥料の原料として頗る重要なものにして、各種燐石中最も巨額に輸入されつゝある。その種類は多く西班牙及加奈陀等に多く産す燐灰石、西印度諸島に産するカリピアン燐鑛石、南カリナ地方に産する南カリナ燐鑛石、英國及佛蘭西を主産地とするコプロライト等はその主なるものである。太平洋諸島就中クリスマス、オーシャンマカテア、アンガア等に多く産する燐鑛石は、灰岩に堆積せる鳥糞が燐化作用に依つて化石したるものである。

主要國別輸入額

年次	輸入額		主要國別輸入額	
	數量	價額	國名	價額
大正10	3,537,839擔	8,884,692圓	英領印度	328,477擔 749千圓
11	4,751,496	8,983,554	北米	2,702,190 3,255
12	2,594,415	4,854,488	其他北米諸國	353,694 383
13	4,683,742	9,174,648	埃及	1,512,120 2,043
14	4,608,785	7,483,560	其他アフリカ諸國	323,334 425
昭和1	6,779,639	9,149,467	濠太刺利	38,949 92
2	6,787,206	10,763,970		
3	7,888,568	11,977,828		
4	9,317,844	13,454,947		
5	9,504,955	12,011,818		

◎外國競争者

太平洋燐鑛株式会社 (米國)
クリスマス燐鑛會社 (〃)
此の外フロリダ及アイダオ燐鑛を主とせる米國産品、エヂプト、ガフサ、サファジヤ、ロシア等の燐鑛を網羅せるアフリカ産品等何れも有力競争者である。

◎輸入の主要原因

燐鑛は多年専ら輸入に仰ぎたる關係上今尚ほ外國品を因襲的に輸入する傾向のある事。米國及アフリカに於ては燐鑛の輸出港と棉花の輸出港が同一なる爲め積載の便ある事。歐洲大戰後南洋を支配するに至つて國産燐鑛の生産を見るに至りたるも其の産額尙ほ需要に充たざる事。商略上及慣習上多種多様の品位異なる燐鑛を必要とする事。等が輸入の主たる原因である。

◎輸入品と國産品の優劣

國産燐の主成分は燐酸三三%乃至三九%、酸化鐵礬土一%乃至三・五%である。輸入燐鑛は燐酸二八%乃至

◎輸入防止の主要處置

南洋廳に於て經營せる南洋アンガウル燐鑛の經營を民間に讓渡して生産費低減及び生産量の増加を圖らしめる事燐鑛地の開發に對し政府が援助する事、劣等燐鑛の利用方法研究に對し政府が補助する事、過燐酸肥料に代るべき適當の肥料使用を奨励する事、等は最も有効にして且つ急を要する輸入防止策である。

◎營業者の希望

現狀を以て推移すれば燐鑛の世界供給不足を告ぐる時代遠からざるを以て、新産地の探見開發に就て政府が極力援助されん事を望む。同時に南洋廳に於て經營するアンガウル燐鑛は速かに之を民間事業に移し、以て其の刷新を圖り燐鑛業の統一をなすべく、政府の英斷あらんことを切望す。

一三四、石膏

石膏の主成分は含水硫酸石灰にして、白色、灰色、黄色及び赤色等の種類あり、瑞西、オーストラリヤ、佛蘭西、伊太利、支那等はその主産地である。本品は彫刻、製紙及陶器製造等に用ひらる。模型に用ひられる焼石膏及塑像用に供せらるゝ硬石膏を熱して製したるものである。輸入品の包装は竹籠入にして外部を粗麻布にて包み、重量は一個四〇〇封度内外である。又焼石膏は普通樽入又は罐入である。

◎輸入税率

焼かざるもの——無税
其他一〇〇斤に付——四五銭

◎主要生産者

富士プラスチック株式会社(東京)
浅田プラスチック株式会社(大阪)
日東プラスチック株式会社(名古屋)
吉野石膏製造所 (大阪)
マルユプラスチック株式会社(栃木)

◎主要輸入者

三井物産株式会社 (東京)
三菱商事株式会社 (〃)

國産		輸入	
數量	價額	數量	價額
大正10	—貫	7,182,860斤	173,426圓
11	14,410,130	—	—
12	9,139,991	—	—
13	11,491,436	11,676,429	252,301
14	15,609,947	15,634,854	334,382
昭和1	70,663,617	20,109,256	398,555
2	20,132,896	25,332,034	335,043
3	18,270,794	32,508,100	431,694
4	22,279,034	37,286,000	484,313
5	22,399,825	30,536,200	316,179

主要府縣別生産額(昭和四年)

縣名	數量	價額
岩手	2,036,070貫	50,902圓
山形	4,749,459	302,209
福島	2,370,000	61,550
石川	3,561,330	93,091
島根	8,590,200	290,461

主要國別輸入額(昭和三年)

國名	數量	價額
支那	21,178擔	63千圓
獨逸	49,059	77
伊太利	64,367	76
北米	52,472	59
墨西哥	50,989	44
其他アフリカ諸國	81,997	99

◎外國競争者

獨逸産品、支那産品及伊太利産品等にして、獨逸産品はセメント用のものを主とし、支那産品は陶磁器製作の型用、伊太利産品は塑像用が夫々主たるものである。

◎輸入の主要原因

本品の國産は相當豊富にして略内地の需要を充し得る。故に普通品は殆んど輸入されないが、特殊品例へば塑像用の如きは今尚ほ外國品の需要者多き爲めである。

◎輸入品と國産品の優劣

輸入品は國産品に比して品質優良であるが、之は高價を辭せずして優良品のみを需要するが爲めにして、一般的に見れば内地品と外國品の間には殆んど優劣はない。

◎輸入防止の主要處置

特殊の需要に依るものなるを以て特に輸入を防止するに及ばない。

浅野物産株式会社 (東京)

◎外國競争者

獨逸産品、支那産品及伊太利産品等にして、獨逸産品はセメント用のものを主とし、支那産品は陶磁器製作の型用、伊太利産品は塑像用が夫々主たるものである。

◎輸入の主要原因

本品の國産は相當豊富にして略内地の需要を充し得る。故に普通品は殆んど輸入されないが、特殊品例へば塑像用の如きは今尚ほ外國品の需要者多き爲めである。

◎輸入品と國産品の優劣

輸入品は國産品に比して品質優良であるが、之は高價を辭せずして優良品のみを需要するが爲めにして、一般的に見れば内地品と外國品の間には殆んど優劣はない。

◎輸入防止の主要處置

特殊の需要に依るものなるを以て特に輸入を防止するに及ばない。

一三五、粘土

土

粘土は長石が天然に分解して生じたるものにして、その主成分は含水硫酸礬土である。種類は頗る多く主たるものは磁土、耐火粘土、パイプ

價額
197,848圓
—
416,467
441,600
376,964
402,606
534,927
599,511
453,980

(昭和三年)

價額
161千圓
290
14
1
66

藤村商店 (大阪)
江尻商店 (〃)
柴田茂商店 (愛知)
北山澤市商店 (三重)

焼かざるもの——無税
其他一〇〇斤に付——四五錢

◎主要生産者

富士プラスチック株式会社(東京)
浅田プラスチック株式会社(大阪)
日東プラスチック株式会社(名古屋)
吉野石膏製造所(大阪)
マルニプラスチック株式会社(栃木)

◎主要輸入者

三井物産株式会社(東京)
三菱商事株式会社(〃)

二三五、粘
土

粘土は長石が天然に分解して生じたるものにして、その主成分は含水硫酸礬土である。種類は頗る多く主たるものは磁土、耐火粘土、パイプクレイ漂白土等である。

磁土は粘土の殆んど純粹なるものにして、白色の塊又は粉状をなし、陶磁器の原料、織物の漂白用、製紙の填料、明礬及群青の製造等に用ひらる。英、佛、獨、澳、北米及支那等は磁土の主産地である。

耐火粘土は粘性強く且つ耐火性に富み、耐火煉瓦、坩堝等の製造原料に供せらる。パイプクレイは可塑性に常めるを以て精巧なる陶磁器原料等に用ひられ、漂白粘土は布帛の漂白、油類の精製、製紙填料等に用ひらる。英國、支那及び米國は各種粘土の主産地である。

◎輸入税率

無税

◎主要生産者

加藤春吉商店(東京)
成田高之助商店(〃)
生氣嶺粘土株式会社(〃)

年次	國産額		輸入額	
	數量	價額	數量	價額
大正10	—貫	—圓	21,687,554斤	197,848圓
11	647,596,132	5,693,133	—	—
12	654,397,323	4,506,794	—	—
13	609,236,671	4,029,437	46,870,941	416,467
14	649,579,984	5,009,437	49,332,141	441,600
昭和1	652,523,523	3,893,030	63,078,800	376,964
2	671,110,788	4,621,280	56,344,800	402,606
3	711,902,219	4,534,353	78,377,200	534,927
4	643,436,911	4,160,845	68,393,700	599,511
5	632,594,767	4,098,774	61,925,900	453,980

(10年度不明)

年次	國産額		輸入額	
	數量	價額	數量	價額
大正10	—貫	—圓	—	—
11	14,410,130	808,146	—	—
12	9,139,991	841,896	—	—
13	11,491,436	610,088	—	—
14	15,609,947	706,751	—	—
昭和1	70,663,617	715,017	—	—
2	20,132,896	845,829	—	—
3	18,270,794	717,182	—	—
4	22,279,034	827,170	—	—
5	22,399,825	831,055	—	—

主要府縣別生産額(昭和四年)

縣名	數量	價額
岐阜	15,712,555貫	108,380圓
愛知	133,009,547	911,311
三重	21,738,124	172,545
滋賀	26,376,241	115,203
兵庫	51,959,782	197,572
島根	17,052,648	147,777
岡山	37,448,880	381,025
山口	46,380,174	643,886

主要國別輸入額(昭和三年)

國名	數量	價額
支那	226,073擔	161千圓
關東州	548,544	290
英吉利	2,341	14
獨逸	106	1
北米	6,657	66

主要府縣別生産額(昭和四年)

縣名	數量	價額
岩手	2,036,070貫	50,902圓
山形	4,749,459	302,209
福島	2,370,000	61,550
石川	3,561,330	93,091
島根	8,590,200	290,461

◎輸入品と國産品の優劣

輸入品は國産品に比して品質優良であるが、之は高價を辭せずして優良品のみを需要するが爲めにして、一般的に見れば内地品と外國品の間には殆んど優劣はない。

◎輸入防止の主要處置

特殊の需要に依るものなるを以て特に輸入を防止するに及ばない。

◎主要輸入者

藤村商店(大阪)
江尻商店(〃)
柴田茂商店(愛知)
北山澤市商店(三重)

◎外國競争者

輸入粘土の大部分を占めるものは耐火粘土にして、支那復州粘土は生産豊富價格低廉なるが爲めに輸入される。其他の粘土は國産を以て略需要を充し得るが故に、輸入品は製鋼用或は製紙用の特殊品のみである。

◎輸入品と國産品の優劣

耐火粘土は復州粘土及びマグネサイド等に比し耐火度劣る。其他の各種粘土は各國産夫れど特徴があるが、國産品は輸入品中の優良品と比較し毫も遜色がない。

◎輸入防止の主要處置

國産粘土に對する研究、新産地の開發等が急務である。

二三六、黒鉛及同製品

黒鉛即ち石墨は天然産のものとな
工的に製造せるものがある。天然
産は花崗岩、片麻岩、結晶石灰石等
の中より産出し、オーストラリヤ、
獨逸、北米、セイロン島は著名なる
産地である。工業的に製造するもの
は無煙炭を電氣爐にて焼成す。主た
る用途は坩堝及鉛筆の原料、電氣用
カーボン、機械油の代用、煖爐の塗
料等である。
輸入品の装包は麻袋入、樽入、罐
入等にして、樽入は普通五六〇封度
内外である。

◎輸入税率

黒鉛——無税
坩堝は一〇〇斤に付——六圓二五錢
其他の黒鉛製品は價額の二〇%。

◎主要生産者

大日本黒鉛株式會社 (東京)
泰平鑛業所 (大阪)
大正黒鉛株式會社 (福岡)
飛彈黒鉛株式會社 (岐阜)
合資會社増木鑛業所 (石川)
尙ほ天然黒鉛の産地は、内地に於
ては越中及飛彈地方、朝鮮に於ては

國 産 額			輸 入 額		
	數量	價 額		數量	價 額
大正10	1,499,538斤	54,643圓	——斤	——圓
11	1,742,700	71,138	——	——
12	1,334,863	55,107	——	——
13	1,279,093	50,717	1,815,358	219,764
14	1,683,975	90,147	1,337,698	239,571
昭和1	830,644	47,913	17,291擔	278,423
2	1,055,756	37,091	16,522	262,298
3	737,431	27,188	16,479	285,894
4	658,248	21,377	20,878	334,755
5	794,256	24,688	24,150	307,483

(黒鉛の産額)

主要府縣別生産額(昭和四年)

縣 名	數量	價 額
岐 阜	10疋	2,590圓
富 山	298	18,787

主要國別輸入額(昭和三年)

國 名	數量	價 額
英領印度	14,733擔	241千圓
英 吉 利	16	1
獨 逸	21	0
北 米	1,708	42

平安南道及咸鏡北道等にして、其の
主産礦山及主産者左の如し。

- 天生黒鉛山 (岐阜)
- 元田黒鉛山 (シ)
- 木谷 宇平 (富山)
- 柴田次郎平 (朝鮮)
- 城津鑛業所 (シ)

◎主要輸入者

- 加藤 商會 (大阪)
- デウエト商會 (東京)
- 山下黒鉛株式會社 (京城)

◎外國競争者

ソーカーア會社 (コロンボ)

◎輸入の主要原因

主として國産品の不足に基く。

◎輸入品と國産品の優劣

國産黒鉛は炭素含有量七三%以下
の劣等品にして、八五%乃至九六%
のセイロン産品に遠く及ばず。

◎輸入防止の主要處置

優良國産品なきため、輸入は止む
を得ない。

二三七、石 炭

石炭には無煙炭、黒炭、褐炭、泥
炭等の各種あり、輸入品は大部分無
煙炭にして艦船の燃料、煉炭の製造
等に供せらる。

額 價 額

14,092,993圓
16,818,409
24,351,883
29,167,483
24,526,008
27,562,020
35,488,572
36,975,960
42,978,514
34,203,947

昭和三年)

價 額

6,517千圓
23,288
92
5,664
1,391
4
4

南滿洲鐵道株式會社 (大連)

◎外國競争者

輸入品の主たるものは撫順炭、開
平炭、山東炭等にして撫順炭は南滿

◎輸入税率

黒鉛——無税
 増塙は一〇〇斤に付——六圓二五錢
 其他の黒鉛製品は價額の二〇%。

◎主要生産者

大日本黒鉛株式会社 (東京)
 泰平鑛業所 (大阪)
 大正黒鉛株式会社 (福岡)
 飛彈黒鉛株式会社 (岐阜)
 合資會社増木鑛業所 (石川)
 尙ほ天然黒鉛の産地は、内地に於ては越中及飛彈地方、朝鮮に於ては

二三七、石炭

石炭には無煙炭、黒炭、褐炭、泥炭等の各種あり、輸入品は大部分無煙炭にして艦船の燃料、煉炭の製造等に供せらる。

◎輸入税率

無税

◎主要生産者

三菱鑛業株式会社 (東京)
 三井鑛山株式会社 ()
 古河鑛業株式会社 ()
 北海道炭礦汽船株式会社 ()
 雄別炭鑛鐵道株式会社 ()
 八幡製鐵所 (福岡)
 貝島鑛業株式会社 ()
 明治鑛業株式会社 ()
 帝國炭業株式会社 ()
 藏内鑛業株式会社 ()
 大正鑛業株式会社 ()
 中島鑛業株式会社 ()
 麻生 商店 ()
 住友合資會社 (大阪)
 ◎主要輸入者
 撫順炭販賣株式会社 (東京)
 開平炭販賣株式会社 ()

	國産額		輸入額	
	數量	價額	數量	價額
大正10	26,220,617佛噸	227,674,056圓	777,255噸	14,092,993圓
11	27,701,731	250,915,845	1,168,524	16,818,409
12	28,948,820	256,694,363	1,685,877	24,351,883
13	30,110,826	241,614,059	1,979,978	29,167,483
14	31,459,415	236,828,364	1,740,500	24,526,008
昭和1	31,426,549	231,042,269	2,012,526	27,562,020
2	33,530,607	257,280,705	2,660,556	35,488,572
3	33,860,181	254,516,131	2,734,931	36,975,960
4	34,257,817	245,761,054	3,203,232	42,978,514
5	35,298,465	252,863,169	6,650,280	34,203,947

	國産額	
	數量	價額
大正10	1,499,538斤	54,643圓
11	1,742,700	71,138
12	1,334,863	55,107
13	1,279,093	50,717
14	1,683,975	90,147
昭和1	830,644	47,913
2	1,055,756	37,091
3	737,431	27,188
4	658,248	21,377
5	794,256	24,688

(黒鉛の産額)

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
北海道	7,172,014佛噸	49,738,675圓
福島	2,282,629	15,121,454
山口	1,921,342	11,594,132
福岡	18,207,621	134,869,723
佐賀	1,360,742	11,128,861
長崎	2,615,824	19,166,289

主要國別輸入額(昭和三年)

國名	數量	價額
支那	528,157噸	6,517千圓
關東州	1,731,203	23,288
英領印度	6,340	92
佛領印度支那	370,636	5,664
露領アジア	97,068	1,391
獨逸	200	4
濠太刺利	330	4

主要府縣別生産額(昭和四年)

縣名	數量	價額
岐阜	10坩	2,590圓
富山	298	18,787

ソーカー一會社 (コロンボ)
 ◎輸入の主要原因
 主として國産品の不足に基く。

◎輸入品と國産品の優劣

國産黒鉛は炭素含有量七三%以下の劣等品にして、八五%乃至九六%のセイロン産品に遠く及ばず。

◎輸入防止の主要處置

優良國産品なきため、輸入は止むを得ない。

南滿洲鐵道株式会社 (大連)

◎外國競争者

輸入品の主たるものは撫順炭、開平炭、山東炭等にして撫順炭は南滿洲鐵道株式会社、開平炭は開源礦務總局、山東炭は魯大会社が夫々その代表的取扱者である。

◎輸入の主要原因

無煙炭は國産少く且つ輸入品は品質優良なるが爲めに輸入され、撫順炭は國産品よりも價格低廉なるがため輸入され、其他内地に於ける生産不足等の場合に輸入さる。

◎輸入品と國産品の優劣

輸入品の中鴻臺炭及び開平炭は國産品よりも品質優良であるが、その他の產品は國産品と大差ない。但し價格は普通國産品が割高である。

◎輸入防止の主要處置

國産豊富なるものは輸出され、國産少きもの及廉價なるものが輸入される現狀に於て、特に輸入を防止するは一利一害である。

二三八、コークス

コークスには瓦斯コークスと冶金用コークスの二種がある。瓦斯コークスは石炭より石炭瓦斯を製造する際副産物として製出されるものにして品質劣等である。冶金用コークスは冶金及製鋼用に供する目的を以て特に製造したるものにして、瓦斯コークスよりも遙かに優良である。尚ほ兩種とも原料石炭の種類、製造窯の構造、製法等に依つて品質にそれ相異がある。

◎輸入税率

一〇、〇〇〇斤に付一五圓六五銭

◎主要生産者

- 三菱鑛業牧山骸炭製造所(福岡)
- 三井鑛山三池骸炭製造所(ク)
- 廣島電軌株式会社 (廣島)
- 大阪瓦斯株式会社 (大阪)
- 東京瓦斯株式会社 (東京)
- 神奈川骸炭製造株式会社(神奈川)

◎主要輸入者

輸入額少く、石炭輸入業者が副業的に輸入する程度にして本品専門の取扱者として掲ぐべき者なし。

	國産額		輸入額	
	數量	價額	數量	價額
大正10	178,280,007貫	16,292,876圓	27,261噸	827,908圓
11	192,147,744	15,926,101	34,430	1,068,726
12	175,480,843	16,808,362	17,077	543,414
13	221,981,010	29,332,226	19,072	619,411
14	226,453,970	18,511,135	7,309	198,042
昭和 1	276,109,003	20,338,173	6,120	171,787
2	289,606,032	21,738,285	4,349	115,812
3	330,067,781	24,263,407	5,567	111,457
4	337,189,466	24,589,310	5,264	94,794
5	380,010,587	26,764,287	2,024	48,272

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
東京	97,610,405貫	6,537,765圓
神奈川	25,082,193	1,451,687
愛知	22,151,438	2,147,412
大阪	69,547,690	6,022,994
兵庫	14,279,134	1,031,862
廣島	8,880,453	924,518
福岡	62,012,049	3,932,415

主要國別輸入額(昭和三年)

國名	數量	價額
支那	4,030噸	85千圓
關東州	279	10
獨逸	1,258	16

◎外國競争者

往昔巨額に輸入されたる時代に於ては、支那産品を始めとし英國産品獨逸産品等の競争者があつたが、現今に於ては輸入激減せるため有力競争者を見做すべきものなし。

◎輸入の主要原因

冶金用コークスは外國品優良にして價格も比較的廉價のため各國より輸入されたが、現今に於ては國産増加し、瓦斯コークス及冶金用コークス共に内地需要を充し得るに至りたるため、輸入僅少となり、價格が内地品よりも割安となりたる場合その他特殊の場合に限り輸入さる。

◎輸入品と國産品の優劣

品質に於ては優劣なく、價格に於ては運賃等の關係上國産品は概して廉價である。

◎輸入防止の主要處置

本品は現在に於て既に略完全に輸入品を驅逐せるを以て、最早輸入防止策の必要はない。

二三九、セメント

セメントは重要國産品の一にして國産を以て内地需要を充すのみならず、海外に巨額の輸出を見つゝあるが一方に於て尙ほ僅少の輸入を見つゝある。輸入品にはポルトランドセ

額	價額
—圓	—
—	—
—	—
—	—
505,065	—
331,775	—
944,023	—
598,974	—
365,704	—

額(昭和三年)

價額
923千圓
0
0
19

◎主要輸入者

- 帝國セメント株式会社(熊本)
- 三河セメント株式会社(愛知)
- 三重セメント株式会社(三重)

二三九、セメント

- ◎主要生産者
- 三菱鑛業牧山炭炭製造所(福岡)
 - 三井鑛山三池炭炭製造所(廣島)
 - 廣島電軌株式會社(廣島)
 - 大阪瓦斯株式會社(大阪)
 - 東京瓦斯株式會社(東京)
 - 神奈川炭炭製造株式會社(神奈川)
- ◎主要輸入者
- 輸入額少く、石炭輸入業者が副業的に輸入する程度にして本品専門の取扱者として掲ぐべき者なし。

セメントは重要國産品の一にして國産を以て内地需要を充すのみならず、海外に巨額の輸出を見つゝあるが一方に於て尙ほ僅少の輸入を見つゝある。輸入品にはポルトランドセメントの外ローマンセメント、プゾラナセメント、鑛滓セメント等の各種があり、包装は普通四〇〇封度の樽入である。

◎輸入税率

一〇〇斤に付——三〇錢

◎主要生産者

- 淺野セメント株式會社(東京)
- 日本セメント株式會社(〃)
- 秩父セメント株式會社(〃)
- 豊國セメント株式會社(〃)
- 盤城セメント株式會社(〃)
- 電氣化學工業株式會社(〃)
- 中央セメント株式會社(大阪)
- 櫻セメント株式會社(〃)
- 小野田セメント株式會社(山口)
- 宇部セメント株式會社(〃)
- 土佐セメント株式會社(高知)
- 東亞セメント株式會社(兵庫)
- 大分セメント株式會社(大分)

	國産額		輸入額	
	數量	價額	數量	價額
大正10	7,464,325樽	48,638,959圓	—斤	—圓
11	8,899,287	61,635,763	—	—
12	11,046,406	71,236,387	—	—
13	11,486,513	59,135,843	—	—
14	13,327,719	66,287,664	—	—
昭和1	17,780,439	94,691,335	27,834,755	505,065
2	19,158,403	85,457,184	18,196,755	331,775
3	19,307,060	88,156,414	52,711,300	944,023
4	19,504,214	75,599,000	32,599,300	598,974
5	19,234,561	74,420,000	23,378,700	365,704

	國産額	
	數量	價額
大正10	178,280,007貫	16,292,876圓
11	192,147,744	15,926,101
12	175,480,843	16,808,362
13	221,981,010	29,332,226
14	226,453,970	18,511,135
昭和1	276,109,003	20,338,173
2	289,606,032	21,738,285
3	330,067,781	24,263,407
4	337,189,466	24,589,310
5	380,010,587	26,764,287

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
北海道	1,510,000樽	7,550,000圓
東京	997,264	5,504,610
神奈川	1,900,000	8,740,000
愛知	1,157,988	5,770,767
大阪	1,229,799	5,738,290
福岡	4,690,900	19,682,254
大分	1,908,323	7,044,277

主要國別輸入額(昭和三年)

國名	數量	價額
關東州	524,416百斤	923千圓
海峽殖民地	18	0
露西亞	68	0
北米	2,581	19

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
東京	97,610,405貫	6,537,765圓
神奈川	25,082,193	1,451,687
愛知	22,151,438	2,147,412
大阪	69,547,690	6,022,994
兵庫	14,279,134	1,031,862
廣島	8,880,453	924,518
福岡	62,012,049	3,932,415

ス共に内地需要を充し得るに至りたるため、輸入僅少となり、價格が内地品よりも割安となりたる場合その他特殊の場合に限り輸入さる。

◎輸入品と國産品の優劣
品質に於ては優劣なく、價格に於ては運賃等の關係上國産品は概して廉價である。

◎輸入防止の主要處置
本品は現在に於て既に略完全に輸入品を驅逐せるを以て、最早輸入防止策の必要はなし。

◎主要輸入者
帝國セメント株式會社(熊本)
三河セメント株式會社(愛知)
三重セメント株式會社(三重)

◎主要輸入者
三井物産株式會社(東京)

◎外國競争者
獨逸産品、佛蘭西産品、デンマーク産品、ベルギー産品等は世界的に知られてゐるが、本邦輸入品は主として關東州及北米産品である。

◎輸入の主要原因

内地生産過剰なるに拘らず猶ほ且つ輸入されるは、主として價格關係に基くものにして、外國産品が暴落せる場合、爲替の變動に依り輸入有利となりたる場合等特殊の事情ある際に限り輸入さる。

◎輸入品と國産品の優劣

國産品は品質に於て輸入品に優る

◎輸入防止の主要處置

生産費の低下を圖れば輸入は自然根絶すべし。

二四〇、セメント製品

セメント製品は水硬セメントを原料とし、細砂等を加へて型に入れ壓固めて一定の型に製したるものにして、加工せざるもの、顔料を用ひて着色せるもの、塗料を施して彩色せるもの、研磨せるもの等其の種類頗る多く、主たるものは敷瓦、壁瓦、水管、花瓶、人造石等である

◎輸入税率

屋根用及壁用板は價格の三〇%。
(其他磨かざるもの、塗らざるもの及彩色せざるものは同率)
其他は同三五%。

◎主要生産者

- 淺野セメント株式会社 (東京)
- 豊國セメント株式会社 (シ)
- 小野田セメント株式会社(山口)
- 宇部セメント株式会社 (シ)
- 大分セメント株式会社 (大分)

◎主要輸入者

- 三井物産株式会社 (東京)
 - 白石製造所 (シ)
- 此の外セメント用機械類の輸入業者に依つて輸入さるゝもの多し。

年次	國産額		輸入額	
	數量	價額	數量	價額
大正10	—	—圓	—	57,568圓
11	—	—	—	78,269
12	—	1,338,653	—	53,245
13	—	4,031,419	—	32,168
14	—	4,082,651	—	7,542
昭和1	—	4,438,949	—	—
2	—	4,924,449	—	—
3	—	3,995,908	—	—
4	—	4,368,732	—	—
5	—	4,897,550	—	—

(輸入殆んどなし)

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
北海道	—	246,463圓
山形	—	57,000
東京	—	2,009,740
神奈川	—	499,304
大阪	—	345,802
岡山	—	77,128

主要國別輸入額(大正十四年)

國名	數量	價額
支那	—	2,568圓
北米	—	1,965
獨逸	—	1,238

(大正十四年以後殆んど輸入されず)

◎外國競争者

支那、北米その他獨逸、佛蘭西、デンマーク等より輸入される場合もあるも、輸入額僅少にして競争者と見做すべきものなし。

◎輸入の主要原因

セメント製品はセメントの生産發達に伴ひて逐年進歩し、普通品は内地生産を以て優に國內の需要を充し得るのみならず、盛んに輸出されつゝある。故に輸入品は特殊の用途に供する高級品、或は外國に於て新規に考案されたるものが試験的に又は参考品として輸入されるに過ぎざる状態である。

◎輸入品と國産品の優劣

内地に於て需要少なき特殊品の外は、品質に於て優劣なし。

◎輸入防止の主要處置

耐水力、耐壓力及耐伸力に富む各種製品を廉價に生産することを研究し、且つ原料セメントの生産費低下に努める事が肝要である。

二四一、耐火煉瓦

耐火煉瓦は耐火粘土を以て製し、

耐火粘土の成分に依つて粘土質、硅土質、苦土質等に區別さる。粘土質耐火煉瓦は硅酸礬土質の粘土を原料

額	價額
82,579圓	
185,817	
88,431	
230,856	
255,430	
537,101	
329,818	
1,069,931	
561,156	
648,395	

(昭和三年)

價額
251千圓
98
508
14
186
2

品川白煉瓦株式会社 (東京)

三井鑛山株式会社 (シ)

帝國窯業株式会社 (シ)

三保舎 (シ)

三井耐火煉瓦株式会社 (岡山)

其他は同三五%

◎主要生産者

- 淺野セメント株式会社 (東京)
- 豊國セメント株式会社 (シ)
- 小野田セメント株式会社(山口)
- 宇部セメント株式会社 (シ)
- 大分セメント株式会社 (大分)

◎主要輸入者

- 三井物産株式会社 (東京)
 - 白石製造所 (シ)
- 此の外セメント用機械類の輸入業者は依つて輸入されるもの多し。

二四一、耐火煉瓦

耐火煉瓦は耐火粘土を以て製し、耐火粘土の成分に依つて粘土質、硅土質、苦土質等に區別さる。粘土質耐火煉瓦は硅酸礬土質の粘土を原料とせるものにして、冶金及工業上最も廣く用ひられ、窯爐の内壁其他の火床装置、煙道等最も火熱の強烈なる場所の使用に適す。硅石質耐火煉瓦は酸性耐火煉瓦とも稱し、石英と粘土質、石灰質粘結料又は石英、長石、雲母等を原料として製し、主として熔鑛爐の内壁に使用する。苦土質耐火煉瓦は苦土石灰を主成分とし製鐵、製銅用等に供せられ一名鹽基性耐火煉瓦と謂ふ。

尙ほ此の外ボーキサイト耐火煉瓦、ドロマイド耐火煉瓦、クローム鐵耐火煉瓦等の各種がある。

◎輸入税率

一〇〇斤に付 四五錢

◎主要生産者

- 八幡製鐵所 (福岡)
- 九州耐火煉瓦株式会社 (シ)
- 黒崎窯業株式会社 (シ)
- 戸畑耐火煉瓦株式会社 (シ)

	國産額		輸入額	
	數量	價額	數量	價額
大正10	37,146,326個	3,008,648圓	552,873斤	82,579圓
11	28,646,016	2,492,891	2,185,473	185,817
12	46,112,418	5,998,898	1,237,156	88,431
13	39,751,170	3,582,296	2,527,277	230,856
14	39,063,011	4,553,403	2,707,988	255,430
昭和1	52,222,207	7,046,225	9,144,096	537,101
2	53,758,817	5,162,742	6,554,700	329,818
3	70,464,177	7,020,370	23,097,800	1,069,931
4	75,480,562	8,194,032	11,538,500	561,156
5	77,623,582	8,549,337	12,495,600	648,395

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
福島	8,680,000個	602,600圓
岐阜	1,500,000	105,000
愛知	4,797,798	244,989
大阪	7,232,724	1,938,226
兵庫	2,634,123	430,408
岡山	27,417,337	1,835,941
福岡	12,996,454	1,652,082

主要國別輸入額(昭和三年)

國名	數量	價額
關東州	91,455擔	251千圓
英吉利	7,682	98
獨逸	98,252	508
奧地利	2,082	14
北米	31,231	186
加奈陀	88	2

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
北海道	—	246,463圓
山形	—	57,000
東京	—	2,009,740
神奈川	—	499,304
大阪	—	345,802
岡山	—	77,128

供する高級品、或は外國に於て新規に考案されたるものが試験的に又は参考品として輸入されるに過ぎざる状態である。

◎輸入品と國産品の優劣

内地に於て需要少ない特殊品の外は、品質に於て優劣なし。

◎輸入防止の主要處置

耐水力、耐壓力及耐伸力に富む各種製品を廉價に生産することを研究し、且つ原料セメントの生産費低下に努める事が肝要である。

品川白煉瓦株式会社 (東京)

三井鑛山株式会社 (シ)

帝國窯業株式会社 (シ)

三保舎 (シ)

三石耐火煉瓦株式会社 (岡山)

大阪耐火煉瓦株式会社 (大阪)

東洋耐火煉瓦株式会社 (愛知)

◎主要輸入者

旭硝子株式会社 (東京)

日米板硝子株式会社 (大阪)

◎外國競争者

米國産品、獨逸産品及白耳義産品

◎輸入の主要原因

板硝子製造用、製鐵用等の如き特殊品は、内地生産乏しき爲である。

◎輸入品と國産品の優劣

普通品は優劣なく、高級品は外國品稍々優良であるが、價格は概ね國産品が低廉である。

◎輸入防止の主要處置

良質安價原料の探査研究、製造技術の進歩等に俟つの外なし。

二四二、建築用煉瓦

一般建築に使用さるゝ煉瓦は種類頗る多く、建築裝飾の目的に使用さるゝものには陶磁器タイル、テラコッタ等がある。従来専ら輸入に仰ぎつゝあつたが、近年洋式建築の發達に伴ひ是等建築用煉瓦の生産も亦長足の進歩を遂げ、現今に於ては略自給自足の域に達した。

◎輸入税率

釉藥その他の彩料を施せるものは價額に對する二〇%。
孔を有するもの及其他は同一五%

◎主要生産者

- 品川白煉株式会社 (東京)
- 日本洋瓦株式会社 (大)
- 大阪窯業株式会社 (大阪)
- 日本卸株式会社 (大)
- 淡陶株式会社 (大)
- 佐治タイル合資會社 (名古屋)
- 不二見焼タイル合資會社 (大)
- 日本タイル工業株式会社(岐阜)
- 長谷川製陶所 (石川)
- 佐藤製陶所 (石川)
- 東洋タイル製陶所 (石川)

年次	國産		輸入	額	
	數量	價額		數量	價額
大正10	19,056,446箇	1,008,389圓	—斤	—圓	
11	34,392,585	1,163,374	—	—	
12	23,799,026	1,426,310	—	—	
13	20,056,489	1,800,969	1,240,392	266,454	
14	11,929,362	553,141	471,986	64,369	
昭和1	59,230,189	2,651,807	968,254	132,514	
2	20,612,679	767,438	955,138	127,553	
3	7,579,330	259,586	496,583	65,298	
4	7,659,324	262,867	412,169	60,149	
5	7,746,585	271,054	358,269	45,358	

(張附煉瓦の産額)

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
岐阜	3,600,000箇	180,000圓
愛知	3,979,330	79,586

主要國別輸入額(昭和三年)

國名	數量	價額
北米	156,433斤	34,216圓
英吉利	165,234	27,513
瑞典	33,512	3,659
支那	27,545	2,965
關東州	96,753	2,865
獨逸	4,532	886

◎主要輸入者

- 泰山製陶所 (京都)
- 伊奈製陶所 (愛知)
- 建陶株式会社 (石川)
- 伊賀窯業株式会社 (三重)
- 三井物産株式会社 (東京)
- 香川商店 (神戸)

◎外國競争者

- ミルトン・ホリンス會社 (英國)
- リチャード會社 (石川)
- ロック・パーク會社 (石川)
- アトランチック・テラコッタ (米國)
- グラツデン・マクビアン(石川)
- ピラシーボックメトラツハ(獨逸)

◎輸入の主要原因

主として従來の惰性に基く。

◎輸入品と國産品の優劣

意匠に於て輸入品は優るも、價格に於ては國産品は頗る低廉である。

◎輸入防止の主要處置

現今に於ては輸入漸減しつつあるを以て特別施設の必要なし。

二四三、坩堝及其他の粘土製品

坩堝は純粹の硅酸礬土より成る粘土に燒粉、又は坩堝の破片を粉碎したるもの等を加へて燒成したるものにして、冶金及化學分析に於て金屬

額	價額
—圓	—
515,766	—
627,499	—
716,523	—
746,155	—
1,042,151	—
946,055	—
636,642	—

◎外國競争者

- バックアイ・クレイポット會社 (米國)

◎主要生産者

品川白煉株式会社	(東京)
日本洋瓦株式会社	(大阪)
大阪窯業株式会社	(大阪)
大阪陶業株式会社	(大阪)
日本卸株式会社	(大阪)
淡陶株式会社	(名古屋)
佐治タイル合資会社	(名古屋)
不二見焼タイル合資会社	(岐阜)
日本タイル工業株式会社	(岐阜)
長谷川製陶所	(石川)
佐藤製陶所	(石川)
東洋タイル製陶所	(石川)

	國産額	
	數量	價額
大正10	19,056,446箇	1,008,389圓
11	34,392,585	1,163,374
12	23,799,026	1,426,310
13	20,056,489	1,800,969
14	11,929,362	553,141
昭和1	59,230,189	2,651,807
2	20,612,679	767,438
3	7,579,330	259,586
4	7,659,324	262,867
5	7,746,585	271,054

(張附煉瓦の産額)

◎主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
岐阜	3,600,000箇	180,000圓
愛知	3,979,330	79,586

二四三、坩堝及其他の粘土製品

坩堝は純粹の硅酸礬土より成る粘土に焼粉、又は坩堝の破片を粉碎したるもの等を加へて焼成したるものにして、冶金及化學分析に於て金屬その他を熔融するに使用さる。瓦斯レトルトも亦一種の粘土製坩堝にして、主として石炭の乾溜用に供せらる。此の外粘土製品の主たるものは熔鑛爐等に使用するノツズル及ストツパー、電気工業及化學分析に使用するアラシダム製品、マツフル、ブロッツク灸器、燒鍋等である。

◎輸入税率

坩堝は一〇〇斤に付——三圓。其他は價額の一五%。

◎主要生産者

日本坩堝株式会社	(東京)
株式会社三保舎	(大阪)
大正坩堝合名会社	(大阪)
正成館坩堝製造所	(千葉)
大阪坩堝株式会社	(千葉)
池田坩堝製作所	(千葉)

◎主要生産者

専門的輸入者不詳。

	國産額		輸入額	
	數量	價額	數量	價額
大正10	—	881,937圓	—	—圓
11	—	1,204,451	—	—
12	—	419,554	—	—
13	—	1,690,198	—	515,766
14	—	1,377,219	—	627,499
昭和1	—	1,151,225	—	716,523
2	—	1,413,834	—	746,155
3	—	1,418,044	—	1,042,151
4	—	1,420,545	—	946,055
5	—	1,500,100	—	636,642

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
東京	—	152,459圓
愛知	—	23,754
京都	—	2,380
大阪	—	1,078,171
山口	—	161,280

主要國別輸入額(昭和三年)

國名	數量	價額
支那	—	47千圓
英吉利	—	124
佛蘭西	—	36
獨逸	—	275
伊太利	—	10
チェッコ	—	52
北米	—	480

グラツデング・マクビアン(米國)
ビランシーボツクメトラツハ(獨逸)

◎輸入の主要原因

主として従來の惰性に基く。

◎輸入品と國産品の優劣

意匠に於て輸入品は優るも、價格に於ては國産品は頗る低廉である。

◎輸入防止の主要處置

現今に於ては輸入漸減しつつあるを以て特別施設の必要なし。

◎外國競争者

バツクアイ・クレイポット会社 (米國)
グロツクス・アルメード会社(獨逸)

◎輸入の主要原因

粘土製品はその種類多く、各種類に亘つて生産することは困難なるため、國産少き種類、或は國産品よりも品質優良なる種類、比較的廉價なる種類等が輸入される。

◎輸入品と國産品の優劣

種類頗る多きため各國製品それぞれ特徴あり、國産品中にも輸入品に比して品質及價格共に優れる種類も少くないが、高温度用の高級品に於ては概して輸入品が優良である。而してその原因としては、本邦に於ける生産の歴史比較的淺き爲技術的に外國に及ばざると、及び高温度用に供すべき原料粘土に理想的のものなき事等が主たるものである。

◎輸入防止の主要處置

國産粘土に對する研究、及び技術上の研究が最も急務である。

二四四、陶磁器

陶磁器は陶土、磁土又は粘土に石英その他を混じて焼製したるものにして、原料及焼方に依つて磁器、陶器、石器、土器、瓦器等の各種に區別さる。特殊の目的に使用されるもの、外は概ね釉薬を施し、釉薬の原料としては石英、長石及石灰を調合せるものを用ひ、有色釉薬としてはコバルト、満俺、銅、鐵、クロムニツケル、アンチモニー等の酸化金屬を使用す。

本邦は支那、獨逸、佛蘭西、英國、埃國等と共に本品の世界的産地であるが、外國製品中特殊なるものは僅少輸入さる。

◎輸入税率

貴金屬又は貴金屬鍍金を使用せるものは價額に對する五〇%。
其他は四〇%(碍子は二五%)

◎主要生産者

- 日本陶器株式会社 (名古屋)
- 株式会社名古屋製陶所 (ノ)
- 東洋陶器株式会社 (小倉)
- 伊賀窯業株式会社 (三重)
- 大阪陶業株式会社 (大阪)

年次	國産額		輸入額	
	數量	價額	數量	價額
大正10	—	54,057,074圓	—	—圓
11	—	60,491,738	—	—
12	—	64,740,774	—	—
13	—	68,533,276	—	269,681
14	—	78,177,743	—	162,373
昭和1	—	73,970,523	—	156,238
2	—	74,363,381	—	178,512
3	—	76,726,018	—	164,545
4	—	74,767,470	—	96,468
5	—	73,969,457	—	128,576

主要府縣別生産額(昭和四年)

縣名	數量	價額
岐阜	—	12,414,227圓
愛知	—	35,067,351
三重	—	4,693,314
京都	—	4,505,100
大阪	—	2,514,856
福岡	—	2,084,295
佐賀	—	3,449,031
長崎	—	1,677,462

主要國別輸入額(昭和三年)

國名	數量	價額
北米	—	67,568圓
支那	—	43,296
獨逸	—	33,215
佛蘭西	—	2,632
英吉利	—	8,156
關東州	—	1,108
伊太利	—	2,564
英領印度	—	1,906

◎主要輸入者

- 日佛藝術社 (東京)
- 晚翠軒 (ノ)

◎外國競争者

米國、英國、佛國、獨逸、チエツコスロバキア、デンマーク、支那等各國産品であるが、輸入額は極く微々たるものである。

◎輸入の主要原因

主として國産なき特殊製品にして一部好事家の需要に因る。

◎輸入品と國産品の優劣

輸入品の多くは骨董的のものにして、優劣は比較し難し。

◎輸入防止の主要處置

特殊の需要に因るものなるを以て輸入防止の必要なし。

二四五、板硝子

板硝子は普通薄板硝子、厚板硝子及特殊厚板硝子の三種に區別さる。薄板硝子は通常厚さ三ミリ以下のものにして窓硝子と稱せられ、厚板硝

年次	價額
昭和三年	3,989,628圓
	4,000,089
	7,166,814
	0,541,706
	4,677,570
	5,790,668
	5,249,230
	5,901,879
	5,647,176
	4,625,355

品名	價額
米	234千圓
	462
	1,256
	109
	249
	3,249
	259

- 和井田硝子店 (大阪)
- 上野商店 (ノ)
- 丸善硝子店 (ノ)
- 原田商事株式会社 (ノ)

少輸入さる。

◎輸入税率

貴金屬又は貴金屬鍍金を使用せるものは價額に對する五〇%。其他は四〇%(硝子は二五%)

◎主要生産者

- 日本陶器株式會社 (名古屋)
- 株式會社名古屋製陶所 (ノ)
- 東洋陶器株式會社 (小倉)
- 伊賀窯業株式會社 (三重)
- 大阪陶業株式會社 (大阪)

二四五、板硝子

板硝子は普通薄板硝子、厚板硝子及特殊厚板硝子の三種に區別さる。薄板硝子は通常厚さ三ミリ以下のものにして窓硝子と稱せられ、厚板硝子は厚さ三ミリ以上のものにして鏡硝子と稱せられ鏡面、陳列窓等に使用さる。特殊厚板硝子は厚板硝子よりも更に厚く特殊の目的に使用さるゝものである。

◎輸入税率

- (一) 厚さ二・二ミリ以下にして一平方米以下のものは一〇〇平方米に付 一一圓八〇錢。其他一八圓四〇錢
- (二) 厚さ四ミリ以下にして一平方米以下のものは、同四一圓二〇錢。其他四六圓六〇錢。
- (三) 此の外各種(詳細規定省略す)

◎主要生産者

- 旭硝子株式會社 (東京)
- 日米板硝子株式會社 (大阪)
- 極東硝子工業株式會社 (ノ)

◎主要輸入者

- 三井物産株式會社 (東京)
- 株式會社岩井商店 (大阪)

	國 産 額		輸 入 額	
	數量	價 額	數量	價 額
大正10	—	12,586,217圓	790,342方米	3,989,628圓
11	—	9,671,371	1,063,536	4,000,089
12	—	13,348,535	3,510,486	7,166,814
13	—	18,531,007	4,899,716	10,541,706
14	—	17,286,400	1,493,439	4,677,570
昭和1	—	15,504,763	2,836,731	5,790,668
2	—	14,478,896	3,000,762	5,249,230
3	—	15,145,425	3,399,283	5,901,879
4	—	16,214,538	2,788,080	5,647,176
5	—	15,299,659	3,314,338	4,625,355

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣 名	數量	價 額
東京	—	104,850圓
神奈川	—	4,235,255
兵庫	—	208,245
福岡	—	10,597,074

主要國別輸入額(昭和三年)

國 名	數量	價 額
支 那	249千平方米	234千圓
關 東 州	659	462
英 吉 利	344	1,256
佛 蘭 西	65	109
獨 逸	84	249
白 耳 義	1,913	3,249
北 米	64	259

主要府縣別生産額(昭和四年)

縣 名	數量	價 額
岐 阜	—	12,414,227圓
愛 知	—	35,067,351
三 重	—	4,693,314
京 都	—	4,505,100
大 阪	—	2,514,856
大 福 岡	—	2,084,295
佐 賀	—	3,449,031
長 崎	—	1,677,462

々たるものである。

◎輸入の主要原因

主として國産なき特殊製品にして一部好事家の需要に因る。

◎輸入品と國産品の優劣

輸入品の多くは骨董的のものにして、優劣は比較し難し。

◎輸入防止の主要處置

特殊の需要に因るものなるを以て輸入防止の必要なし。

◎外國競争者

- 和井田硝子店 (大阪)
- 上野 商店 (ノ)
- 丸善硝子店 (ノ)
- 原田商事株式會社 (ノ)
- 山田硝子店 (ノ)
- エス・アイザック商會 (横濱)

◎輸入の主要原因

普通品以下は殆んど國産品が使用されつゝあるが、原板硝子、型硝子及磨硝子等は優良國産品なく、又生産量不足なるが爲めである。

◎輸入品と國産品の優劣

特殊品は輸入品に及ばず、且つ國産品は原料不足の爲め高價である。

◎輸入防止の主要處置

原料曹達灰工業の確立を期し、且つ技術の向上を圖る外なし。

二四六、眼

眼鏡はレンズの種類、構造、使用の目的等に依つて種類頗る多く、レンズには加里鉛硝子、加里石灰硝子或は水晶等が用ひられ、平面、凸面凹面等がある。縁及蔓には金銀その他各種金屬製、象牙製、龍甲製、セロロイド製等の各種がある。

◎輸入税率

貴金屬及貴金屬鍍金製、象牙製、龍甲製は價額に對する五〇%。其他は三五%

◎主要輸入者

小澤眼鏡工場 (東京)
海野工場 ()
二宮清藏工場 ()
小泉銀三郎工場 ()
和田製作所 ()

◎主要生産者

服部時計店 (東京)
石坂彌吉商店 ()
松島佐助商店 ()
和田商店 ()
鈴木保商店 (横濱)
伊勢定商店 ()

鏡

年次	國産		輸入	
	數量	價額	數量	價額
大正10	—	896,927圓	—個	—圓
11	—	2,174,369	—	—
12	—	1,191,472	—	—
13	—	2,345,026	7,652	32,614
14	—	713,849	2,181	3,930
昭和1	—	596,729	3,958	4,568
2	—	2,149,455	2,312	4,125
3	—	2,429,870	2,456	4,268
4	—	2,521,589	1,962	3,541
5	—	2,660,022	2,129	3,769

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
東京	—	2,359,718圓
福井	—	11,590
愛知	—	6,097
大阪	—	43,665
岡山	—	8,800

主要國別輸入額(昭和三年)

國名	數量	價額
北米	165個	765圓
獨逸	361	1,002
佛蘭西	158	741
英吉利	232	656
瑞西	39	15
和蘭	25	9

◎外國競争者

ホシロム會社 (米國)
ラプシユ會社 (獨逸)

◎輸入の主要原因

本邦には優秀なるレンズ生産されざるため勢ひ本品の生産振はず、生産者は多數あるも概ね小規模組織なるが故に生産費高く、大工場に於て大量生産される外國品に比して著しく高價である。同時に多年輸入に慣れて輸入産は優良なりとの觀念尙ほ一般的に存す。是れ本品輸入の主因である。

◎輸入品と國産品の優劣

輸入品に比して國産品は製品不統一、且つ著しく高價である。又特殊なるもの例へば貴金屬鍍金製の如きに技術的に外國品に及ばない。唯普通産以下のものに於ては品質上殆んど遜色がない。

◎輸入防止の主要處置

技術的研究、及び大工場組織に依る生産費の低下等が急務である。

二四七、鐵

鑛

鐵鑛には輝鐵鑛、赤鐵鑛、褐鐵鑛、磁鐵鑛、菱鐵鑛等の各種がある。赤鐵鑛は鐵分の含有量多く、純粹なるものは七〇%以上を含有す。褐鐵鑛

額	價額
10,082,526圓	
9,422,647	
7,301,636	
8,957,899	
9,441,053	
7,191,029	
9,073,682	
16,173,811	
19,333,920	
18,955,803	

昭和三年)

價額
8,001千圓
20
8,139
12

◎主要輸入者

八幡製鐵所 (福岡)
(製鐵所は大冶鐵鑛を直接輸入し、

二四七、鐵 鑛

鐵鑛には輝鐵鑛、赤鐵鑛、褐鐵鑛、磁鐵鑛、菱鐵鑛等の各種がある。赤鐵鑛は鐵分の含有量多く、純粹なるものは七〇%以上を含有す。褐鐵鑛は塊又は粉狀として産出し鐵分の含有量約六〇%である。磁鐵鑛は塊狀にて産出し鐵分の含有量七二%内外にして各種鐵鑛中鐵の含有量に於て第一位である。菱鐵鑛は鐵の含有量四八%に過ぎない。世界に於ける鐵鑛産地は米、英、獨、佛、加奈陀、スペイン等にして、本邦に於ける産額は是等諸國に比して遠く及ばず、國內需要の五%に過ぎざる憂ふべき状態である。

◎輸入税率
無 税

◎主要生産者

- 内地に於ける主要鑛山左の如し。
- 釜石鑛山 (岩手)
- 俱知安鑛山 (北海道)
- 虻田鑛山 (ノ)
- 仙人鑛山 (岩手)
- 栗木鑛山 (ノ)

	國 産 額		輸 入 額	
	數量	價 額	數量	價 額
大正10	97,264佛噸	10,023,002圓	9,634,266擔	10,082,526圓
11	78,467	4,826,870	13,641,832	9,422,647
12	113,141	7,861,105	14,887,666	7,301,636
13	75,241	7,993,697	17,752,201	8,957,899
14	88,673	7,043,908	18,395,157	9,441,053
昭和 1	130,420	6,139,481	13,213,835	7,191,029
2	159,005	7,672,101	15,624,796	9,073,682
3	157,706	8,164,932	26,949,575	16,173,811
4	155,015	8,137,511	32,413,092	19,333,920
5	156,765	8,145,213	32,894,327	18,955,803

主要府縣別生産額(昭和四年)

縣 名	數量	價 額
茨 城	—	505,016圓
山 梨	—	387,537
靜 岡	—	576,324
和歌山	—	480,648
岡 山	—	2,781,612
德 島	—	380,871
愛 媛	—	1,907,897
高 知	—	428,783

主要國別輸入額(昭和三年)

國 名	數量	價 額
支 那	14,631十萬斤	8,001千圓
英領 印度	8	20
海峽殖民地	12,308	8,139
英 吉 利	2	12

◎主要生産者

- 服部時計店 (京東)
- 石坂彌吉商店 (ノ)
- 松島佐助商店 (ノ)
- 和田商店 (ノ)
- 鈴木保商店 (横濱)
- 伊勢定商店 (ノ)

	國 産 額	
	數量	價 額
大正10	—	896,927圓
11	—	2,174,369
12	—	1,191,472
13	—	2,345,026
14	—	713,849
昭和 1	—	596,729
2	—	2,149,455
3	—	2,429,870
4	—	2,521,589
5	—	2,660,022

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣 名	數量	價 額
東 京	—	2,359,718圓
福 井	—	11,590
愛 知	—	6,097
大 阪	—	43,665
岡 山	—	8,800

◎輸入品と國産品の優劣

輸入品に比して國産品は製品不統一、且つ著しく高價である。又特殊なるもの例へば貴金屬鍍金製の如きに技術的に外國品に及ばない。唯普通産以下のものに於ては品質上殆んど遜色がない。

◎輸入防止の主要處置

技術的研究、及び大工場組織に依る生産費の低下等が急務である。

◎主要輸入者

八幡製鐵所 (福岡)
(製鐵所は大冶鐵鑛を直接輸入し、民間製鐵業者は中日實業、東亞太平洋通商等の手を経て桃仲及太平洋の鐵鑛を輸入す)

◎外國競争者

支那及英領印度等より輸入され、支那鑛山の主たるものは大冶鐵山、象鼻山、桃仲等である。

◎輸入の主要原因

内地に於ける鐵鑛の産出は頗る僅少にして、朝鮮産鐵鑛及滿洲産鐵鑛等を加ふるも到底國內需要を充し得ざるが爲めである。

◎輸入品と國産品の優劣

鑛石の種類に依り夫々異なるも、品質に於ては概して優劣なし。

◎輸入防止の主要處置

鐵鑛の資源調査、現在利用し得ざる鐵鑛の處理法の研究、製鍊法の根本的改善等が急務とされてゐる。

二四八、滿 僱 鑛

マンガンは普通酸素と化合しマンガ
ンとなりて産出す。マンガン鑛
には軟マンガニ鑛、硬マンガニ鑛、
及含水マンガニ鑛其他の各種類があ
る。何れも多量のマンガンを含有し
就中硬マンガニ鑛は含有量最も多く
六六乃至七七%に達す。
マンガンは化合物として合金を作
り、又鋼鐵原料に用ひられ、或は藥
用に供せらる。

◎輸入税率

無税

◎主要生産者

- 日本産業株式會社 (東京)
 - 白石琢二 (〃)
 - 今井榮之助 (〃)
 - 杉林黒鉛マンガニ製錬所 (〃)
 - 和田岩太郎 (大阪)
 - 大岡考能 (石川)
 - 片山久吉 (大分)
- ◎主要輸入者
- 大倉商事株式會社 (東京)
 - 東亞通商株式會社 (〃)
 - 八幡製鐵所 (福岡)

	國 産 額		輸 入 額	
	數量	價 額	數量	價 額
大正10	1,034,836貫	89,581圓	360,373擔	745,174圓
11	1,183,946	126,156	484,790	708,711
12	1,465,113	157,780	560,771	762,570
13	2,022,560	218,544	813,614	1,091,151
14	3,210,717	260,473	894,067	1,473,897
昭和1	4,055,642	343,333	1,609,933	2,381,918
2	7,349,387	643,789	—	3,518,249
3	4,718,071	424,658	1,752,442	3,695,487
4	18,446噸	367,934	1,888,762	4,777,639
5	19,254	387,169	1,977,400	3,891,619

主要府縣別生産額(昭和四年)

縣 名	數量	價 額
北海道	1,183噸	33,789圓
岩 手	1,574	35,797
栃 木	3,920	63,771
長 野	1,017	20,834
岐 阜	1,122	20,292
京 都	1,560	31,230
山 口	1,664	35,794

主要國別輸入額(昭和三年)

國 名	數量	價 額
支 那	777,662擔	1,758千圓
關 東 州	31,715	92
香 港	165,872	338
英領印度	15,421	36
海峽殖民地	713,599	1,013
蘭領印度	18,064	102
北 米	4,010	144

◎外國競争者

支那産品、印度産品及印度支那産
品等にして、支那産品は主として江
西省、湖南省及關東省産である。

◎輸入の主要原因

國産滿僱の一部は海外に輸出され
つゝあるが、輸出品は主として藥用
に供せられるものにして、藥用とし
ては頗る優良であるが、製鐵原料と
しては不適當である。故に輸入滿僱
は殆んど凡て製鐵原料に供せられる
ものにして、國産の不足が主たる原
因である。

◎輸入品と國産品の優劣

國産品中の優良品は藥用に用ひら
れ輸入品とは全然使途を異にせるた
め優劣を比較し難いが、製鐵原料に
供せられるものに就て比較すれば、
品質に於ては殆んど優劣がない。

◎輸入防止の主要處置

新鑛山の發見等に依り國産の増加
せざる限り輸入の外なく、特に防止
の必要を認めない。

二四九、亞 鉛 鑛

亞鉛鑛には菱亞鉛鑛、紅亞鉛鑛、
閃亞鉛鑛、及び硫酸亞鉛鑛、亞鉛鐵
鑛等の各種があるが、普通亞鉛製錬
用に供せられるものは菱亞鉛鑛及び

額
182,200圓
—
392,862
864,999
775,494
174,051
338,502
943,144
1,668,185
1,058,141

(昭和三年)

價 額
217千圓
469
71
183

◎外國競争者

露領アジア産品、佛領印度支那産
品、及び支那産品等。

◎主要生産者

- 日本産業株式会社 (東京)
- 白石琢二 (シ)
- 今井榮之助 (シ)
- 杉林黒鉛マンガン製錬所 (シ)
- 和田岩太郎 (大阪)
- 大岡考能 (石川)
- 片山久吉 (大分)

◎主要輸入者

- 大倉商事株式会社 (東京)
- 東亞通商株式会社 (シ)
- 八幡製鐵所 (福岡)

	國 産 額	
	數量	價 額
大正10	1,034,836貫	89,581圓
11	1,183,946	126,156
12	1,465,113	157,780
13	2,022,560	218,544
14	3,210,717	260,473
昭和1	4,055,642	343,333
2	7,349,387	643,789
3	4,718,071	424,658
4	18,446噸	367,934
5	19,254	387,169

◎主要府縣別生産額(昭和四年)

縣 名	數量	價 額
北海道	1,183噸	33,789圓
岩 手	1,574	35,797
栃 木	3,920	63,771
長 野	1,017	20,834
岐 阜	1,122	20,292
京 都	1,560	31,230
山 口	1,664	35,794

◎輸入品と國産品の優劣

國産品中の優良品は藥用に用ひられ輸入品とは全然用途を異にせるため優劣を比較し難いが、製鐵原料に供せられるものに就て比較すれば、品質に於ては殆んど優劣がない。

◎輸入防止の主要處置

新鑛山の發見等に依り國産の増加せざる限り輸入の外なく、特に防止の必要を認めない。

二四九、亞鉛鑛

亞鉛鑛には菱亞鉛鑛、紅亞鉛鑛、閃亞鉛鑛、及び硫酸亞鉛鑛、亞鉛鑛鑛等の各種があるが、普通亞鉛鑛鑛用に供せられるものは菱亞鉛鑛及び閃亞鉛鑛の兩種にして、其他亞鉛鑛は殆んど用ひられない。

菱亞鉛鑛即ち炭酸亞鉛鑛は結晶をなして産出し無色、白色、灰色、黝色、褐色、綠色等の各種あり、硝子の如き光澤を有す。シベリヤ、ハンガリー、獨逸等は著名産地である。

閃亞鉛鑛即ち硫化亞鉛鑛は硫化亞鉛の外にマンガンを含有し、結晶體をなす。主産地は獨逸、及びベルギー等である。

◎輸入税率

無 税

◎主要生産者

- 三井鑛山株式会社 (神岡鑛山)
- 高田鑛業株式会社 (高田鑛山)

◎主要輸入者

- 三井物産株式会社 (東京)
- 大倉商事株式会社 (シ)
- 東亞通商株式会社 (シ)

	國 産 額		輸 入 額	
	數量	價 額	數量	價 額
大正10	17,289,352斤	3,631,935圓	55,021擔	182,200圓
11	20,876,578	4,069,219	—	—
12	22,967,307	5,052,910	209,581	392,862
13	23,447,975	5,554,640	295,020	864,999
14	28,249,558	7,990,468	226,631	775,494
昭和1	28,287,035	7,162,717	73,547	174,051
2	29,162,911	6,157,601	94,377	338,502
3	31,861,583	6,339,605	349,487	943,144
4	32,490,631	7,197,563	474,874	1,668,185
5	33,598,294	7,496,514	316,939	1,058,141

◎主要國別輸入額(昭和三年)

縣 名	數量	價 額	國 名	數量	價 額
宮 城	1,999,642斤	417,925圓	支 那	150,670擔	217千圓
福 島	1,709,650	365,241	佛領印度支那	83,266	469
山 口	1,468,333	300,500	北 米	16,875	71
福 岡	26,683,958	5,255,939	墨 西 哥	98,676	183

◎主要府縣別生産額

縣 名	數量	價 額
宮 城	1,999,642斤	417,925圓
福 島	1,709,650	365,241
山 口	1,468,333	300,500
福 岡	26,683,958	5,255,939

◎外國競争者

露領アジア産品、佛領印度支那産品、及び支那産品等。

◎輸入の主要原因

本邦に産出する亞鉛鑛は混合鑛にして、混合鑛物の種類及混合状態の相異に依つて處理法を異にするため製鍊頗る困難である。故にその處理法の研究進まざる現在に於ては亞鉛の生産額少なく、到底國內の需要を充し得ざる状態に在る。是れ本品輸入の主因である。

◎輸入品と國産品の優劣

前陳の理由に依り、國産亞鉛鑛は輸入亞鉛鑛よりも製鍊に不適當であるが、品質のみに就て比較すれば大差はない。

◎輸入防止の主要處置

國産混合鑛の處理法を研究すれば幾分輸入を減少し得るであらうが、國內需要の全部に應ずることは困難である。故に特に輸入を防止する必要は認められない。

二五〇、白金

プラチナは自然産として産出されるが、純粋なるものは少く通常パラジウム、ロゼウム、オスミウム、イリジウム等の微量を含有す主要産地は露國、濠洲、北米等であるが、その産額は極めて微々たるものである。本邦に於ては北海道に砂白金を産出するが、純粋の白金でなく、白金屬中のイリドミンである。

白金は其の質硬緻密にして展性に富み、溶融點高く、各種酸類に溶解せず且つ空氣中に於て酸化せざる等凡ゆる特徴を有す。故に貴金屬中の第一位に推され各種身邊裝飾用等に供せられるが、又化學工業上に於ては薄板及線として、或は分析器具、硫酸濃蒸用鍋、坩堝、電極等として頗る重要缺く可らざるものである。

◎輸入税率
無税

◎主要生産者

純粋のプラチナは國産なく、北海道に砂白金を産するも生産者として特掲すべきものなし。

	國産額		輸入額	
	數量	價額	數量	價額
大正10	1,919匁	45,917圓	32,502匁	687,229圓
11	1,244	38,734	6,001	116,226
12	1,855	52,880	21,322	558,303
13	1,205	48,064	354	13,737
14	1,566	54,769	334	19,368
昭和1	1,645	53,709	58,088瓦	442,254
2	389	8,947	344,237	1,737,913
3	828	26,194	646,850	3,082,928
4	1,359	42,651	444,961	2,094,234
5	1,205	39,564	482,993	1,515,510

主要府縣別生産額

縣名	數量	價額
北海道	828匁	26,194圓

主要國別輸入額(昭和三年)

國名	數量	價額
露領アジア	123匁	641千圓
英吉利	1	12
獨逸	18	86
露西亞	189	761
北米	316	1,579

◎要主輸入者

貴金屬商等の直接輸入するもの多く、本品専門の輸入業者として特掲すべきものなし。

◎外國競争者

本邦に輸入されるものは主として北米産品、露國産品、露領アジア産品、及び獨逸産品である。

◎輸入の主要原因

化學工業の發達に伴ふ實用的需要及び文化の向上に伴ふ奢侈的需要と相俟つて、本品の消費は逐年増加しつつあるに拘らず、國産なきために輸入さる。

◎輸入品と國産品の優劣

國産砂白金は白金屬中の一種に過ぎず、純眞の白金にあらざるを以て優劣を比較すべき國産なし。

◎輸入防止の主要處置

國産なきを以て輸入は止むを得ざるものにして、之を防止するは却つて弊害を免れない。

二五一、金

金は金礦又は砂金として産出し、合金砂又は金礦粉末を機械にて淘汰し、或は水銀法、青化法等を用ひて抽出採取す。金塊錠及金粒は貨幣鑄造を始め竿、板、鈕、管、等の原料

額	價額
130,058,854圓	
925,925	
51,818	
15,818	
1,254	
140,931	
1,802	
409,590	
613,661	
9,686,571	

銀ヲ含ム)

(昭和三年)

價額
5,387圓
404,203

- 藤田鑛業株式會社 (大阪)
- 住友合資會社 (ク)
- 薩摩興業株式會社 (鹿兒島)
- 田中鑛業株式會社 (北海道)

中の第一位に推され各種身邊裝飾用等に供せられるが、又化學工業上に於ては薄板及線として、或は分析器具、硫酸濃蒸用鍋、坩堝、電極等として頗る重要缺く可らざるものである。

◎輸入税率

無税

◎主要生産者

純粹のプラチナは國産なく、北海道に砂白金を産するも生産者として特掲すべきものなし。

二五一、金

金は金鑛又は砂金として産出し、合金砂又は金鑛粉末を機械にて淘汰し、或は水銀法、青化法等を用ひて抽出採取す。金塊錠及金粒は貨幣鑄造を始め竿、板、鈕、管、等の原料とし、竿板及帯は更に之を線、箔等をなし或は裝飾品其他の細工物用に使用す。管及線も亦裝飾その他の細工用に供せられる。箔は所要の色に應じて銀又は銅を混入し、色は赤色より帶黄白色に至る十種類に區別さる。而して箔はその儘塗金、屏風襖等に使用され、又金糸、金粉等の製造原料に供せらる。

◎輸入税率

塊、錠、粒、板及竿は無税。

管及線は價額に對する二〇%。

箔は同二五%。

屑及故(改造用)のみ適するものは無税。

◎主要生産者

- 日本産業株式會社 (東京)
- 三井鑛山株式會社 (ク)
- 三菱鑛業株式會社 (ク)
- 古河鑛業株式會社 (ク)

	國産額		輸入額	
	數量	價額	數量	價額
大正10	1,966,578匁	9,719,563圓	—	130,058,854圓
11	2,007,158	10,012,660	—	925,925
12	2,050,971	10,209,068	—	51,818
13	2,026,743	10,599,262	—	15,818
14	2,256,908	13,154,961	—	1,254
昭和1	2,426,281	12,767,161	—	140,931
2	2,561,855	13,170,699	—	1,802
3	2,770,790	14,685,045	—	409,590
4	2,856,549	14,764,627	—	613,661
5	2,998,544	15,524,968	—	9,686,571

(昭和四、五年度ハ銀ヲ含ム)

	國産額	
	數量	價額
大正10	1,919匁	45,917圓
11	1,244	38,734
12	1,855	52,880
13	1,205	48,064
14	1,566	54,769
昭和1	1,645	53,709
2	389	8,947
3	828	26,194
4	1,359	42,651
5	1,205	39,564

主要府縣別生産額

縣名	數量	價額
秋田	176,985匁	943,331圓
茨城	479,804	2,585,664
新潟	81,709	440,330
香川	192,640	1,020,992
愛媛	208,447	1,104,769
大分	1,002,060	5,256,564
鹿兒島	292,767	1,545,442

主要國別輸入額(昭和三年)

國名	數量	價額
露領亞細亞	—	5,387圓
北米	—	404,203

主要府縣別生産額

縣名	數量	價額
北海道	828匁	26,194圓

及び文化の向上に伴ふ奢侈的需要と相俟つて、本品の消費は逐年増加しつつあるに拘らず、國産なきために輸入さる。

◎輸入品と國産品の優劣

國産砂白金は白金屬中の一種に過ぎず、純眞の白金にあらざるを以て優劣を比較すべき國産なし。

◎輸入防止の主要處置

國産なきを以て輸入は止むを得ざるものにして、之を防止するは却つて弊害を免れない。

- ◎主要輸入者
- 特掲すべきものなし。
- ◎外國競争者
- 一般貿易品にあらず、且つ文明諸國の本位貨幣なるを以て、その輸入に關しては各國夫々特別取締規則あり、一般貿易品の如く外國競争者として特掲し難し。
- ◎輸入の主要原因
- 特殊のものなるを以て、一般貿易品の如き輸入原因に依るものにあらずして、多くは國際金融市場の状況に依り自ら輸入の増減を生ず。
- ◎輸入品と國産品の優劣
- 地金の品質に於ては大差なし。
- ◎輸入防止の主要處置
- 人爲的に國産の増加を圖り難きを以て不足の場合輸入は止むを得ず。
- 藤田鑛業株式會社 (大阪)
- 住友合資會社 (ク)
- 薩摩興業株式會社 (鹿兒島)
- 田中鑛業株式會社 (北海道)

二五二、銀

銀は輝銀鑛その他の銀鑛石より混汞法、沈澱法、鹽化法等の各種製法に依つて抽出したるものにして、混汞法は最も普通に行はる。延性及展性に富み、熱、電氣の良導體である。九六〇度にて溶解し、濃硫酸及硝酸に溶解す。

塊及錠は板、帶、線等の製造或は銀貨の鑄造に供せられ、板及帶は食卓用器具類、各種裝飾品及銀細工に用ひられ、管及線も亦各種裝飾品、銀細工用に供せらる。箔は金箔と同様に屏風、襖、蒔繪等の各方面に用ひられ、且つ銀粉及銀糸の製造材料等に用ひらる。屑及故は地金として改造用に供せらる。

◎輸入税率

塊、錠、板及び帶は無税
管及線は價額に對する二〇%。
箔は同二五%。
屑及故(改造用のみに適するもの)は無税。

◎主要輸入者

日本産業株式會社
古河鑛業株式會社

(東京)
(シ)

輸入額

年次	數量	價額	數量	價額
大正10	34,734,455匁	5,501,299圓	—	8,562,721圓
11	32,840,633	5,636,903	—	746,386
12	29,837,394	4,862,402	—	144,742
13	29,380,953	5,700,205	—	4,091,463
14	33,651,935	6,823,629	—	176,297
昭和1	37,133,947	6,023,840	—	1,487,288
2	37,585,826	5,452,844	—	8,513,884
3	42,672,996	6,516,019	—	2,696,315
4	41,012,549	6,139,329	—	613,661
5	43,546,568	6,254,124	—	9,686,571

(昭和四、五年度ハ金ヲ含ム)

主要府縣別生産額

縣名	數量	價額
秋田	5,808,861匁	888,757圓
茨城	5,539,084	850,471
栃木	3,866,807	593,709
岐阜	2,081,717	319,627
香川	5,506,240	842,455
愛媛	4,577,079	700,293
大分	8,515,027	1,296,186

主要國別輸入額(昭和三年)

國名	數量	價額
支那	—	680圓
關東州	—	37,094
香港	—	2,000
北米	—	2,246,439
英吉利	—	512

◎主要輸入者

三菱鑛山株式會社 (東京)
三井鑛山株式會社 (シ)
住友合資會社 (大阪)
藤田鑛業株式會社 (シ)
高田鑛業株式會社 (福島)
井立鑛業株式會社 (高田)
田中鑛業株式會社 (北海道)

特掲すべきものなし。

◎外國競争者

一般貿易品と趣を異にせるを以て外國競争者として特に掲ぐべきものなし。

◎輸入の主要原因

金と同様にして主として國際金融市場の狀況に基く。

◎輸入品と國産品の優劣

貨幣は各國それ〴〵に位を異にするも、地金の品質は大差なし。

◎輸入防止の主要處置

特に輸入防止の策を講ずる必要なかるべし。

二五三、鉄

鐵

額

價額
18,346,706圓
17,763,254
17,453,053
23,087,222
16,658,333
17,598,261
20,975,480
25,254,312
28,435,466
15,845,808

(昭和三年)

價額
1,463圓
8,545
12,929
450
507
38
132
1,168

◎主要生産者

三井物産株式會社 (東京)
三菱商事株式會社 (シ)
株式會社岩井商店 (大阪)

ひられ、且つ銀粉及銀糸の製造材料等に用ひらる。屑及故は地金として改造用に供せらる。

◎輸入税率

塊、錠、板及び帯は無税
管及線は價額に對する二〇%。
箔は同二五%。
屑及故(改造用のみに適するもの)は無税。

◎主要輸入者

日本産業株式會社 (東京)
古河鑛業株式會社 (〃)

二五三、鉄

鐵

鉄鐵は製鐵作業中最初の製品、即ち各種鐵鑛を熔解して得たる鐵を鑄型に注入し凝固せしめたるものにして、夾雜物多く、質脆く、熔融點比較的低く、炭素の存在状態に依つて灰鉄鐵と白鉄鐵との二種に區別さる。形状は普通海鼠形と稱へ、一塊の重量は一二封度内外である。本品は質脆きため直接諸製品の材料とするに適せず、鋼鐵或は鍛鐵となして後始めて各方面に使用さる。

◎輸入税率

一〇〇斤に付——一〇錢

◎主要生産者

八幡製鐵所 (福岡)
株式會社日本製鋼所 (東京)
釜石鑛山株式會社 (〃)
東京鋼材株式會社 (〃)
株式會社隅田川精鐵所 (〃)
三菱神戸造船所 (神戸)
日本製鐵株式會社 (福岡)
東洋製鐵株式會社 (〃)
戸畑鑄物株式會社 (〃)
日本鋼管株式會社 (川崎)
富士製鋼株式會社 (〃)

	國 産 額		輸 入 額	
	數量	價 額	數量	價 額
大正10	472,725噸	48,217,950圓	3,784,862擔	18,346,706圓
11	550,845	32,499,855	5,466,268	17,763,254
12	599,698	34,782,484	5,767,280	17,453,053
13	585,930	32,226,150	7,365,742	23,087,222
14	685,178	34,258,900	5,272,652	16,658,333
昭和 1	809,624	40,481,200	6,660,655	17,598,261
2	895,246	43,419,431	7,882,451	20,975,480
3	1,092,536	53,534,264	9,486,913	25,254,312
4	1,087,128	48,648,979	10,900,920	28,435,466
5	1,156,294	48,986,546	6,763,820	15,845,808

	國 産 額	
	數量	價 額
大正10	34,734,455匁	5,501,299圓
11	32,840,633	5,636,903
12	29,837,394	4,862,402
13	29,380,953	5,700,205
14	33,651,935	6,823,629
昭和 1	37,133,947	6,023,840
2	37,585,826	5,452,844
3	42,672,996	6,516,019
4	41,012,549	6,139,329
5	43,546,568	6,254,124

主要府縣別生産額

縣 名	數量	價 額
北海道	117,135噸	5,241,791圓
岩 手	98,901	4,425,820
東 京	2,898	30,415
神奈川	62,506	2,797,144
大 阪	8,550	382,613
福 岡	794,847	35,569,403

主要國別輸入額(昭和三年)

國 名	數量	價 額
支 那	512,465擔	1,463圓
關 東 州	3,039,904	8,545
英領印度	5,174,823	12,929
英 吉 利	139,947	450
獨 逸	109,772	507
白 耳 義	14,339	38
瑞 典	28,254	132
北 米	462,765	1,168

主要府縣別生産額

縣 名	數量	價 額
秋 田	5,808,861匁	888,757圓
茨 城	5,539,084	850,471
栃 木	3,866,807	593,709
岐 阜	2,081,717	319,627
香 川	5,506,240	842,455
愛 媛	4,577,079	700,293
大 分	8,515,027	1,296,186

外國競争者として特に掲ぐべきものなし。

◎輸入の主要原因

金と同様にして主として國際金融市場の状況に基く。

◎輸入品と國産品の優劣

貨幣は各國それ〴〵に位を異にするも、地金の品質は大差なし。

◎輸入防止の主要處置

特に輸入防止の策を講ずる必要なかるべし。

◎主要生産者

三井物産株式會社 (東京)
三菱商事株式會社 (〃)
株式會社岩井商店 (大阪)
株式會社岩本商店 (〃)
株式會社安宅商會 (〃)
日印通商會社 (〃)

◎外國競争者

ベンゴール會社 (印度)
タタ會社 (〃)
バインス會社 (〃)

◎輸入の主要原因

鉄鐵の國內需要に對する國産額は五割乃至六割に過ぎざるを以て、その不足額は輸入に仰ぐ外なし。

◎輸入品と國産品の優劣

品質に於ては大差ないが、原料を輸入する關係上國産品は概して輸入品よりも高價である。

◎輸入防止の主要處置

國産の増加、生産費の低下等に努力するの外なし。

二五四、合金鐵

合金鐵には鏡鐵、滿俺鐵、珪素鐵、珪素鏡鐵、クロム鐵、タングステン鐵、モリブデン鐵、等の各種がある。

鏡鐵は鐵以外に炭素及滿俺の少量を含有し、主として製鋼の際炭素及滿俺を加ふるために用ひらる。滿俺鐵は専ら製鋼用に供せられるものにして、滿俺の含有量八〇%以上に達す。珪素鐵は珪素と鐵より成り、製鋼上酸素の除去、及び鋼の質を緻密ならしめるために使用さる。素鏡鐵は鋼に珪素及滿俺を加ふるために用ひらる。此の外合金鐵即ちクロム鐵、タングステン鐵等は何れも特殊鋼の製造に供せられるものである。

◎輸入税率

價額に對する一〇%

◎主要生産者

- 八幡製鐵所 (福岡)
- 釜石鑛山釜石鑛業所 (岩手)
- 日本曹達會津工場 (福島)
- 合資會社鐵興社 (シ)
- 東京鋼材株式會社 (東京)

	國 産 額		輸 入 額	
	數量	價 額	數量	價 額
大正10	7,575	—	16,269	278,355
11	8,465	—	19,385	203,793
12	11,053	—	9,499	113,098
13	12,475	—	55,000	702,032
14	11,542	—	26,030	481,688
昭和 1	12,208	—	10,260	361,474
2	16,012	—	27,625	500,599
3	17,091	—	26,534	520,069
4	18,544	—	12,342	305,417
5	18,965	—	10,312	336,490

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣 名	數量	價 額
東 京	3,169	—
神奈川	1,125	—
大 阪	2,547	—
兵 庫	1,253	—
福 岡	3,596	—

主要國別輸入額(昭和三年)

國 名	數量	價 額
英 吉 利	776	62千圓
佛 蘭 西	3,908	47
獨 逸	5,190	144
伊 太 利	1,274	15
瑞 典	3,956	98
諾 威	10,591	133

◎主要輸入者

- 日本鋼管電氣製鐵所 (富山)
- 大同電氣製鋼所 (名古屋)

◎外國競争者

- 三井物産株式會社 (東京)
- 三菱商事株式會社 (シ)
- 株式會社岩井商店 (大阪)
- 株式會社岩本商店 (シ)
- 株式會社安宅商會 (シ)
- 日印通商會社 (シ)

◎輸入の主要原因

國産品は國內需要の一半を充すに過ぎず、而も原料輸入等の關係上輸入品よりも割高なる爲めである。

◎輸入品と國産品の優劣

國産品は品質に於て敢て輸入品に劣らないが、概して高價である。

◎輸入防止の主要處置

國産の激増は期待し難きを以て、當分輸入は止むを得ない。

二五五、鋼塊及鋼片

鋼塊は千分中四乃至五の炭素を含有し、純鐵に比し堅硬にして可鍛性を有するを以て各種鋼材の製造に用ひらる。各種鋼塊の中インゴットは普通海鼠型又は長方形の塊をなし、

額	價 額
126,643	圓
257,262	
327,767	
657,222	
119,540	
1,921,925	
102,738	
238,915	
213,889	
108,059	

(昭和三年)

價 額
17千圓
5
142
73

- 淺野造船製鐵部 (横濱)
- 日本鑄造株式會社 (シ)
- 大阪製鐵株式會社 (大阪)
- 株式會社住友製鋼所 (シ)
- 株式會社日本鑄鋼所 (シ)

に用ひらる。此の外合金鐵即ちクロム鐵、タングステン鐵等は何れも特殊鋼の製造に供せられるものである。

◎輸入税率
價額に對する一〇%

◎主要生産者

- 八幡製鐵所 (福岡)
- 釜石鑛山釜石鑛業所 (岩手)
- 日本曹達會津工場 (福島)
- 合資會社鐵興社 (シ)
- 東京鋼材株式會社 (東京)

國産額
數量 價額

大正10	7,575	—
11	8,465	—
12	11,053	—
13	12,475	—
14	11,542	—
昭和1	12,208	—
2	16,012	—
3	17,091	—
4	18,544	—
5	18,965	—

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
東京	3,169	—
神奈川	1,125	—
大阪	2,547	—
兵庫	1,253	—
福岡	3,596	—

印度産品及獨逸産品。

◎輸入の主要原因

國産品は國內需要の一半を充すに過ぎず、而も原料輸入等の關係上輸入品よりも割高なる爲めである。

◎輸入品と國産品の優劣

國産品は品質に於て敢て輸入品に劣らないが、概して高價である。

◎輸入防止の主要處置

國産の激増は期待し難きを以て、當分輸入は止むを得ない。

二五五、鋼塊及鋼片

鋼塊は千分中四乃至五の炭素を含有し、純鐵に比し堅硬にして可鍛性を有するを以て各種鋼材の製造に用ひらる。各種鋼塊の中インゴットは普通海鼠型又は長方形の塊をなし、ブルームは展壓して方形の棒に作られ、ピレットはブルームに似てブルームより小形、スラップは扁平状をなす。

鋼片は竿鋼製造の際生ずる切屑にして長短不同、主として工具の製作に用ひらる。鑄物用に供せられるバンプースチールも亦鋼切の一種に屬する棒狀鋼である。

◎輸入税率

一〇〇斤に付——五〇錢

◎主要生産者

- 八幡製鐵所 (福岡)
- 株式會社日本製鋼所 (東京)
- 東京製鋼株式會社 (シ)
- 株式會社大島製鋼所 (シ)
- 日本特殊鋼合資會社 (シ)
- 日本鑄鋼株式會社 (シ)
- 日本鋼管株式會社 (川崎)
- 富士製鋼株式會社 (シ)

國産額 輸入額
數量 價額 數量 價額

大正10	—	佛噸	—	圓	7,614	擔	126,643	圓
11	—	—	—	—	37,439	—	257,262	—
12	134,409	—	17,741,089	—	58,960	—	327,767	—
13	183,637	—	20,138,387	—	106,682	—	657,222	—
14	324,070	—	27,248,917	—	12,484	—	119,540	—
昭和1	562,587	—	46,583,274	—	421,756	—	1,921,925	—
2	359,847	—	28,524,619	—	6,733	—	102,738	—
3	291,241	—	25,227,911	—	13,541	—	238,915	—
4	305,120	—	26,378,951	—	13,849	—	213,889	—
5	323,745	—	27,878,568	—	6,724	—	108,059	—

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
東京	17,534	佛噸 4,247,669圓
神奈川	54,269	3,531,478
富山	12,489	1,799,436
愛知	6,497	2,748,840
大阪	52,019	2,861,045
兵庫	135,650	8,198,266

主要國別輸入額(昭和三年)

國名	數量	價額
英吉利	1,227	擔 17千圓
獨逸	967	5
瑞典	7,957	142
北米	3,382	73

◎主要輸入者

- 淺野造船製鐵部 (横濱)
- 日本鑄造株式會社 (シ)
- 大阪製鐵株式會社 (大阪)
- 株式會社住友製鋼所 (シ)
- 株式會社日本鑄鋼所 (シ)
- 株式會社大阪製鐵所 (シ)
- 住友伸鋼管株式會社 (シ)
- 株式會社神戸製鋼所 (神戸)
- 株式會社川崎造船所 (シ)
- 株式會社淺野小倉製鋼所(小倉)

◎外國競争者

- 三井物産株式會社 (東京)
- 三菱商事株式會社 (シ)
- 株式會社岩井商店 (大阪)
- 獨逸産品、英國産品、米國産品、瑞典産品、白耳義産品等。

◎輸入の主要原因

主として内地生産の不足に因る。

◎輸入防止の主要處置

本品の如きは製鐵業の發達に比例して生産増加するを以て、製鐵業の發達を圖る事が根本主義である。

二五六、鋼條竿

鋼製條及竿は鋼を壓延して種々の形状に製したるものにして、方形、扁平方形、圓形、半圓形、六角形、八角形等種類頗る多く、長さは普通一二呎乃至一七呎である。建築用、造船用、工具製作用、釘用その他に用途頗る廣く、使用の目的に應じて或は中心口小孔を有するもの、表面に凸凹あるもの、或は丁形、等邊、不等邊、山型、球山型、工型、球根溝型、乙型等各種各様に製造さる、

◎輸入税率

一〇〇斤に付——一圓一〇錢

◎主要生産者

- 八幡製鐵所 (福岡)
- 株式會社日本製鋼所 (東京)
- 釜石鑛山株式會社 ()
- 東京鋼材株式會社 ()
- 日本鋼管株式會社 (川崎)
- 富士製鋼株式會社 ()
- 住友伸銅鋼管株式會社 (大阪)
- 株式會社神戸製鋼所 (神戸)
- 株式會社大岡電氣製鋼所(名古屋)
- 大阪製鐵株式會社 (大阪)
- 淺野小倉製鋼所 (福岡)

年次	國産額		輸入額	
	數量	價額	數量	價額
大正10	—貫	—圓	2,485,325擔	28,138,262圓
11	—	—	4,115,434	25,273,396
12	15,960,790	17,351,616	3,322,057	19,799,558
13	47,273,930	22,532,251	5,068,593	30,703,973
14	59,322,183	25,796,766	2,304,809	14,253,070
昭和1	48,024,400	21,611,694	4,638,248	22,141,369
2	64,590,817	23,653,795	3,435,945	15,992,693
3	77,147,684	27,438,945	2,365,187	12,608,178
4	79,856,481	27,985,453	3,179,000	17,635,332
5	85,216,533	29,876,596	1,773,285	9,938,785

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
岩手	16,390,222貫	5,770,314圓
埼玉	130,200	79,400
東京	1,310,115	521,436
神奈川	20,425,253	7,033,548
大阪	13,302,274	4,096,336
兵庫	12,310,836	4,194,804
福岡	13,240,084	5,727,627

主要國別輸入額(昭和三年)

國名	數量	價額
英吉利	364,348擔	2,269千圓
佛蘭西	267,556	1,282
獨逸	1,140,495	5,763
白耳義	370,132	1,634
和蘭	53,036	245
瑞典	25,837	388
北米	91,448	650

◎主要輸入者

- 三井物産株式會社 (東京)
- 三菱商事株式會社 ()
- 淺野物産株式會社 ()
- 株式會社岩井商店 (大阪)
- 株式會社岩本商店 ()
- 岡谷合資會社 (名古屋)

◎外國競争者

北米産品、獨逸産品、英國産品及びベルギー産品。

◎輸入の主要原因

内地生産逐年發達しつつあるも未だ國內需要を充すに至らず、且つ原料輸入その他の關係上國産品は比較的高價なるが爲めである。

◎輸入品と國産品の優劣

品質に於ては輸入品に比して何等の遜色を認めず。

◎輸入防止の主要處置

生産設備の改善、能率の増進を期して生産費の低下に努めることが最も急務である。

二五七、ワイヤロツド

ワイヤロツドは鋼を展延して製したる細小の竿にして、直徑〇・一六二吋乃至〇・三吋、之を一番より七番までに區分す、輸入品は五番前後のものが大部分である。形状及用途

價額
3,397,080圓
5,717,777
6,445,015
9,969,162
5,159,587
9,325,339
8,297,638
13,378,746
13,577,258
5,496,358

(昭和三年)

價額
473千圓
1,102
6,540
1,137
344
427
2,704
528

◎外國競争者

- 株式會社岩井商店 (大阪)
- 株式會社岩本商店 ()
- 株式會社安宅商會 ()

一〇〇斤に付——一圓一〇錢

◎主要生産者

- 八幡製鐵所 (福岡)
- 株式會社日本製鋼所 (東京)
- 釜石鑛山株式會社 (シ)
- 東京鋼材株式會社 (シ)
- 日本鋼管株式會社 (川崎)
- 富士製鋼株式會社 (シ)
- 住友伸銅鋼管株式會社 (大阪)
- 株式會社神戸製鋼所 (神戸)
- 株式會社大岡電氣製鋼所(名古屋) (大阪)
- 大阪製鐵株式會社 (大阪)
- 淺野小倉製鋼所 (福岡)

國産額

年次	數量	價額
大正10	—貫	—圓
11	—	—
12	15,960,790	17,351,616
13	47,273,930	22,532,251
14	59,322,183	25,796,766
昭和1	48,024,400	21,611,694
2	64,590,817	23,653,795
3	77,147,684	27,438,945
4	79,856,481	27,985,453
5	85,216,533	29,876,596

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
岩手	16,390,222貫	5,770,314圓
埼玉	130,200	79,400
東京	1,310,115	521,436
神奈川	20,425,253	7,033,548
大阪	13,302,274	4,096,336
兵庫	12,310,836	4,194,804
福岡	13,240,084	5,727,627

◎輸入品と國産品の優劣

内地生産逐年發達しつゝあるも未だ國內需要を充すに至らず、且つ原料輸入その他の關係上國産品は比較的高價なるが爲めである。

◎輸入防止の主要處置

生産設備の改善、能率の増進を期して生産費の低下に努めることが最も急務である。

二五七、ワイヤロッド

ワイヤロッドは鋼を展延して製したる細小の竿にして、直徑〇・一六二吋乃至〇・三吋、之を一番より七番までに區分す、輸入品は五番前後のものが大部分である。形状及用途共に鐵線に類似してゐるが、製造方法は鐵線と異る、主として鐵索或は釘製造の原料に用ひらる。

◎輸入税率

價額に對する一八%。

◎主要生産者

- 八幡製鐵所 (福岡)
- 株式會社淺野小倉製鋼所(シ)
- 住友伸銅鋼管株式會社 (大阪)
- 惠比須組鋼線製造工場 (シ)
- 攝津亞鉛メッキ工業所 (シ)
- 株式會社神戸製鋼所 (神戸)

◎主要輸入者

- 三井物産株式會社 (東京)
- 三菱商事株式會社 (シ)
- 淺野物産株式會社 (シ)
- 岡谷合資會社 (名古屋)

國産額 輸入額

年次	數量	價額	數量	價額
大正10	26,443繩	—	358,881擔	3,397,080圓
11	27,573	—	901,304	5,717,777
12	39,598	—	905,502	6,445,015
13	31,665	—	1,470,693	9,969,162
14	48,603	—	855,309	5,159,587
昭和1	50,384	—	1,966,172	9,325,339
2	54,427	—	1,818,162	8,297,638
3	57,589	—	2,877,405	13,378,746
4	58,963	—	2,624,567	13,577,258
5	61,238	—	1,144,744	5,496,358

主要府縣別生産額

縣名	數量	價額
兵庫	795繩	—
福岡	56,794	—

主要國別輸入額(昭和三年)

國名	數量	價額
英吉利	105,061擔	473千圓
佛蘭西	251,288	1,102
獨逸	1,452,730	6,540
白耳義	258,438	1,137
和蘭	75,746	344
瑞典	42,054	427
北米	483,922	2,704
加奈陀	108,244	528

◎外國競争者

- 株式會社岩井商店 (大阪)
- 株式會社岸本商店 (シ)
- 株式會社安宅商會 (シ)

◎輸入の主要原因

各種鋼材の中本品の國內生産は最も振はず、生産額は頗る微々たるものにして國內需要の極く一部を充すに過ぎざる状態である。故に需要の大部分は輸入に仰がざるを得ず、加ふるに歐米諸國品が本邦に於ける生産費以下の安値を以て濫賣されることあるため、輸入は逐年増加の傾向である。

◎輸入品と國産品の優劣

技術的には殆んど優劣を認めないが、輸入品と同等以下の生産費を以て生産する事は困難である。

◎輸入防止の主要處置

生産設備を擴張し大量生産に依る生産費の低下に努める事が急務。

二五八、鋼板

鋼板は鋼塊を展延して適宜に切断したるものにして、厚さ四分ノ一吋以下のものを薄板、四分ノ一吋以上のものを厚板と稱し、幅二吋以内のものは平鐵と稱す。亞鉛及錫等を鍍金せるものと然らざるもの、或は波形板、有紋板等の種類あり、波形板は工場倉庫等の壁、橋梁面、工場等に多く使用され、有紋板即ち網目板は船舶、工場等に用ひられ、アルミニウム鋼板は主として發電機製作作用に供せられ、錫鍍金せるブリキ板は各種罐、玩具製造その他に用ひられ、亞鉛鍍金は造船用、水槽、バケツ或は屋根張等に用ひらる。

◎輸入税率

- (一) 金屬を鍍せざる厚さ〇・七耗以下の硅素鋼板は一〇〇斤に付三〇錢。其他は二〇〇斤に付一圓九五錢。
- (二) 厚さ三耗以下は一〇〇斤に付一圓四〇錢、其他同一圓一〇錢。
- (三) 錫鍍金せるものは二〇斤七〇錢。
- (四) 亞鉛鍍金せるものは同三圓八五錢。
- (五) 其他は價額に對する二〇%。

◎主要生産者

二五九、鋼線

鋼線は鋼の細竿を製線機に掛けて製したるものにして、普通圓形であるが、隋圓形、半圓形、扁平形、方形及び三角形等の各種がある。又線の大きさは四〇種類の多きに達す。

入 額	價 額
6,989,352圓	
9,647,260	
6,195,493	
7,932,836	
4,177,020	
5,763,091	
2,174,678	
1,975,237	
2,771,100	
797,265	

線

額(昭和二年)	價 額
257千圓	
884	
218	
114	
473	

輸 入 額	價 額
4,748,275擔	75,040,262圓
7,710,600	85,653,318
5,091,084	60,555,996
8,247,605	111,026,553
3,481,737	49,055,505
5,200,941	53,374,221
5,038,039	51,289,428
5,745,475	55,854,726
4,204,893	42,946,724
2,557,479	26,013,829

板

主要府縣別生産額(昭和四年)

縣 名	數 量	價 額
東 京	12,445,004貫	5,707,904圓
神奈川	14,206,393	4,392,303
愛 知	214,225	241,629
大 阪	4,853,826	1,618,727
兵 庫	47,218,068	19,937,997
山 口	7,135,575	4,026,859
福 岡	7,089,754	2,725,009

主要國別輸入額(昭和三年)

國 名	數 量	價 額
英 吉 利	2,766,223擔	25,547千圓
佛 蘭 西	27,139	161
獨 逸	867,095	6,616
白 耳 義	167,895	963
和 蘭	11,508	82
瑞 典	4,844	149
北 米	1,888,091	22,473

◎主要輸入者

- 八幡製鐵所 (福岡)
- 三菱製鐵兼二浦製鐵所 (朝鮮)
- 東海鋼業株式會社 (福岡)
- 徳山鐵板株式會社 (山口)
- 川崎造船製鐵工場 (神戸)
- 大阪製鐵株式會社 (大阪)
- 淺野造船製鐵部 (横濱)

◎外國競争者

- 三井物産株式會社 (東京)
- 三菱商事株式會社 ()
- 淺野物産株式會社 ()
- 田村商會 ()

◎輸入の主要原因

獨逸産品、米國産品、英國産品。主として内地生産の不足に因る。

◎輸入品と國産品の優劣

概して優劣なく、厚板は寧ろ國産品が優良である。

◎輸入防止の主要處置

能率増進を圖り、生産費の低減に努める事が急務である。

◎主要輸入者

- 三井物産株式會社 (東京)
- 三菱商事株式會社 ()
- 株式會社岸本商店 (大阪)

鋼線は鋼の細竿を製線機に掛けて製したるものにして、普通圓形であるが、階圓形、半圓形、扁平形、方形及び三角形等の各種がある。又線の大きさは四〇種類の多きに達す。太きものは錐尖、洋傘骨等に用ひられ、細きものは縫針その他の原料に供せられ、細太共に用途は頗る廣汎である。自轉車及自動車用のスポーク、時計の軸及振子等に用ひられるものは多く銅、真鍮その他の金屬を以て鍍金を施す。

◎輸入税率

- (一)金屬を鍍せざる厚さ〇・七耗以下の珪素鋼板は一〇〇斤に付三〇錢。其他は二〇〇斤に付一圓九五錢。
- (二)厚さ三耗以下は一〇〇斤に付一圓四〇錢、其他同一圓一〇錢。
- (三)錫鍍金せるものは二〇〇斤七〇錢。
- (四)亞鉛鍍金せるものは同三圓八五錢。
- (五)其他は價額に對する二〇%。

◎主要生産者

- 東京亞鉛鍍金株式會社 (東京)
- 惠比須組鐵線製造工場 (大阪)
- 攝津亞鉛メッキ株式會社 (シ)
- 和氣鐵線製造所 (シ)
- 乾鐵線株式會社 (兵庫)
- 株式會社淺野小倉製鋼所(福岡)
- (右生産者は何れも鐵線製造を主とし鋼線製造は僅少である)

二五九、鋼線

	國産額	
	數量	價額
大正10	—貫	—圓
11	—	—
12	14,057,488	8,319,761
13	34,182,477	18,623,275
14	45,128,727	24,500,084
昭和1	12,815,358	5,215,759
2	24,458,401	24,224,659
3	93,168,345	38,652,903
4	87,954,168	34,768,964
5	95,362,345	39,124,913

	國産額		輸入額	
	數量	價額	數量	價額
大正10	—貫	—圓	453,881擔	6,989,352圓
11	—	—	919,741	9,647,260
12	1,298,944	10,154,654	545,768	6,195,493
13	8,411,087	7,007,890	664,317	7,932,836
14	10,830,145	11,038,167	378,974	4,177,020
昭和1	13,465,867	7,707,857	610,688	5,763,091
2	13,789,328	7,264,016	200,815	2,174,678
3	29,759,155	13,439,164	157,734	1,975,237
4	28,564,356	12,432,376	238,168	2,771,100
5	28,355,296	11,569,842	60,262	797,265

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
栃木	1,194,565貫	739,209圓
東京	2,897,045	1,438,701
大阪	13,492,799	7,025,369
兵庫	6,669,660	2,426,082
廣島	24,290	14,760
福岡	5,457,747	1,782,787

主要國別輸入額(昭和二年)

國名	數量	價額
英吉利	16,875擔	257千圓
獨逸	73,373	884
白耳義	13,276	218
瑞典	5,201	114
北米	47,750	473

主要府縣別生産額(昭和四年)

縣名	數量	價額
東京	12,445,004貫	5,707,904圓
神奈川	14,206,393	4,392,303
愛知	214,225	241,629
大阪	4,853,826	1,618,727
兵庫	47,218,068	19,937,997
山口	7,135,575	4,026,859
福岡	7,089,754	2,725,009

◎外國競争者

獨逸産品、米國産品、英國産品。

◎輸入の主要原因

主として内地生産の不足に因る。

◎輸入品と國産品の優劣

概して優劣なく、厚板は寧ろ國産品が優良である。

◎輸入防止の主要處置

能率増進を圖り、生産費の低減に努める事が急務である。

◎主要輸入者

- 三井物産株式會社 (東京)
- 三菱商事株式會社 (シ)
- 株式會社岸本商店 (大阪)

◎外國競争者

獨逸産品、米國産品及英國産品。

◎輸入の主要原因

本品の國內に於ける生産額は未だ國內需要を充すに足らず、加ふるに外國品は原料の豊富、生産組織の完備その他の理由に依り品質優良にして而も比較的廉價に購入し得るが爲めである。

◎輸入品と國産品の優劣

製造技術に於ては殆んど諸外國に劣らないが、生産規模大ならざる爲大量生産されず、且つ生産費高く、輸入品に對抗するは困難である。

◎輸入防止の主要處置

生産設備の擴張及び改善、技術的研究、原料の増産、生産費の低下等に努力するの外なし。

二六〇、鋼管及鋼筒

鋼製管及筒は質堅硬にして高壓に耐へるを以て軍艦、機關車用等の汽管、或は自動車、唧筒に使用さる。製法に依つて抽出管及鍛接管の二種に區別され、鍛接管は鋼板を曲げ合せ目を鍛接したるものにして累領鍛接管、衝頭鍛接管、螺旋鍛接管等の各種がある。

◎輸入税率

- (一) 金屬を鍍せざるもの、エルボー及ジョイントは價額の一八%。
- (二) 鑄造せるものは一〇〇斤に付一圓。
- (三) 金屬を鍍したるものは二〇%、
- (四) 其他は一八乃至一五%。

◎主要生産者

- 日本鋼管株式會社 (川崎)
- 住友伸銅鋼管株式會社 (大阪)
- ◎主要輸入者
- 三井物産株式會社 (東京)
- 三菱商事株式會社 (〃)
- 淺野物産株式會社 (〃)
- 瓦斯管販賣株式會社 (〃)
- 株式會社岩井商店 (大阪)

	國 産 額		輸 入 額	
	數量	價 額	數量	價 額
大正10	—貫	—圓	566,151擔	10,788,618圓
11	—	—	558,259	6,537,361
12	2,346,060	7,897,274	567,011	7,126,932
13	9,561,978	9,944,974	647,578	9,265,127
14	10,323,979	10,822,809	470,544	6,600,987
昭和 1	22,196,232	15,234,781	866,388	9,881,369
2	2,931,494	10,174,357	940,091	9,494,571
3	22,165,344	20,331,676	897,214	8,877,009
4	23,175,940	21,267,565	1,050,818	11,255,377
5	24,505,487	23,543,015	506,530	5,488,222

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣 名	數量	價 額
千 葉	11,610貫	560,600圓
神奈川	4,236,702	8,894,373
京 都	38,000	30,400
大 阪	4,951,257	7,789,172
兵 庫	2,928,775	2,898,931

主要國別輸入額(昭和三年)

國 名	數量	價 額
英 吉 利	104,327擔	1,022千圓
佛 蘭 西	77,554	867
獨 逸	298,659	2,706
白 耳 義	17,088	160
瑞 西	871	24
北 米	398,043	4,041

株式會社岸本商店 (〃)

◎外國競争者

- サイース會社 (獨逸)
- フォニックス會社 (〃)
- マンネスナン會社 (〃)
- ナシヨナルチユーブ會社(英國)

◎輸入の主要原因

交通機關の發達及び一般工業の發達等に伴ひ、本品の需要は逐年増加しつつあるに拘らず、國內に於ける生産は微々として振はず到底需要に應じ得ざるが爲めである。

◎輸入品と國産品の優劣

現在に於ては製造技術上には殆んど遜色を認めないが、製品として輸入品と競争するには、原料鋼の品質價格等に於て尙ほ幾分の遜色あり、對抗困難である。

◎輸入防止の主要處置

原料に乏しき我國に於ては、本品に限らず各種鋼材の輸入を根絶せしむることは頗る困難であるが、當業者が設備改善、製法の向上等に努むれば幾分輸入を緩和し得るであらう

二六一、特殊鋼

特殊鋼は特殊の目的に使用するため普通の鋼にマンガ、クロミウム、タングステン、モリブデン、バナジウム、珪素等を加へ、特殊の硬度又は抗張力を與へたるものにして、

額 價 額

- 圓
-
-
-
-
- 1,302,260
- 1,517,501
- 1,394,033
- 1,219,794

(昭和三年)

價 額

- 491千圓
- 214
- 321
- 79
- 191
- 70

イリス商會

株式會社米井商店 (東京)

原田組 (〃)

近藤喜兵衛商店 (大阪)

株式會社カデリウス商會(東京)

(三) 金屬を鍍したるものは二〇%、
(四) 其他は一八乃至一五%。

◎主要生産者

日本鋼管株式會社 (川崎)
住友伸銅鋼管株式會社 (大阪)

◎主要輸入者

三井物産株式會社 (東京)
三菱商事株式會社 (〃)
淺野物産株式會社 (〃)
瓦斯管販賣株式會社 (〃)
株式會社岩井商店 (大阪)

二六一、特殊鋼

特殊鋼は特殊の目的に使用するため普通の鋼にマンガ、クロミウム、タングステン、モリブデン、バナジウム、珪素等を加へ、特殊の硬度又は抗張力を與へたるものにして、配合原料に依りマンガ鋼、クロミウム鋼、タングステン鋼、モリブデン鋼、珪素鋼等の區別がある。而してマンガ鋼は主として特殊帶金、軌條等に、クロミウム鋼は發條及工具類の製作に、タングステン鋼は磁石、及銑身及工具類に、モリブデン鋼は航空機及自動車用に、バナジウム鋼は機械及工具類に、珪素鋼は電氣機械類に、夫々應用さる。高速度鋼も亦特殊鋼の一部にして、是等原素の數種を同時に少量づゝ加へて製したるものである。

◎輸入税率

價額に對する一八%。(詳細略す)

◎主要生産者

日本特殊鋼會社 (東京)

◎主要輸入者

河合鋼商店 (東京)

	國産額		輸入額	
	數量	價額	數量	價額
大正10	12,567 疋	—	— 擔	— 圓
11	5,965	—	—	—
12	7,965	—	—	—
13	8,861	—	—	—
14	18,905	—	—	—
昭和 1	10,358	—	—	—
2	10,943	—	42,964	1,302,260
3	15,930	—	46,500	1,517,501
4	16,707	—	40,957	1,394,033
5	16,987	—	41,244	1,219,794

	國産額	
	數量	價額
大正10	— 貫	— 圓
11	—	—
12	2,346,060	7,897,274
13	9,561,978	9,944,974
14	10,323,979	10,822,809
昭和 1	22,196,232	15,234,781
2	2,931,494	10,174,357
3	22,165,344	20,331,676
4	23,175,940	21,267,565
5	24,505,487	23,543,015

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
北海道	5,055 疋	—
東京	1,853	—
愛知	1,415	—
大阪	1,276	—
兵庫	1,353	—
島根	266	—
福岡	4,185	—

主要國別輸入額(昭和三年)

國名	數量	價額
英吉利	9,693 擔	491 千圓
獨逸	8,122	214
奧地利	14,325	321
チェッコ	1,576	79
瑞典	7,814	191
北米	2,020	70

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
千葉	11,610 貫	560,600 圓
神奈川	4,236,702	8,894,373
京都	38,000	30,400
大阪	4,951,257	7,789,172
兵庫	2,928,775	2,898,931

◎輸入品と國産品の優劣

現在に於ては製造技術上には殆んど遜色を認めないが、製品として輸入品と競争するには、原料鋼の品質價格等に於て尙ほ幾分の遜色あり、對抗困難である。

◎輸入防止の主要處置

原料に乏しき我國に於ては、本品に限らず各種鋼材の輸入を根絶せしむることは頗る困難であるが、當業者が設備改善、製法の向上等に努むれば幾分輸入を緩和し得るであらう

◎外國競争者

有力外國會社の多くは本邦に支社又は出張を設けて競争しつゝあり、其の主たるもの左の如し。

ボルデー製鋼所日本支社(東京)
トーマス・ファース會社支店(〃)
瑞典モンソン商會支店(〃)
アーサーバルフォア會社支店(〃)
ショーラーブレックマン支店(〃)

◎輸入の主要原因

國産品は比較的高價にして、且つ製品種類少き爲めである。

◎輸入品と國産品の優劣

品質に於ては殆んど遜色なし。

◎輸入防止の主要處置

需要者がなるべく國産品を使用することが肝要である。

二六二、屑鐵及屑鋼

屑鐵及屑鋼は鐵材及鋼材の斷片、及び鐵鋼製品製造の際生じたる屑にして、故鐵及故鋼は鐵材、鋼材及び鐵、鋼製品の一度使用して廢物となれるものである。輸入品の主たるものは鐵板及鋼板の斷片、鐵線の切屑故鏽、故籜、故線索、船舶解體材等にして、何れも地金として改造用に供せらる。

◎輸入税率
無税

◎主要生産者

本品は特に生産するものには非ざるを以て、生産者として擧ぐべきものはないが、屑鐵屑鋼及び故鐵故鋼等の多量に現はるゝは鐵道省、陸海軍工廠及び民間の製鐵會社、造船會社機械工場、各種鐵鋼製品の製造工場等である。

◎主要輸入者

三井物産株式會社 (東京)
三菱商事株式會社 (シ)
此の外神戸、大阪、横濱等の鐵鋼輸入者の手を経て輸入される額も僅

	國産額		輸入額	
	數量	價額	數量	價額
大正10	451,427噸	15,799,945圓	157,060擔	885,560圓
11	454,614	15,911,490	892,197	2,393,568
12	430,308	15,060,780	872,737	1,992,193
13	494,352	17,302,320	701,330	1,449,934
14	565,565	19,794,775	729,730	1,932,049
昭和1	456,219	17,156,717	1,335,922	2,920,084
2	448,546	16,759,298	3,803,377	8,392,747
3	496,577	16,989,226	6,120,119	13,386,807
4	541,295	17,326,544	8,274,264	18,345,120
5	532,165	16,991,147	8,148,678	17,310,478

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
東京	—	1,246,542圓
大阪	—	3,568,216
兵庫	—	2,124,544
愛知	—	568,296
福岡	—	1,588,592
神奈川	—	1,146,824

主要國別輸入額(昭和三年)

國名	數量	價額
支那	235,979擔	456千圓
英領印度	1,584,934	3,502
蘭領印度	341,387	688
露領亞細亞	262,960	539
英吉利	239,437	506
北米	2,844,365	6,322
濠太刺利	153,977	326

少ではないが、大部分は製鋼會社の直接輸入又は註文に應じて各貿易業者が臨時輸入するものにして、特に本品の輸入を専門に取扱ふものは殆んどない。

◎外國競争者

英國産品、米國産品及び獨逸産品等にして、本邦への輸入は巨額に達するを以て各國製品間に激烈なる競争が行はれる場合も少くない。

◎輸入の主要原因

鐵鑛に乏しく、又鉄鐵を輸入に仰がざるを得ざる我國に於ては、改造用地金として本品の需要多きに拘らず、國內産出少きためである。

◎輸入品と國産品の優劣

輸入品は運賃の關係上優良にして相當高價なるもののみである。故に國産品に比すれば概して品質優良である。

◎輸入防止の主要處置

製鋼原料として有用なるを以て、輸入を防止する必要なし。

二六三、アルミニウム

アルミニウムに氷晶石、鐵礬土等を抽出製鍊す。その質軽く柔軟にして可展性あり。且つ熔解して鑄物となすことを得、空氣及水に浸され難きを以て各種器物の製作原料として

額	價額
1,847,801圓	
3,132,458	
3,072,658	
4,158,493	
5,860,993	
8,817,279	
6,153,331	
9,360,074	
11,402,081	
9,864,845	

(昭和三年)

價額
937千圓
1,021
1,027
1,664
80
882
3,523

輸入に仰ぐ。

◎主要輸入者

三井物産株式會社 (東京)
三菱商事株式會社 (シ)

本品は特に生産するものには非ざるを以て、生産者として擧ぐべきものはないが、屑鐵屑鋼及び故鐵故鋼等の多量に現はるゝは鐵道省、陸海軍工廠及び民間の製鐵會社、造船會社機械工場、各種鐵鋼製品の製造工場等である。

◎主要輸入者

三井物産株式會社 (東京)
 三菱商事株式會社 (〃)
 此の外神戸、大阪、横濱等の鐵鋼輸入者の手を経て輸入される額も僅

	國 産 額	
	數量	價 額
大正10	451,427噸	15,799,945圓
11	454,614	15,911,490
12	430,308	15,060,780
13	494,352	17,302,320
14	565,565	19,794,775
昭和1	456,219	17,156,717
2	448,546	16,759,298
3	496,577	16,989,226
4	541,295	17,326,544
5	532,165	16,991,147

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣 名	數量	價 額
東 京	—	1,246,542圓
大 阪	—	3,568,216
兵 庫	—	2,124,544
愛 知	—	568,296
福 岡	—	1,588,592
神奈川	—	1,146,824

◎輸入品と國産品の優劣

輸入品は運賃の關係上優良にして相當高價なるもののみである。故に國産品に比すれば概して品質優良である。

◎輸入防止の主要處置

製鋼原料として有用なるを以て、輸入を防止する必要なし。

二六三、アルミニウム

アルミニウムに水晶石、鐵礬土等を抽出製鍊す。その質軽く柔軟にして可展性あり。且つ熔解して鑄物となすことを得、空氣及水に浸され難きを以て各種器物の製作原料として用途頗る廣汎である。本邦には生産少きため歐米各國よりアルミニウム塊及錠、條竿、板、線等の各種に巨り巨額輸入さる。塊及錠は管、線及粉等の製造原料又は合金材料、鑄物用等に供せられ、條竿及板は各種器物の製造に用ひられ、線は高壓電流導線等に供せらる。

◎輸入税率

塊、粒及錠は一〇〇斤三圓二〇錢
 條、竿及板は同一八圓五〇錢。
 線及管は價額に對する二〇%。
 屑及故アルミニウムは同五%。

◎主要生産者

日本輕銀製造株式會社 (東京)
 日本アルミニウム株式會社(大阪)
 此の外アルミニウム會社數多あるも大部分アルミニウム器の生産者にして、アルミニウムの生産は殆んどなく、國內消費の殆んど全部は海外

	國 産 額		輸 入 額	
	數量	價 額	數量	價 額
大正10	—	3,890,471圓	30,417擔	1,847,801圓
11	—	3,349,352	66,095	3,132,458
12	—	6,695,152	60,906	3,072,658
13	—	4,029,874	69,228	4,158,493
14	—	5,332,039	78,128	5,860,993
昭和1	—	7,793,402	125,775	8,817,279
2	—	8,534,051	99,659	6,153,331
3	—	7,362,833	155,613	9,360,074
4	—	7,543,050	205,022	11,402,081
5	—	7,737,654	195,127	9,864,845

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣 名	數量	價 額
東 京	—	1,674,327圓
愛 知	—	85,850
京 都	—	11,000
大 阪	—	5,506,666
兵 庫	—	78,780
廣 島	—	2,710
長 崎	—	2,500

主要國別輸入額(昭和三年)

國 名	數量	價 額
英 吉 利	15,716擔	937千圓
佛 蘭 西	16,355	1,021
獨 逸	17,166	1,027
瑞 西	26,510	1,664
瑞 典	1,270	80
諾 威	14,259	882
北 米	59,916	3,523

輸入に仰ぐ。

◎主要輸入者

三井物産株式會社 (東京)
 三菱商事株式會社 (〃)
 古河鑛業株式會社 (〃)
 日瑞貿易株式會社 (〃)
 大阪アルミニウム製作所(大阪)
 日本アルミニウム株式會社(〃)

◎外國競争者

アメリカアルミニウム會社(米國)
 ノーザンアルミニウム會社 (加奈陀)
 英國アルミニウム會社 (英國)
 ラルミニム・フランセ (佛國)
 アルミニウム工業會社 (瑞西)

◎輸入品と國産品の優劣

粘土を原料として製したる國産アルミニウムは、輸入品に比し品質上優劣なし。

◎輸入防止の主要處置

現在下附しつゝある研究獎勵金を増額し、其他凡ゆる方法を講じて斯業の確立を圖る事が急務である。

二六四、銅

銅は熱及電氣の良導體にして展性及延性に富み、貨幣の鑄造各種合金各種銅製品及銅材の原料として用途頗る廣汎である。

◎輸入税率

塊及錠は一〇〇斤に付七圓。條及竿は同一五圓。板は同一六圓二〇錢。金屬を鍍せざる線は一九圓三〇錢。卑金屬を鍍せる線は二〇圓四〇錢。筒及管は二一圓二〇錢、又は價額の三〇%。(其の他詳細規定略す)

◎主要生産者

- 古河鑛業株式會社 (東京)
日本産業株式會社 (シ)
三菱鑛業株式會社 (シ)
藤倉電線株式會社 (シ)
株式會社日立製作所 (シ)
東京製線株式會社 (シ)
藤田鑛業株式會社 (大阪)
住友伸銅銅管株式會社 (シ)
株式會社住友電線製造所 (シ)
住友合資會社 (シ)
津田電線合名會社 (京都)

Table with columns: 國産額 (Quantity, Price), 輸入額 (Quantity, Price). Rows include years from 大正10 to 昭和5.

主要府縣別生産額(昭和四年)

Table with columns: 縣名, 數量, 價額. Rows include 秋田, 茨城, 栃木, 石川, 香川, 愛媛, 大分, 宮崎.

主要國別輸入額(昭和三年)

Table with columns: 國名, 數量, 價額. Rows include 支那, 關東州, 海峽殖民地, 英吉利, 獨逸, 北米, 濠太刺利.

◎主要輸入者

- 日本電線製造株式會社 (尼ヶ崎)
東海電線株式會社 (三重)
三井物産株式會社 (東京)
古河鑛業株式會社 (シ)
三菱商事株式會社 (シ)
株式會社安宅商會 (大阪)

◎外國競争者

直接の競争者は米國の産銅業者、間接の競争者は北米、智利、アフリカ等の産銅業者。

◎輸入の主要原因

輸入の主たるものは塊及錠にして外國産銅就中米國銅は國産銅よりも常に廉價なるに基く。

◎輸入品と國産品の優劣

塊、錠及び半製品たる條、竿、線板等に於ても、品質上優劣は殆んどないが、國産品は高價である。

◎輸入防止の主要處置

生産費の低下に努力することが最も急務である。

二六五、鉛

鉛は硫化鉛鑛より製す。質柔軟にして熔融し易き特質あるを以て各方面に應用さる。輸入品は塊、錠、板線、管、或は茶鉛等の各種であるが塊及錠はその大部分を占め、錠管、

Table with columns: 額, 價額. Rows include values from 961,449圓 to 11,185,857.

Table with columns: 價額. Rows include values from 584千圓 to 843.

- 古河工業株式會社 (東京)
株式會社岩井商店 (大阪)
ブランナーモンド會社 (神戸)
エ・カメロン商會 (シ)

二六五、鉛

◎主要生産者

- 古河鑛業株式會社 (東京)
- 日本産業株式會社 (〃)
- 三菱鑛業株式會社 (〃)
- 藤倉電線株式會社 (〃)
- 株式會社日立製作所 (〃)
- 東京製線株式會社 (〃)
- 藤田鑛業株式會社 (大阪)
- 住友伸銅銅管株式會社 (〃)
- 株式會社住友電線製造所 (〃)
- 住友合資會社 (〃)
- 津田電線合名會社 (京都)

國 産 額

	數量	價 額
大正10	91,595,817斤	33,046,934圓
11	90,210,457	37,427,163
12	98,909,522	43,628,979
13	105,093,487	48,541,691
14	110,811,665	53,467,966
昭和 1	112,275,749	50,766,711
2	110,852,081	47,888,858
3	113,721,441	55,271,862
4	75,469,049匁	69,399,811
5	77,911,600	69,987,001

主要府縣別生産額(昭和四年)

縣 名	數量	價 額
秋 田	16,877,177匁	15,431,659圓
茨 城	7,755,338	7,235,730
栃 木	13,521,151	12,061,537
石 川	1,644,600	1,466,983
香 川	5,939,072	5,541,154
愛 媛	15,418,712	14,385,658
大 分	10,940,222	10,207,227
宮 崎	1,208,607	1,078,077

◎輸入の主要原因

輸入の主たるものは塊及錠にして外國産銅就中米國銅は國産銅よりも常に廉價なるに基く。

◎輸入品と國産品の優劣

塊、錠及び半製品たる條、竿、線板等に於ても、品質上優劣は殆んどないが、國産品は高價である。

◎輸入防止の主要處置

生産費の低下に努力することが最も急務である。

鉛は硫化鉛鑛より製す。質柔軟にして熔融し易き特質あるを以て各方面に應用さる。輸入品は塊、錠、板線、管、或は茶鉛等の各種であるが塊及錠はその大部分を占め、錠管、鉛板、散彈或は各種鉛化物の原料に供せらる。

◎輸入税率

塊及錠は一〇〇斤に付四〇錢。管は同二圓四五錢。板、線、紐及帯は價額の二〇%。茶鉛、屑及故其他は無税。

◎主要生産者

- 三井鑛山株式會社 (東京)
- 三菱鑛業株式會社 (〃)
- 高田鑛業株式會社 (〃)
- 日本鉛管製造所 (〃)
- 東京鉛管株式會社 (〃)
- 古河電氣工業株式會社 (〃)
- 泉鉛管製造所 (大阪)
- 東海鉛管株式會社 (横濱)

◎主要輸入者

- 三井物産株式會社 (東京)
- 三菱商事株式會社 (〃)

輸 入 額

	數量	價 額		數量	價 額
大正10	5,229,938斤	652,993圓	644,047擔	961,449圓
11	5,398,657	702,970	743,234	9,573,592
12	4,499,536	691,713	746,238	10,766,268
13	4,902,390	969,862	740,930	14,760,177
14	5,561,143	1,370,006	682,088	16,600,835
昭和 1	6,016,558	1,238,340	918,814	18,920,590
2	5,656,579	904,729	933,104	15,344,041
3	6,088,115	847,552	1,043,050	14,837,015
4	3,373,944匁	858,231	1,016,470	15,166,197
5	3,500,189	867,445	936,924	11,185,857

主要國別輸入額(昭和三年)

國 名	數量	價 額
英領 印度	43,165擔	584千圓
佛領印度支那	5,080	68
英 吉 利	3,665	64
獨 逸	1,319	23
北 米	436,705	6,106
加 奈 陀	487,967	7,105
濠 太 刺 利	61,277	843

主要府縣別生産額(昭和四年)

縣 名	數量	價 額
宮 城	602,682匁	147,657圓
岐 阜	2,488,017	640,416
香 川	109,245	27,967
山 口	31,000	8,091
福 岡	143,000	34,100

◎外國競争者

- ブローケンヒル會社 (濠洲)
- コンソリデーテツト・マイニン
- グ・エンド・スマルテング(加奈陀)
- バーマ・コーポレーション(印度)
- アメリカン・スマルテング
- エンド・レフアイニング(米國)

◎輸入の主要原因

鉛の國內消費量は五萬噸以上に達するに拘らず、國産額は僅々五千噸内外にして需要の一割に過ぎざる状態である。故に大部分は價格及品質の如何に拘らず輸入に仰がざるを得ざる状態である。

◎輸入品と國産品の優劣

品質に於ては輸入品に遜色なし。

◎輸入防止の主要處置

内地の鑛石増産に對して適當の保護獎勵をなす事が第一義である。

二六六、錫

錫は質硬く展延性に富めるを以て線及び薄板に製せられ、各種器物の材料或は合金材料等に用ひられる外錫箔として煙草、菓子、食料品等の包装に使用され、用途頗る廣汎である。本邦に於ては生産頗る僅少にして、國內消費の九割内外は海外より輸入さる。輸入の大部分の塊及錠にして、板、線、管或は箔等に徴々たるものである。

◎輸入税率

塊及錠は一〇〇斤に付三圓七五錢板、線及管は價額に對する二〇%箔は一〇〇斤に付二圓五〇錢。其他は無税。

◎主要生産者

- 三菱鑛業株式会社 (東京)
泉鉛管製造所 (大阪)
東海鉛管株式会社 (横濱)
東京鉛管株式会社 (箔) (東京)
天野 商店 (京都)
青山 商店 (シ) (シ)

◎主要輸入者

- 三井物産株式会社 (東京)

Table with columns: 國産額 (Quantity, Price), 輸入額 (Quantity, Price). Rows include years from 大正10 to 昭和5.

主要府縣別生産額(昭和四年)

Table with columns: 縣名, 數量, 價額. Rows include 兵庫, 大分, 鹿兒島.

主要國別輸入額(昭和三年)

Table with columns: 國名, 數量, 價額. Rows include 支那, 香港, 英領印度, 海峽殖民地, 蘭領印度, 英吉利, 北米, 濠太刺利.

◎外國競争者

- 三菱商事株式会社 (東京)
東京鉛管株式会社 (シ)
東海鉛管株式会社 (横濱)
泉鉛管製造所 (大阪)

◎輸入の主要原因

國産額は國內消費の一割にも充たざる状態なるを以て塊及錠等の輸入は止むを得ない。その他の半製品及製品は價格等の關係上米國方面より輸入されつゝあつたが、現今に於ては國産發達のため輸入漸減し、塊及錠の百分の一にも足らざる少額である。

◎輸入品と國産品の優劣

品質に於ては殆んど優劣はないが國産品は概して高價である。

◎輸入防止の主要處置

國産不足のため輸入を止むを得ずとすれば、原料の輸入税を免除し、製品の入税を引上げる事を要す。

二六七、亞鉛

鉛

額 價額

- 5,608,873圓
10,754,063
11,005,886
12,835,569
12,129,304
15,617,822
10,878,977
12,537,787
10,027,327
6,222,533

(昭和三年)

價額

- 120千圓
97
293
37
433
373
3,020
3,724
3,653

◎外國競争者

- 三菱商事株式会社 (東京)
大阪電氣分銅株式会社 (大阪)

デンク・プロデュース・アツシ

板 鋸は一〇〇斤に付三二圓五〇銭。
其他は無税。

◎主要生産者

- 三菱鑛業株式会社 (東京)
- 泉鉛管製造所 (大阪)
- 東海鉛管株式会社 (横濱)
- 東京鉛管株式会社(箔) (東京)
- 天野 商店 (京都)
- 青山 商店 (〃)

◎主要輸入者

- 三井物産株式会社 (東京)

國 産 額

	數量	價 額
大正10	490,160斤	415,187圓
11	477,672	410,059
12	508,528	558,637
13	577,652	864,900
14	652,482	1,120,294
昭和 1	908,733	1,664,894
2	1,133,656	1,778,047
3	1,241,000	1,523,037
4	802,265疋	1,789,629
5	813,543	2,012,586

主要府縣別生産額(昭和四年)

縣 名	數量	價 額
兵 庫	675,546疋	1,290,360圓
大 分	104,669	237,505
鹿兒島	21,883	50,003

◎輸入品と國産品の優劣

品質に於ては殆んど優劣はないが國産品は概して高價である。

◎輸入防止の主要處置

國産不足のため輸入を止むを得ずとすれば、原料の輸入税を免除し、製品の入税を引上げる事を要す。

製鉛は價格等の關係上米國より輸入されつゝあつたが、現今に於ては國産發達のため輸入漸減し、塊及鋳の百分の一にも足らざる少額である。

二六七、亞

鉛

亞鉛は硫化亞鉛鑛、炭酸亞鉛鑛、硫酸亞鉛鑛等より電解法或は蒸溜法等を用ひて製鍊さる。塊及錠は長方形又は板狀に鑄造され、合金材料、鍍金用、亞鉛原料等に用ひらる。粘狀亞鉛は化學分析用に供せられ、板は船舶、建築、家具等の材料、或は物品の包装等に供せられ、線及管は電鍍鐵線、電鍍鐵管等と同じく各方面に用ひらる。輸入の大部分は塊及錠である。

◎輸入税率

塊及錠は一〇〇斤に付三圓。板、線及管は價額に對する二〇% 層及故は一〇〇斤に付四〇銭。(其他詳細規定略す)

◎主要生産者

- 三井鑛山株式会社 (東京)
- 高田鑛業株式会社 (〃)
- 日本金屬株式会社 (大阪)
- 住友伸銅鋼管株式会社 (〃)
- 大阪電氣分銅株式会社 (〃)

◎主要輸入者

- 三井物産株式会社 (東京)

輸 入 額

	數量	價 額		數量	價 額
大正10	17,289,352斤	3,631,935圓	359,517擔	5,608,873圓
11	20,876,578	4,069,219	696,700	10,754,063
12	22,967,307	5,052,910	575,089	11,005,886
13	23,447,975	5,554,640	600,151	12,835,569
14	28,249,958	7,990,468	464,481	12,129,304
昭和 1	28,287,035	7,162,757	673,277	15,617,822
2	29,162,611	6,157,601	527,311	10,878,977
3	31,861,583	6,339,605	685,865	12,537,787
4	7,197,663疋	4,158,586	554,798	10,027,327
5	7,325,018	4,332,554	455,958	6,222,533

主要府縣別生産額(昭和四年)

縣 名	數量	價 額
宮 城	1,282,879疋	442,593圓
福 島	1,094,000	317,260
山 口	2,366,000	791,143
福 岡	17,356,250	5,646,567

主要國別輸入額(昭和三年)

國 名	數量	價 額
支 那	11,748擔	120千圓
海峽殖民地	8,339	97
英 吉 利	15,004	293
佛 蘭 西	1,782	37
獨 逸	20,342	433
白 耳 義	17,849	373
北 米	159,677	3,020
加 奈 陀	201,809	3,724
濠 太 刺 利	199,958	3,653

◎外國競争者

- 三菱商事株式会社 (東京)
- 大阪電氣分銅株式会社 (大阪)
- デンク・プロデュース・アソシエーション・パテイ (濠洲)
- コンソリデーテッド・マイニング・エンド・スミルチング會社(米國)
- ユナイテッド・メタル・セーリング・カンパニー (〃)

◎輸入の主要原因

主として國産品の不足に因る。

◎輸入品と國産品の優劣

品質に於ては殆んど同格である。

◎輸入防止の主要處置

工業上及軍事上の必要品なるを以て、國産の増加を圖り、自給自足の策を講ずることが緊急である。

◎生産者の希望

原鑛自給策の一方法として原鑛輸送の鐵道運賃を引上げ、又輸入品の中亞製板その他の税率の引上げを即時決行されん事を望む。

二六八、水

銀

水銀は普通硫黄と化合し昇砂として産出せるものを蒸溜法に依つて製したるものであるが、自然水銀として産出するものもある。流動性金屬にして銀白色を呈し、鐵、コバルト及ニッケルを除く外の凡ゆる金屬と融合し、アマルガムを作る特性を有す。主たる用途は金及銀の製錬用、醫學用、化學用等にして又寒暖計、壓力計その他の計器製作に普く用ひらる。

輸入品の包装は鋼鐵製圓筒型の罫入にして、英國品は七五封度、米國品は七六封度半、獨逸産は七六封度入が普通である。

◎輸入税率

無税

◎主要生産者

内地に於て生産されるといふ程度に過ぎずして、産額の如きは殆んど論ずるに足らず、従來の産地たる三重、奈良、徳島、佐賀等は共に振はず、有望視されたる北海道も未だ産額の見るべきものなく、特掲すべき生産者は詳でない。

	國産額		輸入額	
	數量	價額	數量	價額
大正10	9,916斤	12,692圓	301,680斤	864,550圓
11	2,009	2,571	315,531	610,420
12	7	8	600,832	1,007,551
13	—	—	422,139	831,177
14	—	—	491,389	1,238,311
昭和1	—	—	545,801	1,458,103
2	—	—	449,293	1,378,676
3	461疋	3,176	512,584	1,868,861
4	1,445	8,970	538,700	1,942,184
5	1,568	9,105	411,900	1,346,395

主要府縣別生産額(昭和四年)

縣名	數量	價額
大阪	1,445疋	8,970圓

主要國別輸入額(昭和三年)

國名	數量	價額
支那	699擔	234千圓
香港	28	11
英吉利	297	110
佛蘭西	1,282	467
獨逸	18	7
伊太利	2,690	994
西班牙	86	34

◎主要輸入者

- 株式会社岩井商店 (大阪)
- 株式会社武田長兵衛商店(〳)
- 株式會社安宅商會 (〳)
- 鹽野儀商店 (〳)
- 田邊五兵衛商店 (〳)

◎外國競争者

伊太利産品、佛蘭西産品、及び支那産品等。

◎輸入の主要原因

計量器用、醫學用その他に需要は逐年増加しつつあるに拘らず、國産殆んど皆無に近き状態なるが爲めである。

◎輸入品と國産品の優劣

商品として優劣を比較する程度の國産はないが、品質に於ては殆んど輸入品と大差ない。

◎輸入防止の主要處置

人爲的に國産の激増を圖り得ざるを以て、輸入を防止する必要は毫も認められない。

二六九、蒼

鉛

價額
417,511圓
181,254
295,629
170,399
201,523
26,800
56,220
57,911
19,176
—

(昭和三年)

價額
10千圓
4
1
12
23
2

◎外國競争者

英國産品を主とし、獨逸産品及び米國産品等も輸入されるが、近時輸入漸減しつつあるを以て、有力競争

蒼鉛は自然蒼鉛として又は鑛石として産出す。鑛石の主たるものは輝蒼鉛鑛、砒蒼鉛鑛等である。自然蒼鉛及製錬等に依つて製したる蒼鉛は共に帯紅白色を呈し、質硬脆にして

入が普通である。

◎輸入税率

無税

◎主要生産者

内地に於て生産されるといふ程度に過ぎずして、産額の如きは殆んど論ずるに足らず、従來の産地たる三重、奈良、徳島、佐賀等は共に振はず、有望視されたる北海道も未だ産額の見るべきものなく、特掲すべき生産者は詳でない。

國 産 額		
年	數量	價 額
大正10	9,916斤	12,692圓
11	2,009	2,571
12	7	8
13	—	—
14	—	—
昭和1	—	—
2	—	—
3	461匁	3,176
4	1,445	8,970
5	1,568	9,105

主要府縣別生産額(昭和四年)

縣 名	數量	價 額
大 阪	1,445匁	8,970圓

◎輸入品と國産品の優劣

商品として優劣を比較する程度の國産はないが、品質に於ては殆んど輸入品と大差ない。

◎輸入防止の主要處置

人為的に國産の激増を圖り得ざるを以て、輸入を防止する必要は毫も認められない。

逐年増加しつつあるに拘らず、國産殆んど皆無に近き状態なるが爲めである。

二六九、蒼

鉛

蒼鉛は自然蒼鉛として又は鑛石として産出す。鑛石の主たるものは輝蒼鉛鑛、硅蒼鉛鑛等である。自然蒼鉛及製鍊等に依つて製したる蒼鉛は共に帯紅白色を呈し、質硬脆にして粉狀と爲し易く、空氣中に於て酸化せず、二六八度にて熔融す。本品は鐵、ビニター、フュージブルメタル等の熔融し易き合金の材料、ステレオタイプメタル、醫藥、蒼鉛白等の原料、或は陶磁器の着色料、熱電氣の極板等に用ひらる。

◎輸入税率

無税

◎主要生産者

- 三菱鑛業株式會社 (東京)
- 三井鑛業株式會社 ()
- 古河鑛業株式會社 ()
- 日本産業株式會社 ()
- 藤田鑛業株式會社 (大阪)

◎主要輸入者

- 株式會社武田長兵衛商店(大阪)
- 鹽野儀商店 ()
- 田邊五兵衛商店 ()

年	國 産 額		輸 入 額	
	數量	價 額	數量	價 額
大正10	1,233斤	4,786圓	91,441擔	417,511圓
11	4,350	19,534	32,319	181,254
12	12,351	67,916	46,136	295,629
13	49,342	303,027	25,869	170,399
14	44,342	273,429	41,882	201,523
昭和1	42,823	253,585	5,034	26,800
2	37,626	204,908	11,905	56,220
3	53,568	287,604	4,956	57,911
4	49,923匁	357,126	1,643	19,176
5	—	—	—	—

主要國別輸入額(昭和三年)

國 名	數量	價 額
支 那	1,660擔	10千圓
關 東 州	262	4
英 領 印 度	73	1
英 吉 利	705	12
獨 逸	1,319	23
北 米	129	2

主要府縣別生産額(昭和四年)

縣 名	數量	價 額
栃 木	40,748匁	291,430圓
岐 阜	8,291	59,297
大 阪	884	6,399

◎外國競争者

英國産品を主とし、獨逸産品及び米國産品等も輸入されるが、近時輸入漸減しつつあるを以て、有力競争者と見做すべきものなし。

◎輸入の主要原因

本品の國産額は逐年増加しつつあり、現在に於ては略國産需要を充し得るを以て輸入減少しつつある。従つて内外に於ける價格の變動に依り外國品が割安となれる場合、或は爲替關係上の比較的有利なる場合等特殊の事情に依る輸入に過ぎない。

◎輸入品と國産品の優劣

國産品は品質上に於て輸入品に劣らず、價格も平素に於ては輸入品と略同様である。

◎輸入防止の主要處置

本品の輸入は多く特殊の場合に僅少額輸入されるに過ぎず、且つ輸入品は各種合金其の他の原料として利用されるものなるが故に、特に輸入を防止する必要を認めない。

二七〇、アンチモニー

アンチモニーは天然に金屬状態をなして産出するものもあるが、多くは輝安鑛より製錬す。帯青色の美麗なる光輝を有し、質硬脆にして細粉となすこと容易である。常温に於ては酸化せず、赤熱すれば酸化アンチモニーとなる。

輸入品は精製せるアンチモニー及び脱硫を終らざる粗製品即ち硫化アンチモニーにして、塊、及錠として多く輸入さる。塊及錠は半圓形の餅状又は厚板状を爲し、諸他の金屬と混じてタイプメタル、ブリタニアメタル等の合金材料に供せられ、或は食卓用器具、茶器、灰皿その他各種置物の鑄造原料に供せらる。

◎輸入税率

塊、錠及屑等共に無税。

◎主要生産者

鈴木仁十郎 (大阪)
株式會社市ノ川鑛業所 (愛媛)

◎主要輸入者

三井物産株式會社 (東京)
三菱商事株式會社 (〃)

年次	國産額		輸入額	
	數量	價額	數量	價額
大正10	—斤	—圓	23,061擔	288,223圓
11	—	—	20,483	216,213
12	—	—	9,626	117,267
13	69,600	973	16,152	320,179
14	—	—	18,110	658,400
昭和1	—	—	27,384	953,061
2	—	—	31,035	829,221
3	—	—	32,173	718,296
4	89疋	15,067	31,423	609,264
5	92	15,978	27,766	379,723

主要府縣別生産額(昭和四年)

縣名	數量	價額
兵庫	4疋	298圓
愛媛	73	14,649
熊本	12	120

主要國別輸入額(昭和三年)

國名	數量	價額
支那	31,828擔	710千圓
海峽殖民地	339	8
關東州	5	0

株式會社安宅商會 (大阪)
株式會社岩井商店 (〃)
共同貿易株式會社 (〃)
小林富次郎商店 (〃)
加藤 商會 (〃)

◎外國競争者

主として支那長州方面の産品。

◎輸入の主要原因

本邦に於けるアンチモニーの生産は愛媛縣市ノ川鑛山に於て一ヶ年一萬數千圓の僅少な生産あるに過ぎず而も消費額は數十萬圓に達するを以て、その大部分は輸入に仰がざるを得ざる状態である。

◎輸入品と國産品の優劣

輸入の大部分を占むる支那長州産品に比すれば國産品は品質遙かに優良なるため生産不足なるに拘らず支那方面へ輸出さる。但し支那品其他よりも遙かに高價である。

◎輸入防止の主要處置

國産僅少なを以て其必要なし。

二七一、眞鍮及青銅

眞鍮及青銅は共に合金にして、眞鍮は銅と亜鉛青銅は、銅と錫及び少量の鉛又は亜鉛等との合金である。兩者共に塊及錠は各種材料の製造用及び鑄物用に供せられ、條及竿は建

價額
2,463,723圓
6,950,759
1,344,954
1,094,532
1,530,702
2,433,331
1,856,501
2,357,377
1,899,226
765,554

價額(昭和三年)
987千圓
52
43
55
26
1,043

◎主要輸入者

三谷本店 (東京)
古河電氣工業株式會社 (〃)
三井物産株式會社 (東京)

食卓用器具、茶器、灰皿その他各種
置物の鑄造原料に供せらる。

塊、錠及屑等共に無税。

◎主要生産者

鈴木仁十郎 (大阪)
株式会社市ノ川鑛業所 (愛媛)

◎主要輸入者

三井物産株式会社 (東京)
三菱商事株式会社 (〃)

國産額
數量 價額

大正10	—	—	—	—
11	—	—	—	—
12	—	—	—	—
13	69,600	—	973	—
14	—	—	—	—
昭和1	—	—	—	—
2	—	—	—	—
3	—	—	—	—
4	89	—	15,067	—
5	92	—	15,978	—

主要府縣別生産額(昭和四年)

縣名	數量	價額
兵庫	4	298
愛媛	73	14,649
熊本	12	120

◎輸入品と國産品の優劣

輸入の大部分を占むる支那長州産品に比すれば國産品は品質遙かに優良なるため生産不足なるに拘らず支那方面へ輸出さる。但し支那品其他よりも遙かに高價である。

◎輸入防止の主要處置

國産僅少なるを以て其必要なし。

二七一、真鍮及青銅

真鍮及青銅は共に合金にして、真鍮は銅と亜鉛青銅は、銅と錫及び少量の鉛又は亜鉛等との合金である。兩者共に塊及錠は各種材料の製造用及び鑄物用に供せられ、條及竿は建築材料、造船用、家具類製作用に供せられ、板は建築、造船、兵器その他製作に用ひられ、線は建築用、細工用、電導線等に、管及筒は蒸氣機關の冷汽管、汽鑛用、建築用等に夫々使用さる。

◎輸入税率

塊及錠は一〇〇斤に付七圓。
板は同一二圓八〇錢。
線は同一五圓。
筒及管は同一七圓五〇錢(卑金屬鍍金せるものは一九圓五〇錢)。
條及竿は同一二圓六〇錢。
(其他詳細規定略す)

◎主要生産者

住友伸銅鋼管株式会社 (大阪)
大阪電氣分銅株式会社 (〃)
尼ヶ崎伸銅株式会社 (尼ヶ崎)
株式会社神戸製鋼所 (神戸)
横濱工業株式会社 (横濱)

輸入額
數量 價額

大正10	—	—	97,032	2,463,723
11	—	—	276,101	6,950,759
12	5,240,283	12,453,755	49,982	1,344,954
13	5,790,910	20,019,327	34,442	1,094,532
14	6,667,330	23,163,541	55,050	1,530,702
昭和1	7,640,604	24,980,316	96,193	2,433,331
2	7,805,281	23,984,172	74,225	1,856,501
3	7,476,514	24,832,006	90,109	2,357,377
4	7,674,003	24,998,754	66,831	1,899,226
5	7,898,644	25,001,234	27,713	765,554

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
栃木	141,136	652,538
東京	511,562	1,677,169
京都	899,285	2,867,716
大阪	4,110,275	13,472,379
兵庫	447,468	1,224,158
福岡	955,734	3,853,488

主要國別輸入額(昭和三年)

國名	數量	價額
支那	39,272	987
關東州	2,354	52
香港	1,614	43
海峽殖民地	2,675	55
英吉利	1,005	26
北米	37,776	1,043

◎主要輸入者

三谷本店 (東京)
古河電氣工業株式会社 (〃)
三井物産株式会社 (東京)
三菱商事株式会社 (〃)
淺野物産株式会社 (〃)
古河鑛業株式会社 (〃)

◎外國競争者

支那産品及び米國産品。

◎輸入の主要原因

真鍮及青銅は共に國産豊富にして殆んど輸入の必要は認められないが價格の關係上外國より屑及故物を購入して再製改造する方が、國産新地金を使用するよりも有利なる場合が少くない。故に輸入品の大部分は屑及故物である。

◎輸入品と國産品の優劣

各種類に依り異なるも大差なし。

◎輸入防止の主要處置

關稅政策に依り輸入の漸減を圖ることが最も適切である。

二七二、鐵釘

鐵釘は鍛鋼又は軟鋼を以て製作され、その種類多きも普通機械製切釘線釘、手製釘、鑄造釘の四種に分類さる。機械製切釘は断面方形にして長さ一吋乃至四吋、線釘は断面圓形にして大小長短種々あり、手製釘は手工にて鍛製せるものにして形状大小一定せず、鑄造釘は園藝用又は靴用等の平頭釘類である。尙ほ此の外特殊なるものとしてはスパイク馬蹄釘、タックス、スプリグ、ブラツド等の各種あり又鍍金せるもの等がある。

◎輸入税率

鍍金せざるものは百斤二圓四〇錢
其他は同三圓八〇錢。

◎主要生産者

和氣製釘所 (大阪)
尼ヶ崎製釘所 (尼ヶ崎)
安田製釘所 (福岡)

◎主要輸入者

三井物産株式会社 (東京)
三菱商事株式会社 (〃)
株式會社岸本商店 (大阪)

二七三、鐵螺旋釘

螺旋釘も亦釘の一種にして鐵又は軟鋼を以て製し、木捻、押捻、コリチスクリュー、ドライバースクリュー等の各種がある。
木捻は線釘にネヂを施したるもの

入 額	價 額
1,021,324圓	
839,629	
1,164,008	
1,565,871	
5,648,419	
927,476	
1,032,206	
1,055,255	
938,051	
705,601	

額(昭和三年)

價 額
20千圓
59
77
897

輸 入 額	
數 量	價 額
286,298擔	3,949,664圓
544,059	5,786,701
375,955	4,569,813
620,003	7,352,039
9,849	243,530
15,041	382,528
8,988	185,719
15,885	293,611
17,910	312,547
8,986	212,737

國 産 額	
數 量	價 額
—	3,776,890圓
—	4,644,137
—	5,274,591
—	6,452,549
—	6,191,640
—	8,021,484
—	7,868,453
—	9,154,517
—	8,964,253
—	8,765,412

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣 名	數 量	價 額
東 京	—	611,193圓
富 山	—	85,652
愛 知	—	148,093
大 阪	—	1,396,940
兵 庫	—	2,164,320
奈 良	—	103,335
廣 島	—	218,690
福 岡	—	4,351,000

主要國別輸入額(昭和三年)

國 名	數 量	價 額
英 吉 利	2,412擔	26千圓
獨 逸	473	11
白 耳 義	753	7
和 蘭	104	1
瑞 典	4,432	121
諾 威	113	2
北 米	5,241	126

◎外國競争者

米國産品、獨逸産品、ベルギー産品及英國産品等が主たる競争者であつたが、獨逸、ベルギー及英國産品は近年振はず、是等に代つて瑞典産品が勢力を有するに至つた。

◎輸入の主要原因

各種釘類の本邦に於ける生産は、略内地の需要を充し得る状態に在るが、本品は元來製作頗る容易にして特殊の技術を要せず、且つ簡單なる設備を以て足るため内地生産者の大部分は小規模である。故に大工場組織に於て大量生産されたる外國品に比して價格概ね高價である、是れ本品輸入の主因と見做されてゐる。

◎輸入品と國産品の優劣

米國製は鐵質硬堅にして輸入品中の第一位であるが、國産品中の優良なるものは之に匹敵し得る。

◎輸入防止の主要處置

國産保護の目的を以て、輸入關稅を引上げれば、輸入減退すべし。

◎外國競争者

ネットホール會社 (英國)
アメリカン・ウツド・スクリ
ユー會社 (米國)

◎輸入税率

鍍金せざるものは百斤二圓四〇錢
其他は同三圓八〇錢。

◎主要生産者

和氣製釘所 (大阪)
尼ヶ崎製釘所 (尼ヶ崎)
安田製釘所 (福岡)

◎主要輸入者

三井物産株式会社 (東京)
三菱商事株式会社 (大阪)
株式会社岸本商店 (大阪)

國産額

年	數量	價額
大正10	—	3,776,890圓
11	—	4,644,137
12	—	5,274,591
13	—	6,452,549
14	—	6,191,640
昭和1	—	8,021,484
2	—	7,868,453
3	—	9,154,517
4	—	8,964,253
5	—	8,765,412

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
東京	—	611,193圓
富山	—	85,652
愛知	—	148,093
大阪	—	1,396,940
兵庫	—	2,164,320
奈良	—	103,335
廣島	—	218,690
福岡	—	4,351,000

◎輸入品と國産品の優劣

米國製は鐵質硬堅にして輸入品中の第一位であるが、國産品中の優良なるものは之に匹敵し得る。

◎輸入防止の主要處置

國産保護の目的を以て、輸入關稅を引上げれば、輸入減退すべし。

二七三、鐵螺旋釘

螺旋釘も亦釘の一種にして鐵又は軟鋼を以て製し、木捻、押捻、コーチスクリュー、ドライバースクリュー等の各種がある。

木捻は線釘にネヂを施したるものにして零番より、三〇番までの各種あり、主として木工に使用さる。

押捻は普通直徑八分ノ一吋乃至五吋、長さ四分ノ三吋乃至一吋四分ノ三にして、主として金屬板等の接合等に使用さる。

◎輸入税率

一〇〇斤に付——五圓八五錢

◎主要生産者

山本螺旋製造合名會社 (東京)
東京螺旋株式會社 (大阪)
大阪螺旋株式會社 (大阪)
日本螺旋工業株式會社 (大阪)
山科製工所 (京都)

◎主要輸入者

三井物産株式会社 (東京)
株式会社岸本商店 (大阪)
株式会社安宅商會 (大阪)
株式会社岩井商店 (大阪)

國産額 輸入額

年	數量	價額	數量	價額
大正10	—	1,549,278圓	1,963,475斤	1,021,324圓
11	—	817,019	1,845,424	839,629
12	—	546,138	2,836,324	1,164,008
13	—	234,434	3,163,553	1,565,871
14	—	202,123	2,349,892	5,648,419
昭和1	—	3,905,000	2,431,303	927,476
2	—	806,927	2,994,729	1,032,206
3	—	145,792	3,289,490	1,055,255
4	—	164,554	2,735,100	938,051
5	—	168,945	2,239,600	705,601

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
北海道	—	23,762圓
東京	—	26,858
愛知	—	5,120
大阪	—	83,199
廣島	—	2,853
山口	—	4,000

主要國別輸入額(昭和三年)

國名	數量	價額
英吉利	726百斤	20千圓
獨逸	2,025	59
瑞典	2,511	77
北米	27,732	897

◎外國競争者

ネットホール會社 (英國)
アメリカン・ウッド・スクリ
ユー會社 (米國)
アローブランド (獨逸)

◎輸入の主要原因

本邦に於ては本品の原料に適當なるもの少く、且つ高價なるため、之を原料とせる製品は輸入品よりも幾分高價なるを免れず、従つて輸入品に壓迫されて國産振はず供給不足を告ぐるが爲めである。

◎輸入品と國産品の優劣

國産品は品質に於て輸入品に及ばず、加ふるに輸入品就中米國及獨逸産品に比して高價である。

◎輸入防止の主要處置

政府は優良なる機械を購入し民間製造家に貸下げ、以て本品の生産増加及び品質の改善に努めつゝあるが現行關稅率に於ては輸入品に對抗すること困難なるを以て、更に適當の稅率に引上げる事が急務である。

二七四、鐵牝牡螺旋釘 (ボルト・ナット及びワッシャー類)

鐵製牝牡螺旋釘は牝螺旋及び牡螺旋より成り、機械類其他を接合するに用ひらる。必要に応じて取放し得る特徴あるため機械類、鐵道、橋梁又は水管、汽管等の製造或は据付け等に廣く使用され、その用途に應じて種類多く大小長短種々ある。ワッシャーは特に接合すべきもの、表面が平滑ならざる場合。又は表面を傷けずして接合する場合等に用ひられ、ロツクナットワッシャーは主として軌條及機關車等に使用さる。

◎輸入税率

一〇〇斤に付——三圓七〇錢。

◎主要生産者

- 八幡製鐵所 (福岡)
- 帝國製鐵株式會社 (大阪)
- 東京螺子株式會社 (東京)

◎主要輸入者

- 三井物産株式會社 (東京)
 - 三菱商事株式會社 (シ)
 - 株式會社岸本商店 (大阪)
- 此の他一般機械類輸入商及金物輸入商に依つて隨時輸入さる。

國産	數量	價額	輸入額	
			數量	價額
大正10	—	7,097,641圓	2,115,207斤	522,641圓
11	—	5,908,755	2,553,264	487,529
12	—	4,865,877	1,973,525	395,175
13	—	4,154,355	1,439,180	343,076
14	—	4,359,836	665,073	180,621
昭和1	—	5,043,198	14,113擔	316,779
2	—	4,397,090	6,584	170,345
3	—	5,154,164	8,214	206,239
4	—	5,027,643	9,095	314,819
5	—	5,213,485	7,277	251,545

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
東京	—	1,233,699圓
愛知	—	119,187
大阪	—	2,465,788
兵庫	—	295,119
廣島	—	324,098
福岡	—	556,436

主要國別輸入額(昭和三年)

國名	數量	價額
英吉利	444擔	7千圓
獨逸	871	18
瑞西	164	3
瑞典	339	8
北米	6,445	170

◎外國競争者

米國産品最も多く、獨逸産品及び瑞典産品等之に次ぐも、常時の競争者と思ふべきものなし。

◎輸入の主要原因

本品の如きは品質の如何よりも價格の高低に依つて需要増減する場合多く、國內に於ける生産能力は國內需要を充し得るに拘らず、概ね輸入品よりも高價なるため需要者は輸入品を歓迎する傾向ありて、近年逐年輸入額増加を示しつゝある。

◎輸入品と國産品の優劣

國産品は品質に於ては輸入品に劣らないが、原料及生産設備等の關係上概して輸入品よりも高價である。

◎輸入防止の主要處置

現行關稅率に於ては優に外國品を輸入し得る可能性あるを以て、稅率を引上げる事も一方法であるが、更に當業者が設備を改善し優良品を安價に製出することに努力するは最も急務と見られてゐる。

二七五、鐵リベット (鉸釘)

リベットは軟鋼又は鋼を以て製したる一種の釘にして鉸又は鉸釘と稱せられ、圓頭、錐頭、球頭、埋頭等の各種がある。長短大小種々あるも普通長さ一吋乃至六吋、直徑八分

額	價額
129,666	
137,903	
75,626	
129,765	
40,642	
182,564	
192,926	
231,288	
258,369	
140,500	

(昭和三年)

價額
38千圓
1
43
3
142

◎輸入の主要原因

本品は寸法、種類等頗る多きため一般商品の如くストツク販賣は困難である。加ふるに現今に於ては各種

◎輸入税率
一〇〇斤に付——三圓七〇錢。

◎主要生産者

- 八幡製鐵所 (福岡)
- 帝國製鐵株式會社 (大阪)
- 東京螺子株式會社 (東京)

◎主要輸入者

- 三井物産株式會社 (東京)
 - 三菱商事株式會社 (シ)
 - 株式會社岸本商店 (大阪)
- 此の他一般機械類輸入商及金物輸入商に依つて隨時輸入さる。

	國 産 額	
	數量	價 額
大正10	—	7,097,641圓
11	—	5,908,755
12	—	4,865,877
13	—	4,154,355
14	—	4,359,836
昭和1	—	5,043,198
2	—	4,397,090
3	—	5,154,164
4	—	5,027,643
5	—	5,213,485

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣 名	數量	價 額
東 京	—	1,233,699圓
愛 知	—	119,187
大 阪	—	2,465,788
兵 庫	—	295,119
廣 島	—	324,098
福 岡	—	556,436

◎輸入品と國産品の優劣
國産品は品質に於ては輸入品に劣らないが、原料及生産設備等の關係上概して輸入品よりも高價である。

◎輸入防止の主要處置

現行關稅率に於ては優に外國品を輸入し得る可能性あるを以て、稅率を引上げる事も一方法であるが、更に當業者が設備を改善し優良品を安價に製出することに努力するは最も急務と見られてゐる。

二七五、鐵リベット (鉸釘)

リベットは軟鋼又は鋼を以て製したる一種の釘にして鉸又は鉸釘と稱せられ、圓頭、錐頭、球頭、埋頭等の各種がある。長短大小種々あるも普通長さ一吋乃至六吋、直徑八分ノ三吋乃至一吋の平尾釘にして、何れも尾端を打擴げて鉸着せしむ。用途は造船、汽罐、タンク、鐵管その他の製造、或は土木建築用等頗る廣汎である。

◎輸入税率

一〇〇斤に付——三圓六五錢。

◎主要生産者

- 日本鉸釘株式會社 (東京)
- 東京螺子株式會社 (シ)
- 帝國製鐵株式會社 (大阪)

◎主要輸入者

一般機械器具類の輸入業者が需要者の註文を受けて輸入する場合多く特定の輸入業者として特掲すべきものなし。

◎外國競争者

輸入額少く特掲すべき者なし。

	國 産 額		輸 入 額	
	數量	價 額	數量	價 額
大正10	—	1,669,637圓	605,703斤	129,666
11	—	530,028	635,654	137,903
12	—	2,198,546	454,749	75,626
13	—	2,567,309	678,550	129,765
14	—	2,207,054	151,788	40,642
昭和1	—	3,553,377	—	182,564
2	—	3,918,708	—	192,926
3	—	5,908,837	—	231,288
4	—	4,215,984	—	258,369
5	—	5,764,553	—	140,500

主要國別輸入額(昭和三年)

國 名	數量	價 額
英 吉 利	—	38千圓
佛 蘭 西	—	1
獨 逸	—	43
瑞 典	—	3
北 米	—	142

◎輸入品と國産品の優劣

輸入品は品質の優良を主たる目的とし、リベット用鋼材を原料とする爲め品質は殆んど理想的であるが、國産品は價格の低廉を主眼としリベット用鋼材を用ひず、中軟鋼を原料とする爲め輸入品に比して品質著しく粗悪である。但し製造技術に於ては必ずしも諸外國に劣らない。

◎輸入防止の主要處置

現在既に輸入額微々たるを以て、特に防止策の必要を認めない。

二七六、ベアリング・ボール (鋼球)

ベアリング・ボールは機械の承軸に於ける摩擦を減少し耐久力を大ならしめるために各種機械類に使用される鋼製の球にして、其の種類多く大ききには種々ある。材料は普通の鋼であるが本邦に於ては未だ優良品の生産なきため、国内需要の大部分は輸入さる。

◎輸入税率

一〇〇斤に付——二〇圓

◎主要生産者

日本精工株式会社 (東京)
天辻鋼球製作所 (大阪)
廣岡鋼球製作所 (〳)

◎主要輸入者

イリス商會 (東京)
チエルベルヂス繼續合資會社(〳)
梅澤商店 (〳)
布引商業株式會社 (神戸)

◎外國競争者

エス・ケー・エフ會社 (瑞典)
ホフマン會社 (英國)
オートマシナリ會社 (〳)

主要國別輸入額(昭和三年)

國名	數量	價額	昭和	輸入數量	輸入價額
英	499百斤	59千圓	2	236,767斤	317,787圓
獨逸	2,628	308	3	407,248	476,172
瑞北	794	94	4	390,892	415,135
米	151	13	5	226,758	230,349

◎輸入の主要原因

國産硬球は自轉車、人力車或は簡單なる農具等に使用される低級品のみにして、是等は寸法の範圍狭く規格低級なるが故に表面炭素焼入等の簡單なる製法に依つて製造されるため、必ずしも輸入に仰ぐ必要はないが、高級機械に使用されるものは寸法、硬度、研磨度等の規格嚴密なるのみならず、寸度別種類頗る多く、球の大小に依つてそれ〴〵製法を異にし、材料鋼の精選、優秀製作機械及び検査機の設備等莫大の經費を要し、且つ製作に特殊の技術を要す。故に本邦に於ては高級品の生産を試みるものが殆んどない。従つて供給不足を告げ高級品は専ら輸入を俟つ状態である。

◎輸入品と國産品の優劣

前陳の理由に依り國産品として輸入品に比すべきものは尠いが、政府の保護を受けて高級品の製作を研究

しつつある日本精工株式會社の製品を以て比較すれば、品質上輸入品に遜色がない。但し現在に於ては尙ほ研究の時代に屬し、之を商品として市場に出し輸入品と競争し得るには尙ほ相當の歳月を要すべく、輸入品と同程度の優良品を同程度の生産費を以て製出することは頗る困難視されてゐる。

◎輸入防止の主要處置

本品の輸入を防止するには先づ本工業の確立を期すべく、その方法としては使用材料の生産、製作技術の研究、經濟的に收支相償ふ設備の研究等をなす必要あり、又政府に於て本工業を保護する爲め奨励金の下附輸入税率の引上げ等をなすことが肝要である。

◎國産振興方法

政府は軍需工業奨励研究費の名目を以て、日本精工株式會社に研究補助金を交付し、本品製造の工業化を研究せしめてゐる。
(備考) 推定國産額平均、四百萬個(二十萬圓)

◎主要輸入者

淺野物産株式會社 (東京)
米國貿易株式會社 (〳)
範多商店 (大阪)

二七七、金屬屬網

金屬網には鐵線、銅線、眞鍮線或は青銅線等を原料として編みたるもの打抜き製したるもの、及びエキスパンデットメタラス等の各種があり更に電氣鍍金せるものと然らざる

價額

—
—
—
37,241圓
43,499

價額

37,153
4,475
1,561
310

日本精工株式会社 (東京)
天辻鋼球製作所 (大阪)
廣岡鋼球製作所 (〃)

◎主要輸入者

イリス商會 (東京)
チエルベルデス繼續合資會社(〃)
梅澤商店 (〃)
布引商業株式會社 (神戸)

◎外國競争者

エス・ケー・エフ會社 (瑞典)
ホフマン會社 (英國)
オートマシナリ會社 (〃)

二七七、金 屬 網

金屬網には鐵線、銅線、眞鍮線或は青銅線等を原料として編みたるもの打抜きて製したるもの、及びエキスパンデットメタラス等の各種があり更に電氣鍍金せるものと然らざるものがある。網目の形状にも亦格子形、菱形、龜甲形等の各種あり、目の大きさも大は直徑一吋以上より小は織物の如き精細のものに至るまで頗る多種である。用途は各種篩を始め網入硝子用、混泥土建築用或は牧場養鶏場其の他の墻垣用等頗る廣汎多様である。

◎輸入税率

織製鐵網は一〇〇斤一四圓八〇錢同銅、眞鍮及青銅網七四圓九〇錢織らざる鐵網は同五圓八五錢、其他は價額に對する二五%

◎主要生産者

東京金網株式會社 (東京)
長作金網工場 (〃)
川崎工場 (〃)
東洋金網株式會社 (〃)
大阪金網株式會社 (大阪)

主要國別輸入額(昭和三年)

國名	數量	價額
英 吉 利	499百斤	59千圓
獨 逸	2,628	308
瑞 典	794	94
北 米	151	13

年次	國 産 額		輸 入 額	
	數量	價 額	數量	價 額
大正10	—	—	—	—
11	—	—	—	—
12	—	1,580,758圓	—	—
13	—	3,431,566	51,661斤	37,241圓
14	—	2,786,038	48,866	43,499
昭和1	—	3,705,189	—	—
2	—	6,641,824	—	—
3	—	3,853,120	—	—
4	—	4,203,359	—	—
5	—	4,118,976	—	—

主要府縣別生産額

縣 名	數量	價 額
栃 木	—	53,692圓
東 京	—	2,456,894
靜 岡	—	17,390
愛 知	—	40,188
京 都	—	47,104
大 阪	—	1,220,682
廣 島	—	8,200

主要國別輸入額

國 名	數量	價 額
北 米	30,844斤	37,153
英 吉 利	14,291	4,475
獨 逸	1,856	1,561
關 東 州	1,875	310

(輸入殆んどなし)

のみならず、寸度別種類頗る多く、球の大小に依つてそれ〴〵製法を異にし、材料鋼の精選、優秀製作機械及び検査機の設備等莫大の経費を要し、且つ製作に特殊の技術を要す。故に本邦に於ては高級品の生産を試みるものが殆んどない。従つて供給不足を告げ高級品は専ら輸入を俟つ状態である。

◎輸入品と國産品の優劣

前陳の理由に依り國産品として輸入品に比すべきものは尠いが、政府の保護を受けて高級品の製作を研究

◎國産振興方法

政府は軍需工業獎勵研究費の名目を以て、日本精工株式會社に研究補助金を交付し、本品製造の工業化を研究せしめてゐる。
(備考) 推定國産額平均、四百萬圓(二十萬圓)

◎主要輸入者

淺野物産株式會社 (東京)
米國貿易株式會社 (〃)
範多商店 (大阪)

◎外國競争者

トラスコン・スチール會社(米國)
アメリカン・スチール・エンド・ワイヤ會社 (〃)
ウィックワイヤ・スペンサー・スチール會社 (〃)
フーカー・ウエストン會社(〃)

◎輸入の主要原因

輸入品は主として打抜き製品にして、特殊なるものが少量輸入されるに過ぎない。

◎輸入品と國産品の優劣

各種針金製のものには國産品優り、打抜き製のものには輸入品就中米國製品が優良である。

◎輸入防止の主要處置

輸入額僅少なるを以て特に防止策の必要なし。

二七九、レール

レールは軟鋼又は鋼を以て製し、其の形状に依り頭大レール、平底レール、段レール、溝レールの四種に區別さる。頭大レールは専ら汽車鐵道に使用され、平底レールは汽車及電車に、段レール及溝レールは主として市街電車に使用さる。此の特殊なるものとしては、急勾配用の齒レール、轉轍用の尖端レール及交叉レール等がある。普通レールは通常長さ三〇呎乃至六〇呎、一碼の重量八封度乃至一一〇封度にして、鐵道省に於ては六〇封度を標準とし、歐米に於ては八〇封度を普通とす。

◎輸入税率

一〇〇斤に付——九五錢。

◎主要生産者

- 八幡製鐵所 (福岡)
- 日本鋼管株式會社 (東京)
- 東海鋼業株式會社 (福岡)
- ◎主要輸入者
- 三井物産株式會社 (東京)
- 三菱商事株式會社 (東京)
- 日本レール株式會社 (東京)

	國産額		輸入額	
	數量	價額	數量	價額
大正10	—	—	940,384擔	9,297,546圓
11	—	—	2,869,001	15,854,037
12	68,500貫	85,600圓	1,980,319	10,387,746
13	—	—	1,707,742	9,615,073
14	—	—	925,240	5,220,806
昭和1	551,078	710,355	1,572,789	7,094,407
2	135,542	505,085	1,480,927	6,855,743
3	126,750	561,669	757,541	3,768,180
4	135,294	584,294	558,077	2,807,510
5	157,326	603,283	204,337	1,034,337

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
東京	35,256	104,669圓
大阪	126,750	457,000

主要國別輸入額(昭和三年)

國名	數量	價額
英吉利	6,204擔	31千圓
佛蘭西	128,354	592
獨逸	439,310	2,083
白耳義	7,153	35
瑞西	1,097	7
和蘭	5,072	24
北米	170,317	991

◎外國競争者

獨逸産品最も多く、重軌條及輕軌條共に輸入さる。米國産品は主として輕軌條にして僅少額である。

◎輸入の主要原因

國內に於ては鐵道專用の重量なるレールの生産少く、且つ輕量ものに於ても獨逸産品等比し高價なるが爲めに輸入さる。尤も近年獨逸産品が盛んに輸入されつゝあるは主として同國生産者の濫賣に因る。

◎輸入品と國産品の優劣

國産品は概して輸入品に劣り、特に重軌條に於ては品質價格共に未だ輸入品に及ばない。

◎輸入防止の主要處置

原料鋼の不足等の關係上國産品は外國品よりも幾分高價なるを免れざるを以て、政府は輸入税の引上げに依つて内外品の價格的均衡を保たしめることが肝要である。

株式會社岩井商店
株式會社岸本商店

(大阪)

◎主要輸入者

- 三菱商事株式會社 (東京)
- 三井物産株式會社 (東京)
- 日本レール株式會社 (東京)

二七九、レール附屬鋼材

レール附屬鋼材の主たるものは、
フィッシュプレート、タイププレート
及びスリーパー等である。
フィッシュプレートはレールの接

額	價額
866,849圓	
1,377,034	
931,948	
1,207,941	
488,586	
82,502	
313,252	
451,685	
490,270	
274,011	

(昭和三年)

價額
31千圓
1
2
4
1
411

米に於ては八〇封度を普通とす。

◎輸入税率

一〇〇斤に付——九五錢。

◎主要生産者

- 八幡製鐵所 (福岡)
- 日本鋼管株式會社 (東京)
- 東海鋼業株式會社 (福岡)

◎主要輸入者

- 三井物産株式會社 (東京)
- 三菱商事株式會社 (シ)
- 日本レール株式會社 (シ)

二七九、レール附屬鋼材

レール附屬鋼材の主たるものは、
フィツシュプレート、タイププレート
及びスリーパー等である。

フィツシュプレートはレールの接
續部に用ふる挾接板にして、鐵又は
鋼を以て製し、フィツシュボルト
を用ひて固くレールを連結す。タイ
プレートも亦フィツシュプレートの
一種にして工字形をなし、レールの
兩側に用ひてレールを連結するに用
ひらる。スリーパーは枕木にして普
通木材が用ひられるが、特殊なる場
所には鍊鐵製のもが用ひられるこ
ともある。此の外レール附屬鋼材に
は座鐵、肱木形轆枕、レール接線、
繫桿、接續桿、轍鐵鎖桿等の各種あ
り、何れも國産僅少にしてレールと
共に輸入さる。

◎輸入税率

フィツシュプレートは百斤九五錢
タイププレート及スリーパーは同二圓
一五錢。
其他は價額に對する二五%。

◎主要生産者

八幡製鐵所 (福岡)

	國 産 額		輸 入 額	
	數 量	價 額	數 量	價 額
大正10	6,271	—	61,164擔	866,849圓
11	3,768	—	148,771	1,377,034
12	3,260	—	100,064	931,948
13	4,978	—	83,254	1,207,941
14	6,428	—	37,606	488,586
昭和1	7,517	—	—	82,502
2	9,529	—	—	313,252
3	13,812	—	—	451,685
4	14,250	—	—	490,270
5	14,816	—	—	274,011

(フィツシュプレートを除く)

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣 名	數 量	價 額
福 岡	13,812	—

(八幡製鐵所の産額に
て、其他に生産者なし)

主要國別輸入額(昭和三年)

國 名	數 量	價 額
英 吉 利	—	31千圓
獨 逸	—	1
白 耳 義	—	2
伊 太 利	—	4
瑞 西	—	1
北 米	—	411

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣 名	數 量	價 額
東 京	35,256	104,669圓
大 阪	126,750	457,000

が盛んに輸入されつゝあるは主とし
て同國生産者の濫賣に因る。

◎輸入品と國産品の優劣

國産品は概して輸入品に劣り、特
に重軌條に於ては品質價格共に未だ
輸入品に及ばない。

◎輸入防止の主要處置

原料鋼の不足等の關係上國産品は
外國品よりも幾分高價なるを免れざ
るを以て、政府は輸入税の引上げに
依つて内外品の價格的均衡を保たし
めることが肝要である。

◎主要輸入者

- 三菱商事株式會社 (東京)
- 三井物産株式會社 (シ)
- 日本レール株式會社 (シ)
- 株式會社岩井商店 (シ)

◎外國競争者

- Y・S・スチールプロダクツ(米)
- ド・ワントル會社 (佛)
- クルツプ會社 (獨逸)
- グートホフメング會社 (シ)

◎輸入の主要原因

フィツシュプレートは八幡製鐵所
に於て少額の生産あり、その他極く
僅少の國産あるも殆んど謂ふに足ら
ず、供給不足なるが爲めである。

◎輸入品と國産品の優劣

製鐵所の製品は品質に於て輸入品
に劣らない。

◎輸入防止の主要處置

國産僅少、又は國産皆無のものな
るを以て、輸入の外なく、現在に於
ては防止の必要なし。

二八〇、家屋・橋梁・船舶其他の建設鋼材

家屋建築鋼材の主たるものは柱、桁、屋根構、圓棟材その他一定の形状にして二〇尺に切斷穿孔したる鐵板、窓枠材料、鐵筋混凝土網、波型鐵その他の補強材等である。橋梁建設鋼材の主たるものは構桁橋、肱木橋、吊橋等を構成する各種桁、梁繫梁、支柱、眼釘、緊子等又船舶建造鋼材の主たるものは船首材、船尾材舵柱其他一定の形状及寸法に切斷せる鐵板、溝型或はアングル型等の諸材料等である。

◎輸入税率

鐵のみの製品(卑金屬鍍金を含む)は一〇〇斤に付三圓六〇錢。
其他は價額に對する二五%

◎主要生産者

- 八幡製鐵所 (福岡)
- 日本鋼管株式會社 (川崎)
- 富士製鋼株式會社 (シ)
- 東京鋼材株式會社 (東京)
- 東京建鐵株式會社 (シ)
- 建築金物商會 (シ)
- 株式會社川崎造船所 (神戸)
- 大阪鐵扉製作所 (大阪)

年次	國産		輸入	
	數量	價額	數量	價額
大正10	—	8,450,533圓	35,303,539斤	6,487,393圓
11	—	13,137,759	12,902,471	2,202,528
12	—	14,428,742	13,135,137	2,181,637
13	—	20,920,658	34,411,387	5,819,647
14	—	25,511,066	8,465,172	1,626,463
昭和1	—	24,317,415	8,756,917	1,772,096
2	—	19,559,738	9,675,300	1,615,895
3	—	13,010,129	5,482,900	1,113,174
4	—	13,764,599	3,445,700	866,282
5	—	13,940,282	4,272,000	807,111

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
北海道	—	130,802圓
宮城	—	201,700
東京	—	8,399,865
神奈川	—	2,092,329
大阪	—	1,436,961
兵庫	—	208,329
廣島	—	39,136

主要國別輸入額(昭和三年)

國名	數量	價額
支那	567擔	3千圓
英吉利	9,819	185
獨逸	488	7
北米	43,940	914
加奈陀	6	1

◎主要輸入者

- 三井物産株式會社 (東京)
- 三菱商事株式會社 (シ)
- 淺野物産株式會社 (シ)
- 日本トラスコン鋼材會社 (シ)
- 島貿易株式會社 (大阪)

◎外國競争者

- カーネギー會社 (米國)
- ラプトン會社 (シ)
- トラスコン會社 (シ)
- フエネストラ會社 (シ)
- アームストロング會社 (英國)

◎輸入の主要原因

各種類共國産僅少、又は國産なきために輸入さる。

◎輸入品と國産品の優劣

種類多きを以て一概に優劣を比較し難きも、品質に於ては殆んど優劣なく、價額は國産品が高價である。

◎輸入防止の主要處置

國産の振興を計ると共に、輸入税を適宜に引上ぐる外なし。

二八一、絶縁電線

絶縁電線は電信、電話、電燈その他一般電力輸送用金屬線の外部をゴム、布帛、紙、糸縷等の絶縁物を以て被覆せるものにして、構造上鍍装

額	價額
1,867,858圓	
1,315,906	
2,327,763	
1,453,064	
2,471,155	
1,429,263	
1,358,368	
1,198,033	
1,942,960	
428,159	

昭和三年)

價額
343千圓
69
517
20
2
246

◎主要輸入者

- 日本電線製造株式會社 (尼ヶ崎)
- 東海電線株式會社 (三重)

鐵のみの製品(卑金屬鍍金を含む)は一〇〇斤に付三圓六〇錢。其他は價額に對する二五%

◎主要生産者

- 八幡製鐵所 (福岡)
- 日本鋼管株式會社 (川崎)
- 富士製鋼株式會社 (〃)
- 東京鋼材株式會社 (東京)
- 東京建鐵株式會社 (〃)
- 建築金物商會 (〃)
- 株式會社川崎造船所 (神戸)
- 大阪鐵扉製作所 (大阪)

國 産 額	
數量	價 額
大正10	8,450,533圓
11	13,137,759
12	14,428,742
13	20,920,658
14	25,511,066
昭和1	24,317,415
2	19,559,738
3	13,010,129
4	13,764,599
5	13,940,282

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣 名	數量	價 額
北海道	—	130,802圓
宮 城	—	201,700
東 京	—	8,399,865
神奈川	—	2,092,329
大 阪	—	1,436,961
兵 庫	—	208,329
廣 島	—	39,136

◎輸入の主要原因
各種類共國産僅少、又は國産なきために輸入さる。

◎輸入品と國産品の優劣

種類多きを以て一概に優劣を比較し難きも、品質に於ては殆んど優劣なく、價額は國産品が高價である。

◎輸入防止の主要處置

國産の振興を計ると共に、輸入税を適宜に引上げる外なし。

二八一、絶縁電線

絶縁電線は電信、電話、電燈その他一般電力輸送用金屬線の外部をゴム、布帛、紙、糸縷等の絶縁物を以て被覆せるものにして、構造上鍍装電線、鉛被電線、護謨被電線等の別あり、又使用場所に依つて海底電線、地下電線、架空電線及室内電線に四別さる。尚ほ此の外フレキシブルコード、電燈用紐、受話器用紐の類も亦本項に屬す。

◎輸入税率

金屬を鍍装せるものは無税。護謨又はガタパーチヤ使用のものは一〇〇斤に付二〇圓。其他の電話電信用は同五圓五〇錢其他同一八圓乃至二六圓。(其他詳細規定略す)

◎主要生産者

- 株式會社住友電線製造所(大阪)
- 藤倉電線株式會社 (東京)
- 古河電氣工業株式會社 (〃)
- 株式會社日立製作所 (〃)
- 日本電線株式會社 (〃)
- 東京製線株式會社 (〃)
- 沖電氣株式會社 (〃)

國 産 額		輸 入 額	
數量	價 額	數量	價 額
大正10	30,269,998圓	—	1,867,858圓
11	141,836,499	—	1,315,906
12	56,390,153	—	2,327,763
13	54,691,792	—	1,453,064
14	49,628,679	—	2,471,155
昭和1	78,025,372	—	1,429,263
2	77,611,760	—	1,358,368
3	92,808,367	—	1,198,033
4	88,709,468	—	1,942,960
5	93,165,002	—	428,159

主要國別輸入額(昭和三年)

國 名	數量	價 額
英 吉 利	—	343千圓
佛 蘭 西	—	69
獨 逸	—	517
伊 太 利	—	20
瑞 西	—	2
北 米	—	246

◎外國競争者

- シーメンス會社、ヘンリー會社、シルバータウン會社(以上英國)
- アルゲマイネ電機會社、シーメンスシュツケルト會社(以上獨逸)
- 三菱商事株式會社 (東京)
- 大倉商事株式會社 (〃)
- 富士電機株式會社 (〃)
- ヒーリング商會 (〃)
- 株式會社高田商會 (〃)

◎輸入の主要原因

主として國産の不足及び價格の差又は外商の巧妙なる賣込等に因る。

◎輸入品と國産品の優劣

ガタパーチヤ絶縁の如き特殊なるものを除けば、殆んど優劣なし。

◎輸入防止の主要處置

國産の増加、外品の不當廉賣に對する取縮關稅引上等が急務である。

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣 名	數量	價 額
茨 城	—	4,937,602圓
東 京	—	23,037,928
神奈川	—	19,447,583
三 重	—	1,237,979
京 都	—	1,395,644
大 阪	—	33,489,293
兵 庫	—	5,960,461
福 岡	—	2,650,567

二八二、鐵 鏈

鐵製鍊には其の種類多く、輸入品の主たるものはギアリングチェーンを始めとし、起重機用鍊、錨鍊、チェーンベルト等である。

ギアリングチェーンは機械の動力傳達に使用されるものにして凹字形隋圓形、瓢子形等の鐵片二枚を並列し横より鐵串を挿入して長く連續せしめ、主として自轉車チェーンとして用ひらる。起重機用及び錨用、或は土木建築運搬等に使用される鍊は鍊鐵又は軟鋼製環を任意の長さに連接せしめたるものにして、形狀大小等は種々ある。

◎輸入税率

自轉車用(ギアリングチェーン)は一〇〇斤に付四九圓六〇錢。
其他の鐵製鍊は同一八圓一〇錢。
(其他詳細規定略す)

◎主要生産者

- 株式會社大阪製鎖所 (大阪)
- 東洋チェーン製作所 ()
- 村上鐵工所 ()
- 小倉新鐵工所 ()
- 椿本製作所 ()

	國 産 額		輸 入 額	
	數 量	價 額	數 量	價 額
大正10	—	—	—	1,494,314圓
11	—	—	—	1,464,102
12	—	2,525,506圓	—	1,106,409
13	—	1,536,584	3,10,979斤	1,576,256
14	—	2,155,454	151,129	1,405,711
昭和 1	—	919,217	1,468,753	1,352,324
2	—	2,520,714	1,016,197	899,700
3	—	2,879,049	1,473,791	1,335,784
4	—	3,154,776	1,783,600	1,374,877
5	—	3,268,447	1,068,852	909,334

主要府縣別生産額(昭和三年)

國 名	數 量	價 額
東 京	—	242,703圓
石 川	—	100,800
大 阪	—	2,480,443
兵 庫	—	9,180
岡 山	—	15,963
廣 島	—	16,950
福 岡	—	11,096

主要國別輸入額(昭和三年)

國 名	數 量	價 額
英 吉 利	7,686擔	631千圓
佛 蘭 西	59	4
獨 逸	771	32
瑞 典	7	0
北 米	6,212	662

◎主要輸入者

- 日本郵船株式會社 (東京)
- 三菱造船株式會社 ()
- 三井物産株式會社 ()

右は何れも自家用品の直接輸入であるが、此の外自轉車チェーンは各自動車商に依つて直輸入さる。

◎外國競争者

- ヒングレー會社 (英國)
- 此の外米國產品及獨逸產品。

◎輸入の主要原因

輸入品の大部分は自轉車チェーンにして、本邦に於ては鍊に使用すべき堅牢なる素材に乏しく、優良品を廉價に生産すること困難にして常に供給不足を告ぐるが爲めである。

◎輸入品と國産品の優劣

製造技術に於ては大差なきも、素材輸入の關係上概ね高價である。

◎輸入防止の主要處置

生産費の低下、及び關稅引上に因る生産者保護等が緊要である。

二八三、コック及バルブ

コックは水道栓、浴槽栓その他液體の排出口に装置し液體を自由に注出せしむるに使用するものにして、眞鍮又は砲金等を原料として製し、

額 價 額
515,254圓
350,698
399,867
359,647
383,789
539,540
487,408
386,232
648,616
554,287

◎主要生産者

- 折原製作所 (東京)
- 日本機裝株式會社 ()

入は却つて増加の傾向である。その原因としては各種高級機械の國産振はざることを第一に挙げねばならぬが一方獨立製品に就いて觀るも、國

等は種々ある。

◎輸入税率

自轉車用(ギアリングチェーン)は
一〇〇斤に付四九圓六〇錢。
其他の鐵製鏈は同一八圓一〇錢。
(其他詳細規定略す)

◎主要生産者

株式会社大阪製鎖所 (大阪)
東洋チェーン製作所 (〃)
村上鐵工所 (〃)
小倉新鐵工所 (〃)
椿本製作所 (〃)

二八三、コックケ及バルブ

コックは水道栓、浴漕栓その他液體の排出口に装置し液體を自由に注出せしむるに使用するものにして、眞鍮又は砲金を原料として製し、外匣と回轉栓とより成る。

バルブは液體又は氣體の通路に装置し、その開閉に依つて流出の方向流出量等を自由ならしめるために使用するものにして、其の主たるものは逆止瓣、螺旋止瓣、堰止瓣、安全瓣、蒸氣調節瓣等である。多くは眞鍮、鐵等を以て製し、使用の目的に依つて構造は頗る多種多様である。逆止瓣は汽罐給水唧筒等に使用され堰止瓣は送水管に用ひられ、安全瓣は汽罐、過熱器、壓縮ガス溜等に、蒸氣調節瓣は汽罐と汽機との中間に装置し蒸氣排出を調節するために使用する。

◎輸入税率

一、卑金屬鍍金を施したるものは一〇〇斤に付七八圓七〇錢。
二、一箇百斤以下の鐵製は一〇〇斤に付二二圓九〇錢。同一千斤以下のものは同一六圓八〇錢。
三、眞鍮及青銅製は同四五圓五〇錢

國産額

年次	數量	價額
大正10	—	—
11	—	—
12	—	2,525,506圓
13	—	1,536,584
14	—	2,155,454
昭和1	—	919,217
2	—	2,520,714
3	—	2,879,049
4	—	3,154,776
5	—	3,268,447

主要國別輸入額(昭和三年)

國名	數量	價額	國名	數量	價額
大正10	480,782斤	515,254圓	大正10	1,919擔	144
11	286,681	350,698	11	163	24
12	347,688	399,867	12	888	56
13	390,274	359,647	13	314	18
14	321,377	383,789	14	117	12
昭和1	538,466	539,540	昭和1	23	2
2	407,485	487,408	2	480	123
3	394,407	386,232			
4	617,650	648,616			
5	538,017	554,287			

主要府縣別生産額(昭和三年)

國名	數量	價額
東京	—	242,703圓
石川	—	100,800
大阪	—	2,480,443
兵庫	—	9,180
岡山	—	15,963
廣島	—	16,950
福岡	—	11,096

◎主要生産者

折原製作所 (東京)
日本鑄裝株式會社 (〃)
松尾工場 (〃)
中田工場 (〃)
花菱鐵工所 (大阪)
濱田製作所 (〃)
中村忠藏工場 (〃)
戸畑鑄物株式會社 (福岡)

◎主要輸入者

三井物産株式會社 (東京)
三菱商事株式會社 (〃)
塚本商事株式會社 (〃)

◎外國競争者

クレイン會社 (米國)
ウイルコック會社 (〃)
グレール・フイールト會社 (英國)

◎輸入の主要原因

本品の輸入は獨立製品として輸入されるものと、各種機械の附屬品として機械類と共に輸入されるものがあり、獨立製品としての輸入は漸減しつつあるが、附屬品としての輸

輸入品の大部分は自轉車チェーンにして、本邦に於ては鏈に使用するべき堅牢なる素材に乏しく、優良品を廉價に生産すること困難にして常に供給不足を告ぐるが爲めである。

◎輸入品と國産品の優劣

製造技術に於ては大差なきも、素材輸入の關係上概ね高價である。

◎輸入防止の主要處置

生産費の低下、及び關稅引上に因る生産者保護等が緊要である。

輸入は却つて増加の傾向である。その原因としては各種高級機械の國産振はざることを第一に擧げねばならぬが一方獨立製品に就いて觀るも、國産品は内地の全需要を充し得る域に到達せず、特に耐酸製品、暖房装置用等の如き特殊品に至つては、國産頗る僅少にして輸入を仰がざるを得ざる状態である。

◎輸入品と國産品の優劣

普通品に於ては略輸入品に匹敵し得るが、全體的に見て國産品は未だ輸入品に及ばざる點が少くない。即ち使用材料の粗悪製作機械の優秀品少きこと、技術の不熟練等は國産品の主たる缺點である。

◎輸入防止の主要處置

生産者が徒らに安價粗製品の製作のみに没頭せず高級優良品の製造に努める事が最も肝要である。

(備考)

大正十一年の國産額二、二八八、七四〇圓にして、現今の年産額は三百萬圓内外と推定さる。

二八四、家具金物類

本項に属するものは蝶鍔、帽子掛扉の肥手、抽斗の取手、各種錠及鍵輪、窓及扉金具等の類にして其の種類頗る多く枚舉に遑あらず。多くは銅、青銅、真鍮、鐵等を材料として鑄製し、鍍金又は防腐塗料を施したるものがある。

◎輸入税率

貴金屬製及貴金屬鍍金製は五〇%
 卑金屬鍍金製は三〇%
 鐵製は一〇〇斤に付一圓五〇錢
 真鍮製、青銅製は同五五圓一〇錢
 其他は價額の二五%

◎主要生産者

戸畑鑄物株式會社 (福岡)
 湯淺七左衛門商店 (東京)
 岡谷合資會社 (名古屋)

◎主要輸入者

湯淺七左衛門商店 (東京)
 林音商店 (シ)
 株式會社祿々商店 (シ)
 岩田商會 (大阪)
 岡谷合資會社 (名古屋)

年次	國産額		輸入額	
	數量	價額	數量	價額
大正10	—	11,504,941圓	—	425,233圓
11	—	15,882,094	—	583,251
12	—	16,059,265	—	598,029
13	—	21,800,344	—	659,016
14	—	26,270,634	—	522,146
昭和1	—	26,008,229	—	584,683
2	—	21,498,381	—	373,205
3	—	14,948,772	—	466,799
4	—	15,236,654	—	432,603
5	—	15,987,744	—	257,328

主要府縣別生産額(昭和三年)

國名	數量	價額
東京	—	9,548,454圓
神奈川	—	2,092,513
静岡	—	73,880
愛知	—	130,661
滋賀	—	314,800
京都	—	88,310
大阪	—	1,812,327

主要國別輸入額(昭和三年)

國名	數量	價額
英吉利	—	8千圓
獨逸	—	85
瑞典	—	100
北米	—	272

◎外國競争者

ミラー・ロツク會社 (米國)
 エール・エンド・タウン會社(シ)
 ダン・ラドウィツヒ會社(獨逸)

◎輸入の主要原因

鋼鐵製高級品は國産品少なく且つ品質に於て外國製に及ばざる事、洋家具類の普及に伴ひ歐米品を歓迎する傾向ある事、及び價格關係等が主因である。

◎輸入品と國産品の優劣

國産品は外觀上輸入品に劣らざるも、使用上耐久力に於て輸入品に及ばざるもの多く、就中鋼鐵製品の如きは素材の關係上輸入品よりも劣等にして而も比較的高價である。

◎輸入防止の主要處置

國內に於ける生産能力が國內需要を充し得る程度に至るまで關稅政策に依つて生産者を保護する事、官民共に國産品を愛用する事、生産者が材料の精選及技術の向上に努力する事、等が肝要である。

二八五、工匠具・農具及同部分品

金屬製工具及農具は其の種類頗る多きも、輸入品の主たるものは、工具に在りては鐵砧、鐵槌、レンチ、パイプカッター、ラツチエツト、ト

額	價額
1,607,615圓	
2,187,843	
2,425,271	
3,459,500	
2,413,526	
2,602,848	
2,302,613	
2,957,670	
2,849,764	
1,877,414	

(昭和三年)

價額
139千圓
45
455
5
22
59
2,224

◎主要輸入者

アンドリュウ商會 (東京)
 ハーバート商會 (シ)
 横濱植木商會 (横濱)

其他は價額の二五%

◎主要生産者

- 戸畑鑄物株式會社 (福岡)
- 湯淺七左衛門商店 (東京)
- 岡谷合資會社 (名古屋)

◎主要輸入者

- 湯淺七左衛門商店 (東京)
- 林音商店 (シ)
- 株式會社祿々商店 (シ)
- 岩田商會 (大阪)
- 岡谷合資會社 (名古屋)

年次	國産	輸入
	數量	價額
大正10	—	11,504,941圓
11	—	15,882,094
12	—	16,059,265
13	—	21,800,344
14	—	26,270,634
昭和1	—	26,008,229
2	—	21,498,381
3	—	14,948,772
4	—	15,236,654
5	—	15,987,744

主要府縣別生産額(昭和三年)

國名	數量	價額
東京	—	9,548,454圓
神奈川	—	2,092,513
静岡	—	73,880
愛知	—	130,661
滋賀	—	314,800
京都	—	88,310
大阪	—	1,812,327

國産品は外観上輸入品に劣らざるも、使用上耐久力に於て輸入品に及ばざるもの多く、就中鋼鐵製品の如きは素材の關係上輸入品よりも劣等にして而も比較的高價である。

◎輸入防止の主要處置
國內に於ける生産能力が國內需要を充し得る程度に至るまで關稅政策に依つて生産者を保護する事、官民共に國産品を愛用する事、生産者が材料の精選及技術の向上に努力する事、等が肝要である。

二八五、工匠具・農具及同部分品

金屬製工具及農具は其の種類頗る多きも、輸入品の主たるものは、工具に在りては鐵砧、鐵槌、レンチ、パイプカッター、ラツチエツト、トング、ニツパー、プライヤー、バリス、ストツク、ダイス、スクリュイプレート等、農具に在りてはシヨベル、スクープ等である。

◎輸入稅率

鐵砧は一〇〇斤に付四圓七五錢。
鐵槌は同六圓八〇錢。
鑢は同三四圓六〇錢、以下一七圓八〇錢迄各種(大きさに依り異なる) 鋸は同四四圓三〇錢。
(其他詳細分類規定略す)

◎主要生産者

- 安井健次郎商店 (東京)
- 富田商店 (シ)
- 園池鐵工所 (シ)
- 久保田鐵工所 (シ)
- 東京鐵工所 (シ)
- 木田山商店 (シ)
- 湯淺七左衛門商店 (シ)
- 淺香商店 (大阪)
- 岡谷合資會社 (名古屋)

年次	國産	輸入
	數量	價額
大正10	—	5,595,413圓
11	—	9,046,762
12	—	3,045,050
13	—	5,597,927
14	—	3,767,340
昭和1	—	4,389,531
2	—	4,436,543
3	—	3,854,062
4	—	5,997,468
5	—	6,110,387

主要國別輸入額(昭和三年)

縣名	數量	價額	國名	數量	價額
北海道	—	145,323圓	英吉利	—	139千圓
東京	—	535,517	佛蘭西	—	45
愛知	—	128,454	獨逸	—	455
三重	—	330,125	伊太利	—	5
大阪	—	770,168	瑞西典	—	22
兵庫	—	1,090,751	瑞典	—	59
島根	—	396,511	北米	—	2,224
香川	—	42,400			

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
北海道	—	145,323圓
東京	—	535,517
愛知	—	128,454
三重	—	330,125
大阪	—	770,168
兵庫	—	1,090,751
島根	—	396,511
香川	—	42,400

◎主要輸入者
アンドリユー商會 (東京)
ハーバート商會 (シ)
横濱植木商會 (横濱)

◎外國競争者
アメリカ農工會社 (米國)
ウエラント・ペール商會 (加奈陀)

◎輸入の主要原因

外國製品は大規模工場に於て生産され、國産品は大部分小規模工場に於て製造される。故に國産品は輸入品と同等以下の生産費を以て製造すること困難にして需要者の意に満たざるが爲めである。

◎輸入品と國産品の優劣

原料鋼材に於て輸入品に及ばず、又製作技術に於て稍々劣り、加ふるに價格概ね高價にして輸入品に對抗し得ない。

◎輸入防止の主要處置

資本の合同化を圖り、生産設備を擴張改善して優良品の多量生産に努めることが最も急務である。

二八六、 刃

物

各種刃物類の中輸入品の主たるものはテールナイフ、ポケットナイフ、剃刀等にして、テールナイフには餐刀、菓子及果實用刀、牛酪及乾酪用刀、魚肉用刀等の各種、剃刀には安全剃刀及び折疊式所謂西洋剃刀の兩種がある。

◎輸入税率

- (一) 貴金屬を使用せるものは五〇%
- (二) ポケットナイフ(象牙、鼈甲、又は瑛瑯柄)一〇〇個に付二〇圓九〇錢。其他同一五圓一〇錢。
- (三) テールナイフ(象牙、鼈甲又は瑛瑯柄)一〇〇個に付四七圓四〇錢。其他一五圓二〇錢。
- (四) 剃刀(有柄)一〇〇個に付四〇圓四〇錢。その他價額の三五%。

◎主要生産者

- 菊秀本店 (ナイフ) (東京)
- 伊藤刃物店 (シ) (シ)
- 兩岡刃物店 (シ) (シ)
- 小坂利雄商店 (シ) (大阪)
- 酒井商會 (シ) (シ)
- 株式會社十一屋商店 (シ) (東京)
- 柴田ナイフ工場 (シ) (シ)

年次	國 産 額		輸 入 額	
	數量	價 額	數量	價 額
大正10	—	15,813,366圓	—	—圓
11	—	15,743,144	—	—
12	—	16,896,473	—	—
13	—	19,864,712	—	791,159
14	—	20,534,820	—	455,905
昭和1	—	2,252,813	—	455,137
2	—	2,030,866	3,105,199個	429,575
3	—	1,985,961	6,967,935	581,370
4	—	2,019,749	9,211,134	664,615
5	—	2,125,002	8,764,800	458,458

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣 名	數量	價 額
東 京	—	580,594
新 潟	—	146,915
岐 阜	—	102,628
大 阪	—	379,732
兵 庫	—	199,560
香 川	—	182,294

主要國別輸入額(昭和三年)

國 名	數量	價 額
英 吉 利	736千個	170千圓
佛 蘭 西	29	1
獨 逸	4,872	290
瑞 西	201	1
瑞 典	441	5
丁 抹	29	1
北 米	657	108

◎主要輸入者

- 東京特殊鋼器製作所(ナイフ) (シ)
- 池田剃刀製作所(剃刀) (シ)
- 今井吉次郎(安全剃刀) (シ)
- 鈴木工場 (シ)

- 株式會社十一屋商店 (東京)
- 謙信洋行 (神戸)
- 丸善株式會社 (東京)

◎外國競争者

- ヘンケル會社 (獨逸)
- シンゲルトン會社 (英國)
- ユニバーサル會社 (米國)
- ベンゴール會社 (シ)
- 尙ほ安全剃刀用刃にはジレット、エバレーヂ、ゼム(以上米國製)及びバレー(英國製)等がある。

◎輸入品と國産品の優劣

特殊高級品は概して輸入品に及ばざるも、普通品は殆んど優劣なし。

◎輸入防止の主要處置

優良鋼材の精選、及び製作技術上の研究をなし、優良品の大量生産に努めることが最急務である。

二八七、 針

針には縫針、編針、留針、安全留針等の各種あり。更に縫針には手縫針、縫衣機針、刺繡針、帆縫針等の各種、編針には手編針、メリヤス機

年次	價 額
大正10	323,939圓
11	311,462
12	279,114
13	585,079
14	345,254
昭和1	377,400
2	349,494
3	264,386
4	363,232
5	269,036

昭和三年)

價 額
118千圓
0
89
55

◎主要輸入者

主として縫衣機及メリヤス機の輸入業者に依つて輸入され、本品の専門的輸入者は少し。

(三) テーブルナイフ(象牙 龍甲又は瑛瑯柄)一〇〇個に付四七圓四〇錢。其他一五圓二〇錢。
(四) 剃刀(有柄)一〇〇個に付四〇圓四〇錢。その他價額の三五%。

◎主要生産者

- 菊秀本店 (ナイフ) (東京)
- 伊藤双物店 (シ)
- 兩岡双物店 (シ)
- 小坂利雄商店 (シ) (大阪)
- 酒井商會 (シ)
- 株式會社十一屋商店(シ)(東京)
- 柴田ナイフ工場(シ)

二八七、針

針には縫針、編針、留針、安全留針等の各種あり。更に縫針には手縫針、縫衣機針、刺繡針、帆縫針等の各種、編針には手編針、メリヤス機針、漁網機針等の各種、留針には普通の留針の外に束髪用、帽子用等の各種がある。何れも鋼鐵又は眞鍮を以て製し、ニッケル、錫等を鍍金し又は漆及瑛瑯を施せるもの等もあり形状、大小等は種々ある。縫針は國産豊富にして支那その他へ輸出されつつあるが、其他の各種針は概ね生産不足にして輸入さる。

◎輸入税率

手縫針は一〇〇斤に付一九一圓。
縫衣機針は同四六四圓。
メリヤス機針は同二四九圓。
其他は價額に對する三〇%。

◎主要生産者

- 田村工業株式會社(縫針)(廣島)
- 中田太一工場 (シ)
- 山本要吉工場 (シ)
- 播七製針工場 (シ)
- 高橋誠太郎 (シ)
- 原田謙吉 (シ)

	國 産 額		輸 入 額	
	數量	價 額	數量	價 額
大正10	—	1,487,063圓	—	323,939圓
11	—	1,298,763	—	311,462
12	—	1,598,408	39,448斤	279,114
13	—	1,362,420	111,437	585,079
14	—	1,850,145	50,239	345,254
昭和1	—	1,757,789	104,540	377,400
2	—	1,782,821	48,495	349,494
3	—	1,439,049	60,033	264,386
4	—	1,305,268	76,363	363,232
5	—	1,543,227	45,160	269,036

	國 産 額
	數量 價 額
大正10	— 15,813,366圓
11	— 15,743,144
12	— 16,896,473
13	— 19,864,712
14	— 20,534,820
昭和1	— 2,252,813
2	— 2,030,866
3	— 1,985,961
4	— 2,019,749
5	— 2,125,002

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣 名	數量	價 額
千葉	—	46,800圓
東京	—	227,895
愛知	—	60,120
京都	—	52,100
大阪	—	80,935
兵庫	—	72,415
廣島	—	794,975
徳島	—	42,827

主要國別輸入額(昭和三年)

國 名	數量	價 額
英 吉 利	68擔	118千圓
佛 蘭 西	1	0
獨 逸	535	89
北 米	15	55

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣 名	數量	價 額
東京	—	580,594
新潟	—	146,915
岐阜	—	102,628
大阪	—	379,732
兵庫	—	199,560
香川	—	182,294

◎輸入品と國産品の優劣

特殊高級品は概して輸入品に及ばざるも、普通品は殆んど優劣なし。

◎輸入防止の主要處置

優良鋼材の精選、及び製作技術上の研究をなし、優良品の大量生産に努めることが最急務である。

◎主要輸入者

主として縫衣機及メリヤス機の輸入業者に依つて輸入され、本品の専門的輸入者は尠し。

◎外國競争者

英國産品及獨逸産品にして、英國産品は縫衣機針を主とし、獨逸産品は縫針を主とす。

◎輸入の主要原因

國産品は概ね外國品よりも高價にして、且つ品質粗悪なるに因る。

◎輸入品と國産品の優劣

原料鋼の優良なる關係上輸入品は概して國産品よりも品質優良である殊に獨逸製縫針は國産品に比して、原料、鑽孔、研磨、光澤等の各點に於て勝れ、而も廉價である。縫衣機用針も亦輸入品は優良である。

◎輸入防止の主要處置

工場の規模を擴張して大量生産に依る品質の統一、及び生産費の低下に努める事が最も肝要である。

ユニバーサル會社 (米國)
ベンゴール會社 (シ)
尚ほ安全剃刀用刃にはジレット、エバレーヂ、ゼム(以上米國製)及びバレー(英國製)等がある。

二八八、ペン

ペン尖は普通鋼鐵又は金を以て製す。金製には尖端に白金又はイリヂウムを附し、鋼鐵製は假漆その他の防蝕劑を塗布し或は鍍金を施したるもの多し。形状には種々あり、又筆記用、簿記用、製圖用石版用等の用途に依り多少製法を異にするも、大部分大同小異である。

輸入品の包装は、鋼製は一哥宛紙函に入れ、一〇函を更に一包みとして紙に包み、四〇〇哥を一箱とす。

◎輸入税率

金製は一打に付——六圓七〇錢。
其他は一グロスに付——二五錢。

◎主要生産者

- 坂田製作所(鋼製) (廣島)
- 國際金ペン製造所(シ) (東京)
- 石川徳松(金製) (東京)
- 東洋精鋼合資會社 (シ)
- ◎主要輸入者
- 丸善株式會社 (東京)
- 村瀬商會 (シ)
- 牧野商會 (シ)
- 伊東屋 (シ)

年次	國産		輸入	
	數量	價額	數量	價額
大正10	—	755,484圓	277,281哥	319,970圓
11	—	524,205	440,234	485,480
12	—	819,104	556,633	520,947
13	—	1,402,829	682,995	617,252
14	—	1,806,500	491,858	508,435
昭和1	—	1,361,407	761,569	736,900
2	—	1,628,820	621,190	576,996
3	—	1,273,144	768,967	795,914
4	—	1,287,543	667,604	646,297
5	—	1,335,685	602,825	552,168

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
東京	—	474,156圓
大阪	—	80,083
廣島	—	718,905

主要國別輸入額(昭和三年)

國名	數量	價額
英吉利	762,354哥	759千圓
佛蘭西	107	0
獨逸	7,396	6
北米	1,653	27

◎外國競争者

- 明輝社 (神戸)
- エブラハム商會 (シ)
- コーンス商會 (横濱)
- ヒンクス會社 (英國)
- ベランダー會社 (シ)
- ヒューズ會社 (シ)
- ペリー會社 (シ)
- カメロン會社 (シ)
- ギロツト會社 (シ)
- スペンセリアン會社 (米國)
- ゾンネツケン會社 (獨逸)

◎輸入の主要原因

輸入品は品質優良にして價格比較的安きためである。

◎輸入品と國産品の優劣

金ペンに於ては殆んど優劣がないが、鋼製ペンは原料鋼の品質、及び鍍金法、焼入法等に於て未だ輸入品に及ばない。

◎輸入防止の主要處置

製作技術を研究し優良高級品の製出に努める事が第一義である。

二八九、ストーブ及ラヂエーター

ストーブ及ラヂエーターは共に暖房用放熱器にして、ストーブには薪炭用、石油用、ガス用等の各種あり燃料の種類及び用途に應じて形状大小等種々ある。ラヂエーターは熱湯

價額
543,982圓
953,879
1,478,736
2,476,490
573,102
448,957
452,242
390,772
361,946
172,604

(昭和三年)

價額
22千圓
41
79
14
2
4
223

- 前田鐵工所 (東京)
- 三機工業株式會社 (シ)
- 高砂鐵工株式會社 (シ)
- 東亞鐵工所 (大阪)

金製は打付——六圓七〇錢。
其他は一ダロスに付——二五錢。

◎主要生産者

- 坂田製作所(鋼製) (廣島)
- 國際金ペン製造所(シ) (東京)
- 石川徳松(金製) (東京)
- 東洋精鋼合資會社 (シ)

◎主要輸入者

- 丸善株式會社 (東京)
- 村瀬商會 (シ)
- 牧野商會 (シ)
- 伊東屋 (シ)

年次	國産	輸入
	數量	價額
大正10	—	755,484圓
11	—	524,205
12	—	819,104
13	—	1,402,829
14	—	1,806,500
昭和1	—	1,361,407
2	—	1,628,820
3	—	1,273,144
4	—	1,287,543
5	—	1,335,685

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
東京	—	474,156圓
大阪	—	80,083
廣島	—	718,905

◎輸入の主要原因

輸入品は品質優良にして價格比較的安きためである。

◎輸入品と國産品の優劣

金ペンに於ては殆んど優劣がないが、鋼製ペンは原料鋼の品質、及び鍍金法、焼入法等に於て未だ輸入品に及ばない。

◎輸入防止の主要處置

製作技術を研究し優良高級品の製出に努める事が第一義である。

二八九、ストーブ及ラヂエーター

ストーブ及ラヂエーターは共に暖房用放熱器にして、ストーブには薪炭用、石油用、ガス用等の各種あり燃料の種類及び用途に應じて形状大小等種々ある。ラヂエーターは熱湯蒸氣、熱空氣等を通じて間接に室内の空氣を暖めるに用ひられ、形状には各種ある。兩者とも鑄鐵又は鍊鐵を以て製し、ラヂエーターは熱の放散を良くするため普通表面にはペイント又は金屬粉を塗抹す。

◎輸入税率

- (一)鑄鐵製珙瑯引ストーブは一〇〇斤に付一七圓七〇錢。其他一五圓
- (二)鑄鐵製以外は價額の三五%。
- (三)鑄鐵製ラヂエーターは一〇〇斤に付七圓〇五錢。
- (四)鑄鐵製以外は價額三五%。

◎主要生産者

- (ストーブ) 菱平工場 (大阪)
- 白神工場 (シ)
- 永瀬鑄物工場 (埼玉)
- (ラヂエーター) 東京瓦斯株式會社 (東京)

年次	國産	輸入
	數量	價額
大正10	—	543,982圓
11	—	953,879
12	—	1,478,736
13	—	2,476,490
14	—	573,102
昭和1	—	448,957
2	—	452,242
3	—	390,772
4	—	361,946
5	—	172,604

(其他を含む)

主要國別輸入額(昭和三年)

國名	數量	價額
英吉利	—	22千圓
佛蘭西	—	41
獨逸	—	79
白耳義	—	14
瑞典	—	2
諾威	—	4
北米	—	223

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
栃木	—	35,842圓
東京	—	2,001,274
愛知	—	46,555
京都	—	341,784
大阪	—	794,228
島根	—	35,250
廣島	—	104,940

◎主要輸入者

- 前田鐵工所 (東京)
- 三機工業株式會社 (シ)
- 高砂鐵工株式會社 (シ)
- 東亞鐵工所 (大阪)

◎外國競争者

- ユンケル會社、ハウ・デラス會社、アスカンヤ會社(以上獨逸)
- ハンフレイ會社、ケネデー會社、ウエル・スバツク會社(以上米國)

◎輸入品と國産品の優劣

輸入品は優良且つ廉價である。

◎輸入防止の主要處置

石炭ストーブ以外は何れも製造技術の進歩に努める事が急務である。

二九〇、金庫

金庫は使用の目的に依つて火災除盗難除及び猛火除の三種に區別されてゐるが、大部分は火災と盗難の防止を兼ねたるものである。用途に應じて構造及内容に多少の相異點あるも、何れも堅牢なる鐵製匣にして、底部には小型の車輪を附して移動に便ならしめ、表面には防銹及裝飾を兼ねて塗料を施す。鐵板又は葉鐵製の手提金庫も亦本品の一種にして種類頗る多し。

◎輸入税率

價額に對する三五%。

◎主要生産者

株式會社佐倉金庫店 (東京)
大倉金庫店 (〃)
竹内金庫店 (〃)

◎主要輸入者

三井物産株式會社 (東京)
三菱商事株式會社 (〃)
千代田組 (〃)
大倉組 (〃)
諸岡商店 (〃)
(但し現今は輸入僅少である)

年次	國 産 額		輸 入 額	
	數量	價 額	數量	價 額
大正10	—	857,171圓	—	—
11	—	2,755,761	—	—
12	—	1,877,579	—	—
13	—	3,290,519	—	1,135,518圓
14	—	2,797,223	—	342,458
昭和1	—	2,981,931	—	275,629
2	—	2,585,416	—	169,284
3	—	2,131,932	—	175,213
4	—	2,296,514	—	114,529
5	—	2,054,356	—	85,245

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣 名	數量	價 額
栃 木	—	40,000圓
埼 玉	—	120,000
東 京	—	1,159,713
神奈川	—	49,251
靜 岡	—	220,000
京 都	—	116,930
大 阪	—	375,150

主要國別輸入額(大正十四年)

國 名	數量	價 額
北 米	—	115,245圓
獨 逸	—	23,054
英 吉 利	—	16,546
佛 蘭 西	—	6,794
和 蘭	—	3,599

◎外國競争者

モスラー會社、アメリカン・セイフキヤビネット會社、デーボルト會社、ヨーク會社、ゼネラル・フアイヤー・プルーヒング會社(米國)エード會社、ヘルマン會社(獨逸)チャブセーフ會社(英國)

◎輸入の主要原因

従來國産僅少及び國産品の品質劣等のため輸入されたが、現今に於ては國産品の擡頭に依り、特殊なる場合にのみ輸入されるに過ぎない。

◎輸入品と國産品の優劣

品質に於ては國産品優良にして、就中佐倉金庫店製オールスチール金庫の如きは品質、體裁、耐久力その他凡ゆる點に於て外國製高級品を凌駕し、而も輸入品に比して遙かに廉價である。

◎輸入防止の主要處置

需要者が舶來品崇拜の念を去り、優良國産品の愛用に努めることが最も肝要である。

二九一、金銭登録器及計算器類

金銭登録器即ちキャツシユレジスタは、自働的に金銭出納の登録をなす精巧なる機械にして、構造の大小に種類多きも普通は把手式登録器である。

入

額	價 額
553,982圓	
643,436	
698,942	
1,387,921	
525,610	
—	
1,217,439	
1,509,546	
1,468,682	
591,037	

額(昭和三年)

價 額
1千圓
15
501
1
64
31
891

◎輸入の主要原因

セントルイス金銭登録器(米國製)レミントン金銭登録器(〃)サンドストランド金銭登録器(〃)アンカー金銭登録器(獨逸製品)

價額に對する三五%。

◎主要生産者

- 株式會社佐倉金庫店 (東京)
- 大倉金庫店 (〃)
- 竹内金庫店 (〃)

◎主要輸入者

- 三井物産株式會社 (東京)
 - 三菱商事株式會社 (〃)
 - 千代田組 (〃)
 - 大倉組 (〃)
 - 諸岡商店 (〃)
- (但し現今は輸入僅少である)

年次	國 産 額	輸 入 額
	數量	價 額
大正10	—	857,171圓
11	—	2,755,761
12	—	1,877,579
13	—	3,290,519
14	—	2,797,223
昭和1	—	2,981,931
2	—	2,585,416
3	—	2,131,932
4	—	2,296,514
5	—	2,054,356

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣 名	數量	價 額
栃 木	—	40,000圓
埼 玉	—	120,000
東 京	—	1,159,713
神奈川	—	49,251
靜 岡	—	220,000
京 都	—	116,930
大 阪	—	375,150

合にのみ輸入されるに過ぎない。

◎輸入品と國産品の優劣

品質に於ては國産品優良にして、就中佐倉金庫店製オールスチール金庫の如きは品質、體裁、耐久力その他凡ゆる點に於て外國製高級品を凌駕し、而も輸入品に比して遙かに廉價である。

◎輸入防止の主要處置

需要者が舶來品崇拜の念を去り、優良國産品の愛用に努めることが最も肝要である。

二九一、金銭登録器及計算器類

金銭登録器即ちキヤツシユレジスタは、自働的に金銭出納の登録をなす精巧なる機械にして、構造の大小に種類多きも普通は把手式登録器である。

計算器は所要の鈕を押して隨意に加減乗除を爲し得る構造の器具にして、形狀及大小等種々ある。

◎輸入税率

價額に對する二五%。

◎主要生産者

- 江東貿易株式會社機械部(東京)
- タイガー計算機製作所(大阪)

◎主要輸入者

- 三井物産株式會社 (東京)
- 米國貿易株式會社 (〃)
- シーベルヘグナー商會 (〃)
- 中川金庫店 (〃)
- 伴商店 (〃)
- タイガー計算機製作所 (大阪)

◎外國競争者

- ナショナル金銭登録器(米國製品)
- アメリカン金銭登録器(〃)

年次	國 産 額	輸 入 額
	數量	價 額
大正10	—	1,197,849圓
11	—	312,988
12	—	210
13	—	138,514
14	—	296,430
昭和1	—	421,685
2	—	299,541
3	—	759,336
4	—	856,295
5	—	877,457

(製圖器を含む)

主要國別輸入額(昭和三年)

國 名	數量	價 額
關 東 州	—	1千圓
英 吉 利	—	15
獨 逸	—	501
瑞 西	—	1
和 蘭	—	64
瑞 典	—	31
北 米	—	891

◎輸入の主要原因

國産品中には輸入品に比して遜色なき優良品もあるが、極く一少部分に過ぎずして大部分は外國製に及ばず、且つ需要者が専ら舶來品を優良視して國産品を顧みざる傾向あるため、國産振はず、依然として供給不足を告ぐるが故に輸入さる。

◎輸入品と國産品の優劣

輸入品は精巧緻密にして使用し易く、且つ故障を生ずる憂ひが少ない國産品中にも極く少數の優良品はあるが概して輸入品に及ばない。但し價格は國産品が低廉である。

◎輸入防止の主要處置

關稅を高率に引上げて内地に於ける生産者を消極的に保護すると共に需要者に國産愛用の精神を發揮させることが肝要である。

二九二、タイプライター

タイプライターは普通歐文タイプライターと邦文タイプライターの二種であるが、特殊なるものに假名文字タイプライター即ち假名のみのものである。邦文及歐文タイプライターは廣く一般に使用され、假名文字タイプライターは専ら電信用として使用される。

◎輸入税率

一〇〇斤に付——九四圓。

◎主要生産者

日本タイプライター株式会社(東京)
 東洋タイプライター株式会社(シ)
 大谷タイプライター営業所(シ)
 合名會社稻岡商店(シ)
 但し前記三社は何れも邦文タイプライターのみを製作し、稻岡商店は専ら歐文タイプライターの部分品を製造するに過ぎずして、輸入品即ち歐文タイプライターの生産者ではない。

◎主要輸入者

三井物産株式会社(東京)
 (レミントン式タイプライター)

主要國別輸入額(昭和三年)

國名	數量	價額	輸入數量	輸入價額
獨逸	—	5千圓	大正10	48,155斤 254,768圓
英吉	—	1	11	54,700 295,078
北米	—	332	12	100,598 483,512
			13	108,158 544,329
			14	47,802 275,959
			昭和1	— 452,255
			2	— 376,235
			3	— 341,302
			4	— 263,614
			5	— 203,384

◎外國競争者

黒澤商店(東京)
 (LCスミス式タイプライター)
 日本事務器商會(シ)
 (アンダーウッド式タイプライター)
 合名會社稻岡商店(シ)
 丸善株式會社(シ)
 ドットウエル商會(神戸)

◎輸入の主要原因

本邦に於けるタイプライター製造は比較的近年にして、而も専ら本邦向き即ち漢字と和字を取交ぜたるもの、及び支那輸出向きの漢字のみのタイプライター(日本タイプライター株式會社製華式打字機の類)にして歐文タイプライターは内地生産なきため輸入さる。
 又假名字タイプライターは假名のみに使要するものにして、假名の字

◎輸入品と國産品の優劣

輸入品は歐文タイプライター及假名字タイプライターのみ、國産品は邦文タイプライターのみにして、直ちに優劣を比較すること困難であるが、構造その他に於て大差なく、耐久力等に於ても殆んど優劣がない。

◎輸入防止の主要處置

歐文タイプライターと邦文タイプライターは夫々別個の需要者を有し邦文を以て歐文に代用せしめることは不可能である。故に内地に於て歐文タイプライターの生産なき現在に於ては、輸入を防止する必要は毫もないが、附屬品等の輸入に關しては關稅の引上其他を考慮すべきであらう。

二九三、珙瑯鐵器

珙瑯鐵器は普通鑄物珙瑯鐵器と薄物珙瑯鐵器の兩種に區別さる。前者は鑄物に珙瑯を施して焼成し、後者は薄鐵板及鋼板等に珙瑯を施したるものである。珙瑯の原料としては硝

入額	價額
—	—
—	—
—	—
244,764圓	—
136,965	—
126,549	—
133,513	—
137,263	—
96,504	—
80,216	—

額(昭和三年)	價額
—	92千圓
—	24
—	9
—	11
—	—
—	—

◎主要輸入者

桑名珙瑯鐵器株式會社(三重)
 堺エナメル合名會社(堺)

株式會社十一屋商店(東京)

二九三、珙 瑯 鐵 器

珙瑯鐵器は普通鑄物珙瑯鐵器と薄物珙瑯鐵器の兩種に區別さる。前者は鑄物に珙瑯を施して焼成し、後者は薄鐵板及鋼板等に珙瑯を施したるものである。珙瑯の原料としては硝子粉、曹達、硼砂、硝石、粘土等が用ひられ、割合の割合は一定でないが、普通硝子粉一三〇に對し曹達二〇、硼砂一二の割合に混合す。製品には洗面器、鍋等の庖厨具を始めとし種類頗る多し。

◎輸入税率

一〇〇斤に付——二三圓。

◎主要生産者

- 清洲商店 (東京)
- 日本エナメル株式会社 (大阪)
- 大阪珙瑯株式会社
- 伊藤珙瑯株式会社
- 協和珙瑯工場
- 岡本珙瑯鐵器製造所
- 合資會社榮屋商店
- 株式會社河野製作所
- 合資會社宮崎商店
- 東亞エナメル株式会社 (神戸)
- 三重珙瑯株式会社 (三重)

年次	國 産 額		輸 入 額	
	數量	價 額	數量	價 額
大正10	—	6,690,978圓	—	—
11	—	7,141,031	—	—
12	—	7,249,572	—	—
13	—	8,657,645	327,464斤	244,764圓
14	—	9,920,415	205,059	136,965
昭和1	—	9,028,755	185,965	126,549
2	—	7,097,221	192,054	133,513
3	—	8,814,871	216,538	137,263
4	—	8,927,642	132,549	96,504
5	—	9,012,587	121,269	80,216

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣 名	數量	價 額
東 京	—	456,423圓
東 岐	—	84,825
愛 知	—	80,568
三 重	—	506,846
大 阪	—	6,824,352
兵 庫	—	689,291
德 島	—	30,600
福 岡	—	131,922

主要國別輸入額(昭和三年)

國 名	數量	價 額
北 米	1,471擔	92千圓
英 吉	285	24
瑞 典	138	9
獨 逸	156	11
瑞 西	2	—
佛 蘭 西	1	—

◎輸入の主要原因

本邦に於けるタイプライター製造は比較的近年にして、而も専ら本邦向き即ち漢字と和字を取交ぜたるもの、及び支那輸出向きの漢字のみのタイプライター(日本タイプライター株式會社製華式打字機の類)にして歐文タイプライターは内地生産なきため輸入さる。又假名字タイプライターは假名の字みを使要するものにして、假名の字

◎輸入防止の主要處置

歐文タイプライターと邦文タイプライターは夫々別個の需要者を有し邦文を以て歐文に代用せしめることは不可能である。故に内地に於て歐文タイプライターの生産なき現在に於ては、輸入を防止する必要は毫もないが、附屬品等の輸入に關しては關稅の引上其他を考慮すべきであらう。

◎主要輸入者

- 桑名珙瑯鐵器株式会社 (三重)
- 堺エナメル合名會社 (堺)
- 株式會社十一屋商店 (東京)

◎外國競争者

- コツカム・エナメル會社(瑞典)
- ワツパーマンエナメル會社(獨逸)
- アメリカン・エナメル會社(米國)

◎輸入の主要原因

本品の國産額は國內需要を充して尙ほ過剩あり、支那その他へ輸出されつゝある。従つて輸入品は内地に於て生産されざる特殊型のもの、又は特殊鐵板を用ひたるもの等にして現今に於ては輸入額逐年減少の傾向である。

◎輸入品と國産品の優劣

品質に於ては寧ろ國産品が優良であるが、概して高價である。

◎輸入防止の主要處置

現今特殊品が僅少輸入されるに過ぎざるを以て、防止の必要なし。

主要國別輸入額(昭和三年)

國 名	數量	價 額
獨逸	—	5千圓
英 吉	—	1
北 米	—	332

(シ)

中に優劣を比較すること困難であるが、構造その他に於て大差なく、耐久力等に於ても殆んど優劣がない。

二九四、懷中時計及同部分品

懷中時計は外側金屬の種類及び内部機械の構造に依り種類頗る多く、形状、大小等も亦種々あるが、普通外側には白金、金、銀、ニッケル、クロム、鋼鐵、眞鍮又は貴金屬鍍金が用ひられ、構造の主要部分には車輪整列装置、撥條、鬚撥條、文字板、テンプ、指針、車輪及車軸等の各部分品である。

輸入の大部分は各種部分品にして時計の輸入は部分品の約一割内外に過ぎない。

◎輸入税率

- (一) 金側又は白金側時計は一箇に付一〇圓五〇錢乃至一五圓九〇錢。
 - (二) 銀側又は鍍金側時計は一箇に付一圓二〇錢乃至二圓六〇錢。
 - (三) 其他は一箇に付一圓〇五錢乃至二圓三五錢。
 - (四) 金製又は白金製時計外側は一箇に付一〇圓乃至一五圓。
- (部分品及詳細規定略す)

◎主要生産者

精工舎 (東京)
尙工舎 (〃)

	國 産 額		輸 入 額	
	數量	價 額	數量	價 額
大正10	48,172個	505,397圓	667,766個	6,132,651圓
11	277,202	2,622,498	956,313	8,822,903
12	17,048	72,423	682,466	5,651,484
13	329,784	1,209,493	1,575,114	12,939,234
14	28,003	202,482	984,710	9,055,251
昭和1	399,566	1,928,334	144,798	9,530,358
2	104,771	976,043	61,649	7,274,834
3	78,097	866,169	50,681	7,903,129
4	85,642	965,214	61,579	7,262,464
5	98,245	1,015,369	43,401	4,963,056

(腕時計を含む)

主要府縣別生産額(昭和四年)

縣 名	數量	價 額
東 京	77,497個	857,169圓
大 阪	600	9,000

主要國別輸入額(昭和三年)

國 名	數量	價 額
英 吉 利	49個	31千圓
佛 蘭 西	7	6
獨 逸	118	8
伊 太 利	103	6
瑞 西	40,290	7,005
北 米	9,852	769

村松時計製作所 (東京)
此の外多數あるも多くは外國より機械を輸入し組立て、販賣するものである。

◎主要輸入者

服部時計店 (東京)
天賞堂 (〃)
山崎商店 (〃)
玉屋商店 (〃)
小林商店 (〃)
吉田商店 (〃)

◎外國競争者

モリス、タバコ、ナルダン、ロンドン、モバート、オメガ、ゼニツト(以上瑞西製品)、ウォルサム、エルデン、オリオン、ジエベニヤ、インターナショナル(以上米國製)

◎輸入品と國産品の優劣

概して大差なきも、高級精巧品は尙ほ輸入品に及ばざるもの多し。

◎輸入防止の主要處置

各種部分品の内地生産を振興し、關稅式上をなす事が肝要である。

二九五、置時計・掛時計及電氣時計

置時計及掛時計は、共に構造上輪振時計と下げ振時計の二種に大別される。外匣は金屬製、木製、硝子製、石製等種々あり、形状も亦圓形、長方形、六角形其他一様でない。電氣

入 額	價 額
477,865圓	
492,579	
652,063	
2,416,664	
522,221	
548,661	
561,182	
628,090	
616,735	
434,198	

額(昭和三年)

價 額
2千圓
10
41
433
59
1
76

◎主要輸入者

株式會社阿部電氣時計製作所 (東京)
愛知電氣時計製造株式會社 (名古屋)

二九五、置時計・掛時計及電気時計

置時計及掛時計は、共に構造上輪振時計と下げ振時計の二種に大別される。外匣は金屬製、木製、硝子製、石製等種々あり、形状も亦圓形、長方形、六角形其他一様でない。電気時計も亦形状及構造上各種ある。

◎輸入税率

掛時計及置時計は價額の四〇%。
電気時計は同三五%。
(部分品の詳細税率略す)

◎主要生産者

- (置時計及掛時計)
- 精工舎 (東京)
 - 英工舎 (東京)
 - 東京時計製造株式会社 (東京)
 - 東洋時計製造所 (東京)
 - 村松時計製作所 (名古屋)
 - 愛知時計株式会社 (名古屋)
 - 尾張時計株式会社 (名古屋)
 - 合資會社高野時計製造所 (名古屋)
 - 名古屋商事株式会社 (名古屋)
 - 明治時計製造合資會社 (大阪)
 - タイム時計製造株式会社 (大阪)
 - (電気時計)
 - 株式會社東京計器製作所 (東京)

	國 産 額		輸 入 額	
	數量	價 額	數量	價 額
大正10	213,113個	2,040,286圓	—	477,865圓
11	1,227,049	4,681,778	—	492,579
12	665,105	3,541,805	—	652,063
13	725,595	4,143,294	—	2,416,664
14	1,128,358	4,688,193	—	522,221
昭和 1	1,421,776	6,298,874	—	548,661
2	1,670,006	5,456,862	—	561,182
3	1,561,015	5,219,525	—	628,090
4	1,588,296	5,124,685	—	616,735
5	1,663,245	5,255,173	—	434,198

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣 名	數量	價 額
東 京	914,352個	2,146,196圓
愛 知	645,793	3,062,656
大 阪	870	10,673

主要國別輸入額(昭和三年)

國 名	數量	價 額
關 東 州	—	2千圓
英 吉 利	—	10
佛 蘭 西	—	41
獨 逸	—	433
瑞 西	—	59
和 蘭	—	1
北 米	—	76

◎主要生産者

- 精工舎 (東京)
- 尙工舎 (東京)

- (一) 金側又は白金側時計は一箇に付一〇圓五〇錢乃至一五圓九〇錢。
- (二) 銀側又は鍍金側時計は一箇に付一圓二〇錢乃至二圓六〇錢。
- (三) 其他は一箇に付一圓〇五錢乃至二圓三五錢。
- (四) 金製又は白金製時計外側は一箇に付一〇圓乃至一五圓。
- (部分品及詳細規定略す)

	國 産 額	
	數量	價 額
大正10	48,172個	505,397圓
11	277,202	2,622,498
12	17,048	72,423
13	329,784	1,209,493
14	28,003	202,482
昭和 1	399,566	1,928,334
2	104,771	976,043
3	78,097	866,169
4	85,642	965,214
5	98,245	1,015,369

(腕時計を含む)

主要府縣別生産額(昭和四年)

縣 名	數量	價 額
東 京	77,497個	857,169圓
大 阪	600	9,000

◎輸入品と國産品の優劣

概して大差なきも、高級精巧品は尙ほ輸入品に及ばざるもの多し。

◎輸入防止の主要處置

各種部分品の内地生産を振興し、關稅式上をなす事が肝要である。

株式會社阿部電気時計製作所 (東京)

愛知電気時計製造株式会社 (名古屋)

◎主要輸入者

- 服部時計店 (東京)
- 天賞堂 (東京)
- 金森商店 (東京)
- 大倉商事株式会社 (東京)

◎外國競争者

- キンツレ會社 (獨逸)
- ユングハウス會社 (獨逸)
- アンリニヤ會社 (米國)
- ウオータベリ會社 (米國)
- ニューヘブン會社 (米國)
- シーメンス・ハルスケ會社 (獨逸)

◎輸入の主要原因

電気時計は國産少きため、其他は特殊高級品のみ輸入さる。

◎輸入品と國産品の優劣

品質に於ては輸入品と大差なし。

◎輸入防止の主要處置

撥條その他の部分品製造の向上を図ることが最も急務である。

モリス、タバコ、ナルダン、ロンドン、モバート、オメガ、ゼニツト(以上瑞西製品) ウオルサム、エルデン、オリオン、ジエベニヤ、インターナショナル(以上米國製)

二九六、顯微鏡

顯微鏡には單顯微鏡と複顯微鏡の兩種がある。複顯微鏡は構造頗る複雑にして、眞鍮製圓筒に嵌入せる二組のレンズ、鏡筒、載物臺、調節器遮光器、反射鏡、支柱、臺脚等の各部より成る。尙ほ特殊なるものとしては微分子顯微鏡、金相學用顯微鏡偏光顯微鏡等の各種がある。

◎輸入税率

價額に對する二〇%。

◎主要生産者

株式會社高千穂製作所 (東京)

◎主要輸入者

三共株式會社 (東京)
 シュミット商店 (シ)
 いわしや(岸本商店) (シ)
 アーサーバクネー商會 (シ)
 カールツアイス商會 (神戸)
 宇都宮商店 (大阪)

◎外國競争者

輸入品の主たるもの左の如し。
 カールツアイス (獨逸製品)
 ライツザイベルト (シ)

主要國別輸額入(昭和三年)

國名	數量	價額
州西逸義利米	—	1千圓
東蘭	—	1
佛獨白填北	—	319
耳地	—	4
	—	11
	—	2

輸入額

年	數量	價額
大正10	—	—圓
11	—	—
12	—	—
13	—	956,788
14	—	492,148
昭和1	—	567,038
2	—	463,816
3	—	342,988
4	—	456,600
5	—	324,069

輸入額

價額
225,598圓
146,688
100,851
303,354
214,522
235,268
212,324
189,654
165,299
154,865

二九七、度量器

度量器即ち尺度類には其の種類頗る多し。直尺及曲尺は長さを計るに用ひられ木、竹、象牙、セルロイド、金屬等を以て製す。卷尺は革製、紙製、金屬製等ありて主として距離を

額(昭和三年)

價額
97千圓
28
36
5
21
6

スタインゾルフ (獨逸製品)
 ヒムレル (シ)
 ヘルゾルト (シ)
 ブツシユ (シ)
 ウキンクル (シ)
 ライヘルト (獨逸製品)
 ワットソント (英國製品)
 ポツシユ (米國製品)
 ロンプ (シ)
 スペンサー (シ)
 クラウス (シ)

◎輸入の主要原因

(一)需要者は品質の良否を判別する智識に乏しきため、多年輸入され定評ある獨逸産品及び其他の外國産品を安信する傾向ある事。
 (二)需要者の大部分は官廳及學校にして、進んで國産品を愛用する決斷力に乏しく、價格の如きは念頭に置かずして専ら外國産品を購入する事。
 (三)醫者、學者等は國産安價品を使用することは其の權威を損するかの觀念を持する者尠ならず、又一種の虚榮心より高級輸入品を使用する者多き事。

◎輸入品と國産品の優劣

(四)外國生産者及輸入業者が外國品を宣傳したる結果、一般に外國品優良なりとの觀念根強き事。
 (五)顯微鏡の生命とする高級レンズは現在に於ても優良國産品尠き事等が主たるものである。

◎輸入防止の主要處置

需要者自身が徒らに舶來品尊重の弊風を矯め、國産品と雖も廉價優秀なるものは進んで購入するに努める事、政府が國産品の使用を奨励し内地生産なき特殊高級品以外に對しては高率の輸入税を課し、以て一般品の輸入を根絶する事、等が最も肝要なる處置である。

東京測量器株式會社 (東京)

内田幾次郎 (シ)

川口商店 (シ)

日本度量器株式會社 (大阪)

昭和度量器株式會社 (滋賀)

三條度量器株式會社 (新島)

◎主要輸入者

- 三共株式会社 (東京)
- シユミツト商店 (〳)
- いわしや(岸本商店) (〳)
- アーサーバクネー商會 (〳)
- カールツァイス商會 (神戸)
- 宇都宮商店 (大阪)

◎外國競争者

- 輸入品の主たるもの左の如し。
- カールツァイス (獨逸製品)
- ライツザイベルト (〳)

二九七、度

器

度器即ち尺度類には其の種類頗る多し。直尺及曲尺は長さを計るに用ひられ木、竹、象牙、セルロイド、金屬等を以て製す。卷尺は革製、紙製、金屬製等ありて主として距離を計るに用ひられ、分度器は角度を計るに用ひらる。此の外水準器、計算尺、液體容量計算器、デブスゲージ、リミットゲージ、スケアーゲージ、サーフエースプレート、ストリートエツヂ、ワイヤーゲージ等その種類頗る多し。

◎輸入税率

木製は一〇〇斤に付六二圓四〇錢
金屬製は價格に對する一五%。
布線製は一〇〇斤に付二二九圓。
其他は價額に對する二〇%。

◎主要生産者

- 勝間計器製作所 (東京)
- 富士工業株式會社 (〳)
- 日本金錢登録機會社 (〳)
- 鴨下龜之助 (〳)
- 渡邊製作所 (〳)
- 宗谷定吉 (〳)
- 桑原四郎 (〳)

	國 産 額		輸 入 額	
	數量	價 額	數量	價 額
大正10	3,207,132個	831,743圓	—	225,598圓
11	3,048,314	678,152	—	146,688
12	3,193,095	1,042,400	—	100,851
13	4,911,762	762,926	—	303,354
14	4,245,611	713,188	—	214,522
昭和1	5,910,609	806,309	—	235,268
2	4,363,998	1,371,711	—	212,324
3	7,870,272	1,150,881	—	189,654
4	7,454,969	1,054,368	—	165,299
5	7,949,867	1,287,267	—	154,865

	輸 入 額	
	數量	價 額
大正10	—	—圓
11	—	—
12	—	—
13	—	956,788
14	—	492,148
昭和1	—	567,038
2	—	463,816
3	—	342,988
4	—	456,600
5	—	324,069

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣 名	數量	價 額
東 京	1,872,823個	434,785圓
神奈川	2,960,080	143,711
新 潟	325,474	163,725
靜 岡	566,102	39,018
滋 賀	887,022	105,592
大 阪	508,081	57,231
德 島	359,000	125,000

主要國別輸入額(昭和三年)

國 名	數量	價 額
北 米	—	97千圓
獨 逸	—	28
英 吉 利	—	36
瑞 典	—	5
瑞 西	—	21
佛 蘭 西	—	6

智識に乏しきため、多年輸入されて定評ある獨逸產品及び其他の外國品を妄信する傾向ある事。
(二)需要者の大部分は官廳及學校にして、進んで國産品を愛用する決斷力に乏しく、價格の如きは念頭に置かずして専ら外國品を購入する事。
(三)醫者、學者等は國産安價品を使用することは其の權威を損するかの觀念を持する者尠ならず、又一種の虛榮心より高級輸入品を使用する者多き事。

◎輸入防止の主要處置

需要者自身が徒らに舶來品尊重の弊風を矯め、國産品と雖も廉價優秀なるものは進んで購入するに努める事、政府が國産品の使用を奨励し内地生産なき特殊高級品以外に對しては高率の輸入税を課し、以て一般品の輸入を根絶する事、等が最も肝要なる處置である。

◎主要輸入者

- 東京測量器株式會社 (東京)
- 内田幾次郎 (〳)
- 川口商店 (〳)
- 日本度器株式會社 (大阪)
- 昭和度器株式會社 (滋賀)
- 三條度器株式會社 (新潟)
- 藤田勝商店 (東京)
- ホーン株式會社 (〳)
- 新居常七商店 (〳)

◎外國競争者

- フリードリツヒデツケル會社(獨)
- スターレット會社 (米)

◎輸入の主要原因

外國製特殊品は耐久力に富む爲め需要者多きに基く。

◎輸入品と國産品の優劣

特殊なるものを除けば、國産品が寧ろ優良にして廉價である。

◎輸入防止の主要處置

輸入税引上に依つて内地生産者を間接に保護するを急務とす。

二九八、量

器

量器は水、酒、油その他の液體用とに、二大別され、普通木製の楯であるが、その他硝子製、金屬製等もある。大きさは大小種々あり、形状も亦方形、圓形等各種ある。

◎輸入税率

一箇一〇疋以下のものは一〇〇斤に付五六圓七〇錢。
同五〇疋以下は三二圓三〇錢。
同一〇〇疋以下は同二三圓八〇錢
其他は同一一圓九〇錢。

◎主要生産者

- (硝子製量器) 東京量器製造合名會社 (東京) 齋藤熊三郎商店 (〃) 離合社 (〃) 白井度量衡器製作所 (大阪) 松永徳藏商店 (〃) (木製量器—主として楯) 城塚源藏商店 (東京) 榎本廣三郎 (大阪) 大阪澁谷商事合資會社 (〃) (金屬製量器—主として楯) 城塚源藏商店 (東京)

國産額		輸入額	
數量	價額	數量	價額
大正10	486,815個	—斤	—圓
11	714,932	—	—
12	629,892	238,252	626,444
13	840,466	88,372	177,594
14	945,017	79,654	156,298
昭和1	571,651	73,214	143,223
2	682,173	78,546	158,294
3	644,916	87,569	171,324
4	675,548	32,496	76,543
5	698,262	36,541	81,296

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
福島	38,036個	26,515圓
東京	89,469	417,284
岐阜	26,800	32,200
愛知	149,799	78,329
三重	39,273	31,547
大阪	164,227	42,525

主要國別輸入額(昭和三年)

國名	數量	價額
獨逸	551擔	126千圓
佛蘭西	23	7
英吉利	157	25
北米	9	2
瑞西	25	4
關東州	7	1

◎主要輸入者

木製及金屬製量器は殆んど輸入されず、硝子製量器は化學用その他學術研究用として輸入されるも、大部分需要者が必要の都度直接外國會社へ注文を發して輸入する程度に過ぎず、従つて本品の輸入取扱者として特掲すべきものなし。

◎外國競争者

前項の理由に依り、外國競争者と見做すべきものはないが、輸入品は大部分獨逸製品である。

◎輸入の主要原因

學術研究用に供せらるゝ硝子製量器は、特殊構造にして而も其の需要僅少なるため國內生産少なく、常に供給不足を告ぐる爲めである。

◎輸入品と國産品の優劣

普通に於ては品質上大差なし。

◎輸入防止の主要處置

現今に於ては、特に輸入を防止する必要なし。

二九九、衡

器

衡器即ち重量を秤るものには天秤桿秤、上皿桿秤、臺秤、自働秤等の各種がある。天秤は主として理化學用、調劑用に使われ、上皿桿秤は書籍、雜貨用等に供せられ、桿秤及

額	價額
—圓	—
—	—
174,360	—
150,595	—
146,289	—
148,294	—
152,165	—
113,549	—
8,529	—

價額
17千圓
123
15
1
1
2
1

◎外國競争者

- 日本度量衡株式會社 (東京)
- 横濱スケール株式會社 (横濱)
- ドリード商會 (東京)

◎主要生産者

- (硝子製量器) 東京量器製造合名會社 (東京)
- 齋藤熊三郎商店 (東京)
- 離合社 (東京)
- 白井度量衡器製作所 (大阪)
- 松永徳藏商店 (東京)
- (木製量器—主として枱) 城塚源藏商店 (東京)
- 榎本廣三郎 (大阪)
- 大阪澁谷商事合資會社 (東京)
- (金屬製量器—主として枱) 城塚源藏商店 (東京)

國産額

	數量	價額
大正10	486,815個	433,639圓
11	714,932	492,736
12	629,892	438,559
13	840,466	735,865
14	945,017	499,039
昭和1	571,651	363,948
2	682,173	807,119
3	644,916	714,147
4	675,548	798,464
5	698,262	803,207

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
福島	38,036個	26,515圓
東京	89,469	417,284
岐阜	26,800	32,200
愛知	149,799	78,329
三重	39,273	31,547
大阪	164,227	42,525

◎輸入の主要原因

學術研究用に供せらるゝ硝子製量器は、特殊構造にして而も其の需要僅少なるため國內生産少く、常に供給不足を告ぐる爲めである。

◎輸入品と國産品の優劣

普通に於ては品質上大差なし。

◎輸入防止の主要處置

現今に於ては、特に輸入を防止する必要なし。

二九九、衡器

器

衡器即ち重量を秤るものには天秤桿秤、上皿桿秤、臺秤、自働秤等の各種がある。天秤は主として理化學用、調劑用に使用され、上皿桿秤は書籍、雜貨用等に供せられ、桿秤及臺秤は最も一般的に用ひらる。此の外鐵道貨物其他數噸の重きものを秤るにはウエーブリツヂと稱する固定式巨大なる臺秤が用ひらる。

◎輸入税率

臺秤は價額に對する一五%。其他は同一%。部分品及錘は同一五%。

◎主要生産者

- 守谷製衡所 (東京)
- 佐藤製衡所 (東京)
- 守隨製衡所 (東京)
- 大正製作株式會社 (東京)
- 白井度量衡製作所 (大阪)
- 井内 太平 (大阪)
- 久保田權四郎 (大阪)
- 島津製作所 (大阪)
- ◎主要輸入者 田中商事株式會社 (東京)

輸入額

	數量	價額		數量	價額
大正10	564,485個	2,487,932圓	—	—圓
11	719,051	2,695,524	—	—
12	584,944	2,400,397	—	—
13	1,149,004	3,529,318	—	174,360
14	974,299	3,493,156	—	150,595
昭和1	1,103,245	4,782,282	—	146,289
2	896,442	3,224,781	—	148,294
3	879,030	3,210,425	—	152,165
4	886,454	3,321,697	—	113,549
5	868,653	3,112,050	—	8,529

主要國別輸入額(昭和三年)

縣名	數量	價額	國名	數量	價額
東京	97,934個	1,440,114圓	北米	—	17千圓
京都	27,277	95,153	獨逸	—	123
大阪	297,665	633,708	英吉利	—	15
兵庫	19,672	189,284	瑞西	—	1
山口	60,684	71,688	關東州	—	1
香川	24,714	73,367	佛蘭西	—	2
福岡	31,088	64,209	伊太利	—	1

◎外國競争者

獨逸及米國産品にして、獨逸産品は天秤を主とし米國産品は桿秤及自働秤等が大部分である。

◎輸入の主要原因

衡器は各種類共に殆んど輸入の必要なく、國産品を以て國內需要を充すに充分であるが、外國人經營の會社工場に於ては多く自國製品を使用し、又本邦人にも因襲的に外國品を需要する者ある爲めに輸入さる。

◎輸入品と國産品の優劣

臺秤は概して國産品が優良であるが、其他の各種に於ては殆んど優劣なく、價格は關稅等の關係上國産品が廉價である。

◎輸入防止の主要處置

現今に於ては殆んど輸入防止の目的を達し、特殊の場合輸入されるに過ぎざるを以て、其の必要なし。

三〇〇、瓦斯計

瓦斯計は其の構造に依つてウェットメーター、ドライメーター及びピロメーターの三種に區別され又使用の目的に依つて瓦斯製造所用總計量器、引家用小計量器、試験用計量器の三種に分類さる。引家用小計量器は瓦斯を使用する各家庭に備付使用瓦斯量を指針盤に表示する所謂瓦斯メーターである。

◎輸入税率

一個一〇疋以下のものは一〇〇斤に付三一圓四〇錢。
同五〇〇疋以下は同一五圓。
同一千疋以下は同九圓。
同一萬疋以下は同六圓。

◎主要生産者

品川製作所 (東京)
金門 商會 ()
園池製作所 ()

◎主要輸入者

三井物産株式会社 (東京)
東京瓦斯株式会社 ()
大阪瓦斯株式会社 (大阪)

	國 産 額		輸 入 額	
	數量	價 額	數量	價 額
大正10	—個	1,021,904圓	—斤	—圓
11	—	1,188,951	—	—
12	16,618	230,725	—	—
13	56,297	1,644,569	906,575	1,766,918
14	46,757	1,462,095	251,884	429,626
昭和 1	30,146	397,736	256,996	459,298
2	150,947	3,353,941	287,293	512,486
3	109,237	1,791,125	258,232	466,813
4	128,546	1,956,007	254,164	432,498
5	129,044	1,879,465	312,298	541,236

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣 名	數量	價 額
東 京	54,000個	945,000圓
愛 知	23,374	356,508
京 都	10,000	190,000
大 阪	21,863	299,617

主要國別輸入額(昭和三年)

國 名	數量	價 額
英 吉 利	—	156,235圓
獨 逸	—	77,163
北 米	—	190,523
瑞 西	—	565
丁 抹	—	234
佛 蘭 西	—	162
伊 太 利	—	180

◎外國競争者

ブラトツク (英國製品)
トーマス ()
パーキンソン ()
メークランド (米國製品)
クロームス (獨逸製品)

◎輸入の主要原因

本品の國內生産少く、且つ需要は専ら瓦斯會社のみにして、一般的需要なき爲め生産振はざる爲め往時は英、米、獨逸等より盛んに輸入されたが、現今に於ては各瓦斯會社共充實し、且つ略々内地生産を以て需要を充し得るに至りしたため、輸入は漸減しつつある。

◎輸入品と國産品の優劣

材料及製作技術に於ては殆んど優劣を認めないが、外國品は製法緻密精巧にして狂ひを生じ難き點に於て聊か國産品に優る。

◎輸入防止の主要措置

内地の生産増加を圖れば輸入は自ら根絶すべし。

三〇一、水量計

水量計は通水管より流出する水量を計るために使用されるものにして種類多きも最も需要多きは水道用水量器である又水道用の中最も多く使

額	價 額
—圓	—
—	—
—	—
626,444	—
62,961	—
65,238	—
67,148	—
71,549	—
62,238	—
45,294	—

昭和三年)

價 額
55,236圓
6,168
3,214
1,523

◎外國競争者

マイネツケ會社 (獨逸)

範多 商店 (大阪)

同五〇〇疋以下は同一五圓。
同一千疋以下は同九圓。
同一萬疋以下は同六圓。

◎主要生産者

品川製作所 (東京)
金門 商會 (シ)
園池製作所 (シ)

◎主要輸入者

三井物産株式会社 (東京)
東京瓦斯株式会社 (シ)
大阪瓦斯株式会社 (大阪)

國 産 額

年次	數量	價 額
大正10	—個	1,021,904圓
11	—	1,188,951
12	16,618	230,725
13	56,297	1,644,569
14	46,757	1,462,095
昭和1	30,146	397,736
2	150,947	3,353,941
3	109,237	1,791,125
4	128,546	1,956,007
5	129,044	1,879,465

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣 名	數量	價 額
東 京	54,000個	945,000圓
愛 知	23,374	356,508
京 都	10,000	190,000
大 阪	21,863	299,617

◎輸入品と國産品の優劣

材料及製作技術に於ては殆んど優劣を認めないが、外國品は製法緻密精巧にして狂ひを生じ難き點に於て聊か國産品に優る。

◎輸入防止の主要措置

内地の生産増加を圖れば輸入は自ら根絶すべし。

三〇一、水 量 計

水量計は通水管より流出する水量を計るために使用されるものにして種類多きも最も需要多きは水道用水量器である又水道用の中最も多く使用されるファンホキール水量計にして、其の受動部にはニツケル、エボナイト或はアルミニウム製の翼車あり、齒車に依つて通過水量を指針面に表示する装置である。此の外デスタ水量計、ピストン水量計等の各種がある。

◎輸入税率

一箇一〇疋以下のものは一〇〇斤に付五六圓七〇錢。
同五〇疋以下は同三二圓三〇錢。
同一〇〇疋以下は同二三圓八〇錢
其他は同一一圓九〇錢。

◎主要生産者

株式会社芦田工業所 (東京)
株式会社大阪機械工作所(大阪)

◎主要輸入者

富士電機製造株式会社 (川崎)
イリス商會 (東京)
大倉商事株式会社 (シ)

國 産 額 輸 入 額

年次	數量	價 額	數量	價 額
大正10	—個	—圓	—斤	—圓
11	—	—	—	—
12	47,265	89,769	—	—
13	395,046	1,008,296	238,252	626,444
14	49,690	407,451	25,541	62,961
昭和1	63,878	512,435	27,186	65,238
2	54,120	59,500	27,895	67,148
3	100,349	844,780	29,921	71,549
4	123,564	911,055	25,954	62,238
5	126,500	914,497	21,236	45,294

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣 名	數量	價 額
東 京	64,349個	520,780圓
大 阪	36,000	324,000

主要國別輸入額(昭和三年)

國 名	數量	價 額
獨 逸	—	55,236圓
佛 蘭 西	—	6,168
英 吉 利	—	3,214
北 米	—	1,523

◎外國競争者

マイネツケ會社 (獨逸)
シーメンス・シュケルト會社(シ)
カール・ウインド・レー會社(シ)
プレスローエル會社 (シ)
ポツプ・ウインド・ロイテル會社(シ)

◎輸入の主要原因

本邦に輸入されるものは大部分獨逸産品にして、内地生産豊富なるに拘らず獨逸品が輸入される所以は主として價格關係に因る。即ち獨逸産就中シーメンスシュケルト會社製品は國産品に比して遙かに低廉なるが爲めである。

◎輸入品と國産品の優劣

國産品は品質に於て輸入品に劣らないが、生産規模の狭少その他の關係上輸入品よりも高價である。

◎輸入防止の主要措置

内地生産者が生産費の低下に努力すれば輸入は漸減すべく、是れが最急務と見られてゐる。

範多 商店 (大阪)

三〇二、寒暖計及體溫計

寒暖計にはアルコール寒暖計及び水銀寒暖計の兩種あり。又考案者の名を採りて攝氏寒暖計、華氏寒暖計及列氏寒暖計の三種あり、攝氏及華氏は最も普遍的に用ひらる。體溫計は専ら體溫を測るに用ひられ、一名檢溫器とも謂ふ。
此の外特殊なるものとして最高最低寒暖計、高溫度寒暖計、示變寒暖計、自記寒暖計等の各種がある。

◎輸入税率

- (一)寒暖計は價額に對する二〇%。
- (二)體溫計(二重管式)はケース共一斤に付二圓三〇錢。
- 其他の體溫計は同六圓六〇錢。

◎主要生産者

- (寒暖計)
- 東京計量器株式会社 (東京)
 - 東京計量器製造合資會社 (〃)
 - 東洋計器株式会社 (〃)
 - 日本計器製造株式会社 (〃)
 - 合資會社關東計量器製作所 (〃)
- (體溫計)
- 赤線檢溫器株式会社 (東京)
 - 勝間計器製作所 (〃)

年次	國産數量	國産額		輸入數量	輸入額	
		數量	價額		數量	價額
大正10	—	—	602,473圓	—	—圓	
11	—	—	457,230	—	—	
12	—	—	179,046	—	—	
13	—	—	986,085	—	580,987	
14	—	—	1,038,789	—	397,603	
昭和1	—	—	1,484,508	—	312,886	
2	—	—	1,069,946	—	289,513	
3	—	—	923,156	—	170,543	
4	—	—	1,012,348	—	158,296	
5	—	—	989,767	—	123,148	

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
東京	—	687,362圓
愛知	—	35,596
京都	—	94,600
大阪	—	49,098
山口	—	56,500

主要國別輸入額(昭和三年)

國名	數量	價額
北米	—	61,123
獨逸	—	45,783
佛蘭西	—	10,141
英吉利	—	12,564
瑞西	—	1,682
和蘭	—	239
瑞典	—	120

◎主要輸入者

- 合資會社岡本計量器製作所(東京)
- 東京電氣株式会社 (川崎)
- 玉屋 商店 (東京)
- 城塚 源藏 (〃)
- 長谷川榮太郎 (〃)
- 石坪房二郎 (〃)
- 岩本 藤吉 (〃)

◎外國競争者

- ライト體溫計 (獨逸製品)
- ヨーハー體溫計 (〃)
- ジール體溫計 (英國製品)

◎輸入の主要原因

輸入品は主として自記溫度計、隔側溫度計等の特殊品にして、是等は國産少きに因る。

◎輸入品と國産品の優劣

普通品に於ては寧ろ輸入品に優る

◎輸入防止の主要處置

特殊品の僅少輸入に過ぎざるを以て、特に防止の必要なし。

三〇三、電流計及電壓計

電流計即ちアンペアメーターは電流の強さを測定する器械にして、形状は圓形又は扇形が普通である。使用の目的に依つて電流作用に依るもの、電圧作用に依るもの及び電流電圧

(昭和三年)

價額
20千圓
58
6
193

- 東洋計器製作所 (東京)
- 株式會社芝浦製作所 (〃)
- 株式會社日立製作所 (〃)
- 共立電機電線株式會社 (〃)
- 三菱電機株式會社 (〃)

- ハルトマンウインドブラン會社(〃)
- イングリツシユ電氣會社(英國)
- エバアーシエツド會社 (〃)
- ケンブリツヂエンドポール社(〃)
- エベレットエツヂカンパ會社(〃)

(二)體溫計(二重管式)はケース共一斤に付二圓三〇錢。
 其他の體溫計は同六圓六〇錢。

◎主要生産者

- (寒暖計)
 東京計量器株式会社 (東京)
 東京計量器製造合資会社 (シ)
 東洋計器株式会社 (シ)
 日本計器製造株式会社 (シ)
 合資会社關東計量器製作所 (シ)
 (體溫計)
 赤線檢温器株式会社 (東京)
 勝間計器製作所 (シ)

三〇三、電流計及電壓計

電流計即ちアンペアメーターは電流の強さを測定する器械にして、形状は圓形又は扇形が普通である。使用の目的に依つて電流作用に依るもの、電力作用に依るもの及び電熱作用に依るもの三種に區別され、又電流作用に依るものは直流と交流に依つて相異なるものと、同一なるものがある。

電壓計即ちヴォルツメーターは電氣の壓力測定に使用するものにして、電壓の強弱、電流の直流支流等の別に依り夫々形状異なるものを用ふるも、構造はアンペアメーターと大同小異である。

◎輸入税率

一〇〇斤に付——一四八圓。

◎主要生産者

- 株式会社東京計器製作所(東京)
 株式会社芦田工業所 (大阪)
 株式会社横河電機製作所(東京)
 桑野電機製作所 (大阪)
 株式會社品川製作所 (東京)
 北辰電機製作所 (シ)
 荏原電機製作所 (シ)

國産額

年	數量	價額
大正10	—	602,473圓
11	—	457,230
12	—	179,046
13	—	986,085
14	—	1,038,789
昭和1	—	1,484,508
2	—	1,069,946
3	—	923,156
4	—	1,012,348
5	—	989,767

主要國別輸入額(昭和三年)

年	數量	價額	國名		數量	價額
			英吉利	獨逸		
大正10	—斤	—圓	英吉利	獨逸	15百斤	20千圓
11	—	—				58
12	—	—			53	6
13	42,248	516,171			10	193
14	17,694	271,876	西	瑞		
昭和1	38,113	436,144	北	米	127	
2	23,544	285,925				
3	20,638	280,309				
4	22,909	328,669				
5	16,944	215,931				

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
東京	—	687,362圓
愛知	—	35,596
京都	—	94,600
大阪	—	49,098
山口	—	56,500

- 東洋計器製作所 (東京)
 株式会社芝浦製作所 (シ)
 株式会社日立製作所 (シ)
 共立電機電線株式会社 (シ)
 三菱電機株式会社 (シ)

◎主要輸入者

- 三井物産株式会社 (東京)
 三菱商事株式会社 (シ)
 株式会社八洲商會 (シ)
 株式会社イリス商事會社 (シ)
 東京商業貿易株式会社 (シ)
 大倉商事株式会社 (シ)
 株式会社高田商會 (シ)
 アンドリウス商會 (シ)
 ヒーリング商會 (シ)
 富士電機製造株式会社 (シ)

◎外國競争者

- ウエストン電氣會社 (米國)
 ゼネラル電氣會社 (シ)
 サンガモ電氣會社 (シ)
 リーズ會社 (シ)
 ウエスチングハウス電氣會社(シ)
 ブラウンボベリー會社 (瑞西)
 アルゲマイネ電氣會社 (獨逸)
 シーメンスシユケルト會社(シ)

◎輸入の主要原因

輸入品は主として自記溫度計、隔側溫度計等の特殊品にして、是等は國産少きに因る。

◎輸入品と國産品の優劣

普通品に於ては寧ろ輸入品に優る

◎輸入防止の主要處置

特殊品の僅少輸入に過ぎざるを以て、特に防止の必要なし。

◎輸入の主要原因

本品の最も正確なることを必須條件とせるため製作に特別の技量經驗を必要とし、本邦に於ては極微電量の測定に適する精巧なるものは生産少きためである。

◎輸入品と國産品の優劣

國産品は普通品に於ては殆んど輸入に劣らず、價格は輸入品よりも低廉であるが、高級精巧品に於ては正確度、耐久力等に於て尙ほ輸入品に及ばない。

◎輸入防止の主要處置

内地に於ける生産を盛んならしむるため、關稅引上げ、研究費下附等適當の措置を構じて優良生産者を保護することが急務である。

三〇四、電力計

電力計即ちワットメーターは電力の測定器にして、指示電力計、自記電力計、及び積算電力計の三種がある。指示電力計は電力の瞬時値を指示する器機にして、構造上に於ては各種類があるが形状はアンペアメーター、及びボルトメーターと略同様にして、主要部分には固定線輪及び可動線輪である。自記電力計は指示電力計に一步を進め、電力を度盛り面に記録せる装置のものである。又積算電力計即ちワットアワーメーターは、一定の時間内に供給する電力量を計る器機である。

◎輸入税率

一〇〇斤に付——五二圓三〇銭。

◎主要生産者

- 東京電氣株式会社 (東京)
- 日本電氣株式会社 (〃)
- 株式会社横河電氣製作所 (〃)
- 株式会社東京計器製作所 (〃)
- 共立電氣電線株式会社 (〃)
- 株式会社芦田工業所 (大阪)
- 桑野電機製作所 (〃)
- しじま屋電機製作所 (〃)

主要國別輸入額(昭和三年)

輸入額		主要國別輸入額	
數量	價額	國名	價額
大正10	153,843斤	5百斤	2千圓
11	531,905	3	2
12	483,415	1,307	374
13	1,712,328	1,183	208
14	895,678	143	105
昭和1	292,601		
2	294,512		
3	264,121		
4	384,855		
5	163,499		

◎主要輸入者

- 三井物産株式会社 (東京)
- 富士電機製造株式会社 (〃)
- 三菱商事株式会社 (〃)
- 大倉商株式會社 (〃)
- 株式會社イリス商會 (〃)
- 芝田工業所 (〃)
- 株式會社高田商會 (〃)
- 株式會社荻田工業所 (大阪)
- 大阪電機工業所 (〃)

◎外國競争者

- アルゲマイネ電氣會社 (獨逸)
- サンガモ電氣會社 (〃)
- シーメンズシユケルト會社 (〃)
- ゼネラル電氣會社 (米國)
- ウエストン電氣會社 (〃)
- ウエストン電氣會社 (〃)
- リーズエンドノースラップ社 (〃)
- ブラウンボベリー會社 (瑞西)
- ランデス會社 (〃)
- フエランチ會社 (英國)
- イングリツシユ電氣會社 (〃)
- ブリテツシユトムソン會社 (〃)
- チャンパーレン會社 (〃)

◎輸入の主要原因

本機は諸他の電機と同様當初専ら輸入に仰ぎたるため、内地に於て生産されるに至つても尚ほ需要者の大部分は之を輸入に仰ぎ、従つて國內生産品に對する需要起らず、加ふるに世界的に販路を有する歐米製品は國內の一部にしか販路を有せざる國産品に比して常に優勢にして、品質及價格の兩方面より國産品を壓迫して國産振興の機會を與へず、現今に於ても尚ほ國産不足を告ぐる状態である。是れ本品輸入の根本的原因である。

◎輸入品と國産品の優劣

構造等に於ては敢て外國製品に比し遜色を認めないが、大々的に生産する外國品は、國産品よりも常に廉價である。

◎輸入防止の主要處置

輸入の根本原因を除く事、即ち關稅保護其他適宜の策を講じて國産品の生産的獨立の機會を與へる事が根本義である。

三〇五、動力計及其他の計器類

動力計即ちダイナモメーターは蒸汽機關、瓦斯機關其他各種機關の動力を測定する計器にして、吸收動力計と傳達動力計の二種に大別さる。此の外メーター類には機關車軸の

額	價額
2,335,718圓	
2,933,043	
2,510,399	
4,792,373	
2,608,890	
3,238,009	
3,450,177	
2,931,316	
3,300,275	
2,049,312	

(昭和三年)

價額
481千圓
45
1,140
234
31
980

◎主要輸入者

- 三井物産株式会社 (東京)
- 三菱商事株式会社 (〃)
- 大倉商事株式会社 (〃)

を計る器機である。

◎輸入税率

一〇〇斤に付——五二圓三〇錢。

◎主要生産者

- 東京電氣株式会社 (東京)
- 日本電氣株式会社 (〃)
- 株式会社横河電氣製作所(〃)
- 株式会社東京計器製作所(〃)
- 共立電氣電線株式会社 (〃)
- 株式会社荻田工業所 (大阪)
- 桑野電機製作所 (〃)
- しじま屋電機製作所 (〃)

輸入額	
數量	價額
大正10	153,843斤 550,239圓
11	531,905 1,409,374
12	483,415 1,251,511
13	1,712,328 3,868,124
14	895,678 2,270,054
昭和1	292,601 825,499
2	294,512 760,852
3	264,121 693,834
4	384,855 907,762
5	163,499 367,531

◎外國競争者

- アルゲマイネ電氣會社 (獨逸)
- サンガモ電氣會社 (〃)
- シーメンズシユケルト會社(〃)
- ゼネラル電氣會社 (米國)
- ウエストン電氣會社 (〃)
- ウエストン電氣會社 (〃)
- リーズエンドノースラップ社(〃)
- ブラウンボベリー會社 (瑞西)
- ランデス會社 (〃)
- フエランチ會社 (英國)
- イングリツシユ電氣會社(〃)
- ブリテツシユトムソン會社(〃)
- チャンパーレン會社 (〃)

◎輸入品と國産品の優劣

構造等に於ては敢て外國製品に比し遜色を認めないが、大々的に生産する外國品は、國産品よりも常に廉價である。

◎輸入防止の主要處置

輸入の根本原因を除く事、即ち關稅保護其他適宜の策を講じて國産品の生産的獨立の機會を與へる事が根本義である。

三〇五、動力計及其他の計器類

動力計即ちダイナモメーターは蒸汽機關、瓦斯機關其他各種機關の動力を測定する計器にして、吸收動力計と傳達動力計の二種に大別さる。

此の外メーター類には機關車軸の一分間の回轉角速度を計るタコメーター、船舶の速度を計るシツプスログ(測程器)、自動車等に使用され車輪の回轉又は通過里程を測定するサイクロメーター、蒸氣機關の壓力を計る蒸氣示壓器等を始めとし、ペドメーター、オドメーター、ガルバノメーター、オームメーター、ウエンチユリメーター、バイプロメーター、周波計、力率等種類頗る雜多である。

◎輸入税率

價額に對する二〇%。

◎主要生産者

- 株式会社東京計器製作所(東京)
- 東京瓦斯電氣工業株式会社(〃)
- 株式会社芝浦製作所 (〃)
- 東京計量器製造株式会社(〃)
- 日本計器製造株式会社 (〃)
- 株式会社日立製作所 (〃)

	國産額		輸入額	
	數量	價額	數量	價額
大正10	—	2,229,808圓	—	2,335,718圓
11	—	3,912,898	—	2,933,043
12	—	3,313,772	—	2,510,399
13	—	4,655,165	—	4,792,373
14	—	3,369,214	—	2,608,890
昭和1	—	4,720,281	—	3,238,009
2	—	4,785,048	—	3,450,177
3	—	7,333,608	—	2,931,316
4	—	7,935,467	—	3,300,275
5	—	8,105,276	—	2,049,312

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
茨城	—	279,798圓
東京	—	4,902,791
神奈川	—	1,091,778
愛知	—	36,401
京都	—	360,832
大阪	—	1,223,390
兵庫	—	36,786

主要國別輸入額(昭和三年)

國名	數量	價額
英吉利	—	481千圓
佛蘭西	—	45
獨逸	—	1,140
瑞典	—	234
北米	—	31
		980

◎主要輸入者

- 三井物産株式会社 (東京)
- 三菱商事株式会社 (〃)
- 大倉商事株式会社 (〃)
- 株式會社高田商會 (〃)
- アンドリウス株式會社 (〃)

◎外國競争者

- ダブリユーモーレル會社(米國)
- シーメンズシユケルト會社(獨逸)
- カールアンドレー會社 (〃)
- プレスローエル會社 (〃)

◎輸入の主要原因

國産なきもの或は國産少きもの、價格安きもの又は品質優良精巧なるもの等が輸入さる。

◎輸入品と國産品の優劣

大體に於て價格、品質共輸入品に比して殆んど遜色がな。

◎輸入防止の主要處置

計器工業の基礎確立を圖る事、國産品を以て代用し得る種類に對して關稅を引上げる事等が急務である。

三〇六、電池

電池には一次電池と二次電池とがある。一次電池は電極として銅板、亜鉛板又は亜鉛板と炭素板等を用ひ電解液に稀硫酸、硫酸銅、鹽化アンモニア等を用ひ、化學作用に依り電流を發生せしむるものにして、ダニエル電池、ブレン電池、ルクランシエ電池等の各種がある。乾電池はルクランシエ電池の變形にして電信電話、室内呼鈴等に用ひらる。蓄電池は即ち二次電池にして發電機より電氣を導き、或期間内貯藏し必要に應じて放電せしめるものである。

◎輸入税率

蓄電池は價額に對する二〇%。
乾電池は一〇〇斤一七圓三〇錢。
電池部分は價額に對する二〇%。
其他は同二五%。

◎主要生産者

- (蓄電池)
日本蓄電池株式會社 (東京)
東洋蓄電池工業株式會社 (〳)
古河電氣工業株式會社 (〳)
湯淺蓄電池製造株式會社(大阪)
日華電池株式會社 (〳)

年次	國産額		輸入額	
	數量	價額	數量	價額
大正10	—	12,697,578圓	—	—圓
11	—	27,411,716	—	—
12	—	6,878,295	—	—
13	—	20,386,796	—	205,532
14	—	22,574,011	—	382,054
昭和1	—	26,341,262	—	492,712
2	—	33,149,629	—	408,980
3	—	25,231,644	—	354,118
4	—	24,239,158	—	422,120
5	—	27,381,654	—	259,766

(電池及通信々號用機械器具の産額)

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
東京	—	13,636,176圓
神奈川	—	1,561,597
富山	—	134,864
愛知	—	48,299
京都	—	2,912,914
大阪	—	6,533,054
兵庫	—	349,713

主要國別輸入額(昭和三年)

國名	數量	價額
英吉利	—	20千圓
獨逸	—	42
伊太利	—	2
瑞典	—	33
北米	—	253

- (乾電池)
日本電池株式會社 (京都)
帝國蓄電池株式會社 (横濱)
屋井乾電池工場 (東京)
岡田乾電池製造所 (〳)
日本電業株式會社 (〳)
金子電氣商會 (〳)
日ノ出乾電池製造所 (〳)
冲電氣株式會社 (〳)
大塚乾電池製造所 (〳)

◎主要輸入者

- 日本自動車株式會社 (東京)
日本フォード自動車株式會社(〳)

◎外國競争者

- ワイラード會社、グールド會社、
フリーラー會社(米國)クライド會社
ハート會社(英國)

◎輸入品と國産品の優劣

國産品は輸入品に劣らず、亦生産豊富にして略自給自足の域に達す。

◎輸入防止の主要處置

蓄電池の生産増加を圖ることが最も肝要である。

三〇七、醫療器

醫療器は外科器、産科器、内科器その他各科に於ける各種醫療器の總稱にして、其の種類頗る多種多様である。而して各種とも殆んど内地に於て生産され、一部は海外に輸出さ

額	價額
701,508圓	
883,023	
692,924	
1,098,783	
788,467	
905,929	
713,236	
403,648	
484,724	
388,778	

(昭和三年)

價額
3千圓
4
10
217
25
141

◎外國競争者

- 岩本 藤吉 (東京)
大磯 重助 (〳)

主として獨逸産品及び米國産品が

應じて放電せしめざるべし。

◎輸入税率

蓄電池は價額に對する二〇%。
乾電池は一〇〇斤一七圓三〇錢。
電池部分は價額に對する二〇%。
其他は同二五%。

◎主要生産者

- (蓄電池)
日本蓄電池株式會社 (東京)
東洋蓄電池工業株式會社 (〃)
古河電氣工業株式會社 (〃)
湯淺蓄電池製造株式會社 (大阪)
日華電池株式會社 (〃)

國産額

年次	數量	價額
大正10	—	12,697,578圓
11	—	27,411,716
12	—	6,878,295
13	—	20,386,796
14	—	22,574,011
昭和1	—	26,341,262
2	—	33,149,629
3	—	25,231,644
4	—	24,239,158
5	—	27,331,654

(電池及通信々號用機械器具の産額)

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
東京	—	13,636,176圓
神奈川	—	1,561,597
富山	—	134,864
愛知	—	48,299
京都	—	2,912,914
大阪	—	6,533,054
兵庫	—	349,713

日本フォード自動車株式會社(〃)

◎外國競争者

ワイラード會社、グールド會社、
フリーラー會社(米國)クライド會社
ハート會社(英國)

◎輸入品と國産品の優劣

國産品は輸入品に劣らず、亦生産
豊富にして略自給自足の域に達す。

◎輸入防止の主要處置

蓄電池の生産増加を圖ることが最
も肝要である。

三〇七、醫 療 器

醫療器は外科器、産科器、内科器
その他各科に於ける各種醫療器の總
稱にして、其の種類頗る多種多様で
ある。而して各種とも殆んど内地に
於て生産され、一部は海外に輸出さ
れつゝあるが、尙ほ本邦に於ける生
産少きもの或は國産なき特殊品は獨
逸、米國等より輸入さる。

◎輸入税率

價額に對する二〇%。

◎主要生産者

- 野田 徳松 (東京)
いわしや松本商店 (〃)
酒井 信正 (〃)
株式會社堂坂醫療機械店(〃)
此の外東京市内外に於ける醫療器
製造家は頗る多く、東京醫療器械同
業組合に屬する組合員二百數十名に
達し、國産品の大部分は東京に於て
生産さる。
- ◎主要輸入者
後藤風雲堂 (東京)
市川 顯純 (〃)
松永 倉吉 (〃)

輸入額

年次	數量	價額
大正10	—	701,508圓
11	—	883,023
12	—	692,924
13	—	1,098,783
14	—	788,467
昭和1	—	905,929
2	—	713,236
3	—	403,648
4	—	484,724
5	—	388,778

主要國別輸入額(昭和三年)

國名	數量	價額
關東州	—	3千圓
英吉利	—	4
佛蘭西	—	10
獨逸	—	217
瑞西	—	25
北米	—	141

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
北海道	—	7,735圓
東京	—	874,147
愛知	—	15,195
京都	—	521,400
大阪	—	398,248
福岡	—	8,750

◎外國競争者

岩本 藤吉 (東京)
大磯 重助 (〃)

主として獨逸産品及び米國産品が
輸入されつゝあるが、近來輸入漸減
しつゝあるを以て、有力競争者と見
做すべきものは殆んどない。

◎輸入の主要原因

世界的に名聲ある獨逸製品に對す
る因襲的憧憬、及び國産品は概ね生
産規模狭少にして大量生産に依る外
國品よりも高價である事、等が主た
るものである。

◎輸入品と國産品の優劣

國産品中手工に屬する各種は歐米
品の追従を許さざる優良品もあるが
精巧なる機械に至つては今尙ほ歐米
品に及ばざるものが少なくない。加ふ
るに國産品は概して高價である。

◎輸入防止の主要處置

生産者が大いに製造技術を研究し
又大量生産に依る生産費の低下に努
める事が第一義である。

三〇八、製圖器

製圖器は製圖用各種器具にして、其の主たるものはコンパス、定規、烏口、寫圖器、縮圖器、計圖器、製圖盤、畫架等の類である。

是等各種製圖用器は殆んど全部國産品を以て國內需要を充し得るため普通品は輸入の必要がないが、特に精巧緻密なるものに至つては、今尙ほ輸入に仰がざるを得ざるものも尠くない。

◎輸入税率

價額に對する二〇%。

◎主要生産者

玉屋 商店 (東京)
服部時計店 (シ)
中村 淺吉 (シ)

◎主要輸入者

玉屋 商店 (東京)
服部時計店 (シ)
カールツアイス東京支社(シ)

◎外國競争者

ハインバンバーク (獨逸)
ワット (英國)

	國産額		輸入額	
	數量	價額	數量	價額
大正10	—	1,197,849圓	—	—圓
11	—	312,988	—	—
12	—	210	—	—
13	—	136,514	—	593,544
14	—	296,430	—	336,668
昭和1	—	421,685	—	329,269
2	—	299,541	—	267,782
3	—	759,336	—	667,045
4	—	824,519	—	449,327
5	—	816,442	—	349,566

(計算器及金銭登録器を含む)

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
東京	—	40,076圓
静岡	—	60,000
大阪	—	82,648
廣島	—	30,612
徳島	—	6,000

主要國別輸入額(昭和三年)

國名	數量	價額
關東州	—	5千圓
英吉利	—	390
佛蘭西	—	129
獨逸	—	42
瑞西	—	5
和蘭	—	5
北米	—	88

ガレ

(米國)

◎輸入の主要原因

普通品は殆んど國産品が使用されつゝあるを以て、輸入品は製圖專家等の使用する高級品が大部分を占めて居る。是等高級品と雖も内地生産必ずしも不可能でなく、輸入品と同程度の生産費を以てすれば優に外國品に匹敵すべきものを生産し得るが國産品なるが故に需要少く到底採算不可能である。故に國産品生産者は需要少き高級品を顧みず、専ら需要多き安價低級品の製造に意を注ぎ勢ひ高級品は供給不足を告ぐる結果となり、現域に於ても尙輸入が根絶しない。

◎輸入品と國産品の優劣

特殊高級品以外の一般品に就いて比較すれば、國産品は概ね優良にして而も廉價である。

◎輸入防止の主要處置

政府は關稅の引上げに依つて生産者を保護し、又生産者は高級品の製作に努力することが肝要である。

◎輸入の主要原因

理學及化學の發達著しき獨逸に於ては、理化學用機械器具類の製作に於ては、他國品及び獨逸品に劣るものも尠くない。

三〇九、理化學器

理化學は力學、熱學、電氣學その他の理學の説明或は實驗に使用する機械、及び化學の定性分析、定量分析、冶金術其の他の實驗に使用する

額	價額
1,290,676圓	
1,337,375	
1,264,674	
2,810,991	
2,608,350	
1,909,023	
1,719,977	
1,634,791	
1,934,713	
1,440,190	

(昭和三年)

價額
313千圓
72
740
4
39
4
33
415

價格に對する二〇%

◎主要生産者

玉屋 商店 (東京)
服部時計店 (〃)
中村 淺吉 (〃)

◎主要輸入者

玉屋 商店 (東京)
服部時計店 (〃)
カールツアリス東京支社 (〃)

◎外國競争者

ハーンバンバーク (獨逸)
ワット (英國)

三〇九、理化學器

理化學は力學、熱學、電氣學その他の理學の説明或は實驗に使用する機械、及び化學の定性分析、定量分析、冶金術其の他の實驗に使用する機械器具類の總稱にして、種類頗る多し。

◎輸入税率

價額に對する二〇%。

◎主要生産者

島津製作所 (京都)
玉屋商店 (東京)
後藤風雲堂 (〃)
株式会社阪醫療機械店 (〃)

◎主要輸入者

玉屋商店 (東京)
後藤風雲堂 (〃)
白井商店 (〃)

◎外國競争者

獨逸産品最も多く、北米産品及英國産品之に次ぐ、而して代表的競争者は左記二社である。
カールツアリス社 (獨逸)
ライツ會社 (〃)

	國産額		輸入額	
	數量	價額	數量	價額
大正10	—	1,508,060圓	—	1,290,676圓
11	—	2,088,279	—	1,337,375
12	—	827,504	—	1,264,674
13	—	849,415	—	2,810,991
14	—	751,000	—	2,608,350
昭和1	—	1,505,410	—	1,909,023
2	—	798,785	—	1,719,977
3	—	874,240	—	1,634,791
4	—	887,489	—	1,934,713
5	—	910,540	—	1,440,190

	國産額	
	數量	價額
大正10	—	1,197,849圓
11	—	312,988
12	—	210
13	—	136,514
14	—	296,430
昭和1	—	421,685
2	—	299,541
3	—	759,336
4	—	824,519
5	—	816,442

(計算器及金銭登録器を含む)

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
東京	—	258,950圓
京都	—	615,119
廣島	—	171

主要國別輸入額(昭和三年)

國名	數量	價額
英吉利	—	313千圓
佛蘭西	—	72
獨逸	—	740
白耳義	—	4
瑞西利	—	39
瑞地蘭	—	4
瑞和蘭	—	33
北米	—	415

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
東京	—	40,076圓
静岡	—	60,000
大阪	—	82,648
廣島	—	30,612
徳島	—	6,000

要多き安價低級品の製造に意を注ぎ、勢ひ高級品は供給不足を告ぐる結果となり、現域に於ても尙輸入が根絶しない。

◎輸入品と國産品の優劣

特殊高級品以外の一般品に就いて比較すれば、國産品は概ね優良にして而も廉價である。

◎輸入防止の主要處置

政府は關稅の引上げに依つて生産者を保護し、又生産者は高級品の製作に努力することが肝要である。

◎輸入の主要原因

理學及化學の發達著しき獨逸に於ては、理化學用機械器具類の製作に於ても他國品の及ばざる獨特の長所を有す。歐洲大戰以後本邦に於ける理化學器の生産漸く發達し現在に於ては普通品は殆んど獨逸品に匹敵すべき優良品を見るに至つたが、而も精巧なる高級品は今尙ほ獨逸品に及ばず、加ふるに本品の最大需要者たる諸學校に於ては、一般人の如く價格に拘泥せずして専ら品質優良なるものを需むる傾向がある爲、巨額の輸入を見つゝある。

◎輸入品と國産品の優劣

輸入品中就中獨逸産品は、其材料の嚴選製作技術の洗鍊等に於て一等地を抜き、國産品の遠く及ばざる所である。

◎輸入防止の主要處置

政府は關稅政策に依つて生産者を保護し、生産者は技術の向上に努め且つ需要者は可及的に國産品を愛用する等、官民一致の努力を要す。

三一〇、幻燈器及活動寫真器

幻燈器は娛樂用、興行用或は學術講演等に廣く用ひらる。その主要構造は燈火を入れる金屬製箱及伸縮自在の鏡筒にして、比較的簡單なる装置である。活動寫真器も構造に於ては幻燈器と大差なく、興行用、娛樂用等各種がある。

尙ほ部分品の主なるものはレンズ反射鏡、色硝子、映寫枠、フィルム巻取器、遮光器等である。

◎輸入税率

價額に對する四〇%。

◎主要生産者

(幻燈器)

池田都樂

(東京)

(活動寫真攝影器及映寫器)

高密工場

(東京)

小西六本店

()

淺沼商會本店

()

音峰工場

()

松田活動寫真製作所

()

◎主要輸入者

淺沼商會

(東京)

小西六本店

()

	國 産 額		輸 入 額	
	數 量	價 額	數 量	價 額
大正10	—	689,324圓	—	—圓
11	—	71,997	—	—
12	—	57,550	—	—
13	—	444,797	—	353,333
14	—	301,940	—	309,979
昭和1	—	121,300	—	300,549
2	—	1,113,697	—	283,216
3	—	933,354	—	275,296
4	—	1,254,295	—	285,168
5	—	1,196,513	—	245,321

(寫真器を含む)

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣 名	數 量	價 額
埼 玉	—	20,000圓
東 京	—	836,050
大 阪	—	77,304

主要國別輸入額(昭和三年)

國 名	數 量	價 額
北 米	—	175千圓
獨 逸	—	52
佛 蘭 西	—	45
英 吉 利	—	2
白 耳 義	—	1
支 那	—	1
瑞 西	—	2

◎外國競争者

- 出雲商會 (東京)
- 岡本洋行 ()
- ゼニス・コンパニー (大阪)
- 藤岡商會 (神戸)

◎輸入の主要原因

國産品は外國品の模倣に過ぎずして主要構造に缺點多きに因る。

◎輸入品と國産品の優劣

映寫器及撮影器共に國産品劣る。

◎輸入防止の主要處置

生産者が技術の向上を圖り、優良品生産に努力する事が急務である。

三一、寫 真 器

寫真器には構造上及び形態上各種類があるが、普通室内用大型寫真器と携帯用小型寫真器に二大別され、又特殊なるものとしては引伸用、双

額 價 額
1,744,441圓
3,049,644
1,208,490
1,270,314
423,859
295,933
461,779
1,013,031
1,088,000
1,423,647

(昭和三年)

價 額
6千圓
51
107
433
2
15
393

- ニューマンガーヂア會社(英國)
- イーストマンコダック會社(米國)
- アンスコ會社 ()
- ホクトレンデル會社 (獨逸)
- エルネマン會社 ()

◎主要生産者

(幻燈器)

池田都樂

(東京)

(活動寫眞撮影器及映寫器)

高密工場

(東京)

小西六本店

(〃)

淺沼商會本店

(〃)

音峰工場

(〃)

松田活動寫眞製作所

(〃)

◎主要輸入者

淺沼商會

(東京)

小西六本店

(〃)

三一、寫眞器

寫眞器には構造上及び形態上各種類があるが、普通室内用大型寫眞器と携帯用小型寫眞器に二大別され、又特殊なるものとしては引伸用、双眼寫眞用、顯微鏡寫眞用、望遠寫眞用全景寫眞用等の各種類がある。

◎輸入税率

寫眞器は價額に對する四〇%。

顯微鏡用及航空機用は同二〇%。

其他は同五〇%。

部分品は同二〇%乃至五〇%。

◎主要生産者

六櫻社

(東京)

淺沼商會

(〃)

オリエンタル寫眞工業株式会社

◎主要輸入者

淺沼商會

(東京)

小西六本店

(〃)

桑田商會

(大阪)

◎外國競争者

ホートン會社

(英國)

ダルメヤー會社

(〃)

ソルントン會社

(〃)

國名	國産額		輸入額	
	數量	價額	數量	價額
大正10	—	689,324圓	—	1,744,441圓
11	—	71,997	—	3,049,644
12	—	57,550	—	1,208,490
13	—	444,797	—	1,270,314
14	—	301,940	—	423,859
昭和1	—	121,300	—	295,933
2	—	1,113,697	—	461,779
3	—	933,354	—	1,013,031
4	—	1,254,295	—	1,088,000
5	—	1,196,513	—	1,423,647

(幻燈器及活動寫眞器を含む)

年次	國産額	
	數量	價額
大正10	—	689,324圓
11	—	71,997
12	—	57,550
13	—	444,797
14	—	301,940
昭和1	—	121,300
2	—	1,113,697
3	—	933,354
4	—	1,254,295
5	—	1,196,513

(寫眞器を含む)

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
埼玉	—	20,000圓
東京	—	836,050
大阪	—	77,304

主要國別輸入額(昭和三年)

國名	數量	價額
關東州	—	6千圓
英吉利	—	51
佛蘭西	—	107
獨逸	—	433
瑞西	—	2
和蘭	—	15
北米	—	393

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
埼玉	—	20,000圓
東京	—	836,050
大阪	—	77,304

◎輸入の主要原因

國産品は外國品の模倣に過ぎずして主要構造に缺點多きに因る。

◎輸入品と國産品の優劣

映寫器及撮影器共に國産品劣る。

◎輸入防止の主要處置

生産者が技術の向上を圖り、優良品生産に努力する事が急務である。

◎輸入の主要原因

寫眞部分品中鏡玉、シャッター等は外國品の如き優良品は内地に於て生産されざる爲め輸入され、その他は主として價格關係に因る。

◎輸入品と國産品の優劣

鏡玉、シャッター等の高級品は未だ外國品に及ばないが、その他は外國品に比して殆んど優劣を認められなす。

◎輸入防止の主要處置

原料の輸入税を撤廢又は輕減する事、輸出奨励法を制定する事、其他適宜の措置を講じて内地生産の振興を計る外なし。

ブツチアー會社 (英國)

ボツシエロム會社 (米國)

ニューマンガーヂア會社(英國)

イーストマンコダック會社(米國)

アンスコ會社 (〃)

ホクトレンデル會社 (獨逸)

エルネマン會社 (〃)

コンテツサ會社 (〃)

ゲルツ會社 (〃)

オリオン會社 (〃)

イカー會社 (〃)

三一三、蓄音器

蓄音器は構造一様ならず、形状も亦千差萬別であるが、主要構造は撥條及齒車、調制器等より成り普通木匣内に装置さる。樂譜用圓板はエボナイトを以て製し、喇叭は眞鍮、アルミニウム、葉鐵等を以て製す。其他部分品の主たるものは固定及移動腕金、ハンドル、回旋盤、針等である。

◎輸入税率

蓄音器は價額に對する五〇%。
樂譜入レコードは一〇〇斤七四圓三〇錢(其他は同五七圓四〇錢)
其他の部分品は價額の五〇%。

◎主要生産者

株式會社日本蓄音器商會(東京)
合同蓄音器株式會社 (シ)
日東蓄音器株式會社 (大阪)
合資會社内外蓄音器商會(シ)
株式會社アサヒ蓄音器商會(名古屋)
日本樂器製造株式會社 (濱松)
(但し日本蓄音器商會は外人經營)

◎主要輸入者

株式會社セール商會 (東京)

年次	國産		輸入	
	數量	價額	數量	價額
大正10	—	2,021,360圓	—	488,855圓
11	—	532,487	—	891,333
12	—	1,767,150	—	1,007,884
13	—	4,321,555	—	1,646,144
14	—	1,543,473	—	309,402
昭和1	—	1,433,578	—	157,765
2	—	888,073	—	254,543
3	—	837,390	—	376,871
4	—	844,053	—	591,240
5	—	840,567	—	268,420

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
東京	—	108,087圓
富山	—	1,440
愛知	—	45,810
大阪	—	682,053

主要國別輸入額(昭和三年)

國名	數量	價額
英吉利	—	122千圓
佛蘭西	—	2
獨逸	—	6
瑞西	—	1
北米	—	241

◎外國競争者

コロンビヤ商會 (東京)
フランスキツク商會 (シ)
ヴィクター會社 (米國)
コロンビヤ會社 (シ)

◎輸入の主要原因

普通品は國産品を以て需要を充しつゝあり、且つ關稅のため殆んど輸入されないが、オルソフオニツク・ビクトローラ等の如き特殊品は國産なきため輸入され、又レコードは各國夫々獨特のものありて、當然輸入の必要あるがために輸入さる。

◎輸入品と國産品の優劣

特殊高級品は輸入品に及ばないが普通品に於ては寧ろ國産品が價格に比較して優良である。レコードは品質よりも吹込者の藝術的價値に依つて優劣を決する場合多きも、概して輸入品は優良である。

◎輸入防止の主要處置

特殊品の外殆んど輸入されざるを以て、特に輸入防止の必要なし。

三一三、樂器

各種樂器の中輸入品の主たるものを列擧すれば、ピアノ、オルガン、マンドリン、ギター、ハープ、バンジョー、ジザール、バイオリン、バイ

額	價額
868,716圓	
1,322,040	
1,487,677	
2,117,631	
1,478,637	
1,062,178	
905,322	
929,220	
940,443	
576,249	

昭和三年)	價額
51千圓	
42	
716	
8	
2	
5	
85	
10	

◎主要輸入者

眞野トンボハイモニカ製造所(シ)
十字屋樂器店 (東京)

三〇錢(其他は同五七圓四〇錢)
其他の部分品は價額の五〇%。

◎主要生産者

- 株式会社日本蓄音器商會(東京)
- 合同蓄音器株式会社(シ)
- 日東蓄音器株式会社(大阪)
- 合資會社内外蓄音器商會(シ)
- 株式會社アサヒ蓄音器商會(名古屋)
- 日本樂器製造株式會社(濱松)
- (但し日本蓄音器商會は外人經營)

◎主要輸入者

株式會社セール商會(東京)

三一三、樂器

各種樂器の中輸入品の主たるものを列擧すれば、ピアノ、オルガン、マンドリン、ギター、ハープ、バンジョー、ジザー、バイオリン、バイオリン、バイオリンセロ、ダブルベース、フリユート、ビツコロ、オーボエ、クラリオネット、バツスーン、イングリッシュホルン、コルネット、フレンチホルン、サクソフォン、トランベツト、トロンボーン、チューバ、サーベント、フラジオネット、ハーモニカ、トライアングル、タンポリン、及び支那製琴瑟、月琴、提琴、胡琴、木琴、明笛、清笛等の各種である。

◎輸入税率

ピアノ及オルガンは一〇〇斤に付五七圓四〇錢。
ハーモニカは一〇〇個に付二五圓
其他は價額に對する四〇%。

◎主要生産者

- 日本樂器製造株式會社(濱松)
- 鈴木ヴァイオリン工場(名古屋)
- 日本管樂器製作所(東京)
- 小林鶯聲社(シ)

	國産額		輸入額	
	數量	價額	數量	價額
大正10	—	2,922,604圓	—	868,716圓
11	—	2,174,459	—	1,322,040
12	—	2,539,440	—	1,487,677
13	—	4,453,756	—	2,117,631
14	—	3,638,169	—	1,478,637
昭和1	—	3,087,683	—	1,062,178
2	—	4,507,583	—	905,322
3	—	5,187,348	—	929,220
4	—	5,342,003	—	940,443
5	—	5,459,788	—	576,249

	國産額	
	數量	價額
大正10	—	2,021,360圓
11	—	532,487
12	—	1,767,150
13	—	4,321,555
14	—	1,543,473
昭和1	—	1,433,578
2	—	888,073
3	—	837,390
4	—	844,053
5	—	840,567

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
東京	—	814,394圓
神奈川	—	913,350
岐阜	—	2,691,000
愛知	—	411,026
大阪	—	8,825
兵庫	—	20,000
廣島	—	58,753

主要國別輸入額(昭和三年)

國名	數量	價額
英吉利	—	51千圓
佛蘭西	—	42
獨逸	—	716
伊太利	—	8
瑞西	—	2
和蘭	—	5
北米	—	85
加奈陀	—	10

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
東京	—	108,037圓
富山	—	1,440
愛知	—	45,810
大阪	—	682,053

◎輸入品と國産品の優劣

特殊高級品は輸入品に及ばないが普通品に於ては寧ろ國産品が價格に比較して優良である。レコードは品質よりも吹込者の藝術的價値に依つて優劣を決する場合多きも、概して輸入品は優良である。

◎輸入防止の主要處置

特殊品の外殆んど輸入されざるを以て、特に輸入防止の必要なし。

◎主要輸入者

- 真野トシボハーモニカ製造所(シ)
- 十字屋樂器店(東京)
- 山野樂器店(シ)
- 共益商社(シ)
- 外國ピアノ輸入商會(シ)

◎外國競争者

- グロトリアン(獨逸製品)
- ベシユタイン(シ)
- ユリウス・フェリツヒ(シ)
- ステインウエー(米國製品)
- カレース(伊太利製品)
- ムアー・アンド・ムアー(英國製品)

◎輸入の主要原因

洋樂の普及に比し樂器の生産進歩せず、且つ洋樂愛好者は大部分外國製品を崇拜するが爲めである。

◎輸入品と國産品の優劣

普通品に於ては輸入品に劣らず。

◎輸入防止の主要處置

需要者が國産品愛用に覺醒する事が第一條件である。

三一四、電話機及電信機

電話機は送話器と受話器の二部より成り、送話器には種類多きも我國に於て使用されつゝあるは大部分デルウイル及びソリッドバックの兩種である。

電信機には陸上、海底及無線の三種あり、何れも發信器と受信器の二部より成り、發信器には手動式と自動式、受信器には音響受信器と印字受信器の各二種がある。

◎輸入税率

價額に對する二〇%。

◎主要生産者

- (電信機)
- 沖電氣株式會社 (東京)
- 共立電機電線株式會社 (〃)
- 共益電氣株式會社 (〃)
- 株式會社吉村商會 (〃)
- (電話機)
- 沖電氣株式會社 (東京)
- 日本電氣株式會社 (〃)
- 共立電機電線株式會社 (〃)
- 共益電氣株式會社 (〃)
- 東亞電機株式會社 (〃)
- 川北電氣製作所 (大阪)

年次	國産額		輸入額	
	數量	價額	數量	價額
大正10	—	12,697,578圓	—	882,594圓
11	—	27,411,716	—	1,359,495
12	—	6,878,295	—	859,160
13	—	20,386,796	—	4,338,238
14	—	22,574,011	—	16,924,233
昭和1	—	26,341,262	—	9,811,418
2	—	33,149,629	—	5,792,308
3	—	25,231,644	—	3,983,556
4	—	28,963,648	—	3,822,797
5	—	30,054,165	—	1,833,836

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
東京	—	13,636,176圓
神奈川	—	1,561,597
富山	—	134,865
愛知	—	48,299
京都	—	2,912,914
大阪	—	6,533,054
兵庫	—	349,713

主要國別輸入額(昭和三年)

國名	數量	價額
英吉利	—	940千圓
佛蘭西	—	27
獨逸	—	1,256
和蘭	—	12
白耳義	—	12
丁抹	—	13
北米	—	1,709

(無電機)

- 沖電氣株式會社 (東京)
- 日本無線電信電話株式會社(〃)
- 株式會社安中電機製作所(〃)
- 株式會社芝浦製作所 (〃)
- 東亞無線電機株式會社 (〃)

◎主要輸入者

- 三井物産株式會社 (東京)
- 大倉商事株式會社 (〃)

◎外國競争者

- ウエスターン電氣會社 (米國)
- シーメンズウインドハルスケ(獨逸)
- オートマチック會社 (英國)

◎輸出の主要原因

主として國産の不足に因る。

◎輸入品と國産品の優劣

自働式のもの及び電話中繼機等特殊のものは外國品に及ばないが、普通品は殆んど遜色がない。

◎輸入防止の主要處置

製作技術の向上を圖ることが最も有効なる輸入防止策である。

三一五、ラヂオ機

ラヂオ機は送信用と受信用とに二大別さる。送信用機は其の構造複雑なるに拘はらず需要範圍極めて狭小にして、内地生産は採算不可能なる

額	價額
—	—
—	—
—	—
—	—
—	—
—	—
537,795圓	—
594,519	—
568,889	—
322,596	—

- 東京發明研究所 (東京)
- 鳥居電業社 (〃)
- 東洋電機工業株式會社 (〃)
- 岡田電氣商會 (〃)
- 東洋蓄電池工業株式會社(〃)

- ソーダソン會社 (米國)
- エレクトライト會社 (〃)
- コーデル・プロダクト會社(〃)
- カツラ・ハンマー會社 (〃)
- ヤックスレー會社 (〃)

◎主要生産者

- (電信機)
 沖電氣株式會社 (東京)
 共立電機電線株式會社 (〃)
 共益電氣株式會社 (〃)
 株式會社吉村商會 (〃)
 (電話機)
 沖電氣株式會社 (東京)
 日本電氣株式會社 (〃)
 共立電機電線株式會社 (〃)
 共益電氣株式會社 (〃)
 東亞電機株式會社 (〃)
 川北電氣製作所 (大阪)

國産額	
數量	價額
大正10	12,697,578圓
11	27,411,716
12	6,878,295
13	20,386,796
14	22,574,011
昭和1	26,341,262
2	33,149,629
3	25,231,644
4	28,963,648
5	30,054,165

◎主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
東京	—	13,636,176圓
神奈川	—	1,561,597
富山	—	134,865
愛知	—	48,299
京都	—	2,912,914
大阪	—	6,533,054
兵庫	—	349,713

シーメンスウインドハルスケ(獨逸)
 オートマチック會社 (英國)

◎輸出の主要原因

主として國産の不足に因る。

◎輸入品と國産品の優劣

自働式のもの及び電話中繼機等特殊のものは外國品に及ばないが、普通品は殆んど遜色がない。

◎輸入防止の主要處置

製作技術の向上を圖ることが最も有効なる輸入防止策である。

三一五、ラヂオ機

ラヂオ機は送信用と受信用とに二大別さる。送信用機は其の構造複雑なるに拘はらず需要範圍極めて狭小にして、内地生産は採算不可能なるため、現今各放送局使用のものは全部輸入品であるが、受信用機は製造簡易にして需要頗る多きため日尙ほ淺きに拘らず國産豊富にして今や殆んど輸入の必要を見ざるに至つた。

◎輸入税率

受信機は價額に對する四〇%。
 其他は同二〇%。

◎主要生産者

- 日本無線電信株式會社 (東京)
 日本真空管製作所 (〃)
 日本電池株式會社 (〃)
 日本電波工業株式會社 (〃)
 日本蓄電池株式會社 (〃)
 日本電業株式會社 (〃)
 放電コンパニー (〃)
 日本ラヂオ工業株式會社 (〃)
 東京電氣株式會社 (〃)
 徳久トランス研究所 (〃)
 東洋電池合資會社 (〃)
 豊國電業社 (〃)

主要國別輸入額(昭和三年)

主要國別輸入額(昭和三年)		輸入額	
國名	數量	數量	價額
大正10	—	—	—
11	—	—	—
12	—	—	—
13	—	—	—
14	—	—	—
昭和1	—	—	—
2	—	—	537,795圓
3	—	—	594,519
4	—	—	568,889
5	—	—	322,596

◎主要輸入者

- 東京發明研究所 (東京)
 鳥居電業社 (〃)
 東洋電機工業株式會社 (〃)
 岡田電氣商會 (〃)
 東洋蓄電池工業株式會社 (〃)
 金子電氣商會 (〃)
 高砂工業株式會社 (〃)
 坪子製作所 (〃)

◎輸入の主要原因

ラヂオ開始後國産は急激に増加したが、ラヂオ聴取者は更に急激に増加し、供給不足を告げたる事、及び續々新考案のものが宣傳され好奇心を唆る事等が主因である。

◎輸入品と國産品の優劣

輸入品は概して高級優秀にして高價である。

◎輸入防止の主要處置

送信用機は寧ろ輸入が得策であるが受信機に對しては關稅引上に依つて輸入を防止することが急務である。
 (備考)推定國産年額一千五百萬圓

◎外國競争者

- ギレフラン・ブラザー會社 (米國)
 リジニア會社 (〃)
 レムラー會社 (〃)

三一六、銃砲及拳銃

各種銃砲類の中一般に使用されるは獵銃及ピストルである。獵銃には單製と複製とあり、又旋條銃と滑腔銃の二種がある。旋條銃は主として猛獵狩に用ひられ滑腔銃は鳥及び小獸獵に使用さる。自動銃には六連發七連發、一〇連發、一二連發及び一五連發等の各種がある。ピストルには單發式と連發式とあり、現今用ひらるゝものは大部分回旋連發式にして、主として護身用に供せらる。

◎輸入税率

小銃は一挺に付七圓四〇錢。
拳銃は同五圓三五錢。
其他は價額に對する四〇%。

◎主要生産者

岡本光長銃砲製造所 (東京)
笠原銃工場 ()

◎主要輸入者

日本銃砲店 (東京)
中島銃砲店 ()
林銃砲店 ()
小倉銃砲店 ()

年次	國産額		輸入額	
	數量	價額	數量	價額
大正10	—	18,509,982圓	—	1,181,916圓
11	—	16,875,713	—	1,521,545
12	—	3,692,091	—	1,023,895
13	—	14,967,105	—	1,049,441
14	—	20,561,419	—	1,914,939
昭和1	—	15,536,865	—	1,388,465
2	—	16,000,494	—	1,733,729
3	—	22,294,332	—	2,409,330
4	—	23,587,441	—	1,967,710
5	—	23,698,567	—	838,048

主要府縣別生産額(昭和四年)

縣名	數量	價額
北海道	—	3,022,193圓
東京	—	1,348,940
愛知	—	9,577,318
大阪	—	1,454,815
兵庫	—	2,075,450
廣島	—	3,802,231
福岡	—	983,259

主要國別輸入額(昭和三年)

國名	數量	價額
英吉利	—	302千圓
佛蘭西	—	125
獨逸	—	1,232
白耳義	—	590
諾威	—	7
西班牙	—	131
北米	—	12

内山銃砲店 (東京)

◎外國競争者

ウインチスターレミントン會社 (米國)
アーム・ストロング會社 (獨逸)
ビー・エス・エー會社 (英國)
フアブリック・ナショナル會社 (ベルギー)

◎輸入の主要原因

銃砲の製造及販賣は當局の許可を要し、その手續面倒にして容易に許可せられざる爲内地生産者頗る少く到底需要に充たざるが爲めにして現今需要の大部分は輸入品である。

◎輸入品と國産品の優劣

内地民間製のものには輸入品に及ばず、政府製には優良品があるが民間へ拂下げられるものは何れも舊式の故物なるを以て、是亦輸入品より遙かに劣等である。

◎輸入防止の主要處置

民間製造に對する取締法を寛大にし、生産増加を圖る外なし。

三一七、軌道車輛

軌道車輛は鐵道客車及貨車、電車鐵道馬車等凡て軌道を駛走する車輛を謂ふ。各種類共車體、車臺、車架車輪、車軸等より成り、製造材料及

額
價額

5,255,174圓
2,701,516
5,634,646
6,134,140
3,686,185
1,553,252
1,443,916
2,091,839
1,420,673
324,218

(昭和三年)

價額

7千圓
365
35
164
31
37
8
1,439

◎主要輸入者

株式會社芝浦製作所 (東京)
東洋車輛製作所 (小倉)

三井物産株式會社

(東京)

○輸入税率
小銃は一挺に付七圓四〇錢。
拳銃は同五圓三五錢。
其他は價額に對する四〇%。

○主要生産者

- 岡本光長銃砲製造所 (東京)
- 笠原銃工場 ()
- 日本銃砲店 (東京)
- 中島銃砲店 ()
- 林銃砲店 ()
- 小倉銃砲店 ()

國 産 額
數量 價 額

大正10	—	18,509,982圓
11	—	16,875,713
12	—	3,692,091
13	—	14,967,105
14	—	20,561,419
昭和1	—	15,536,865
2	—	16,000,494
3	—	22,294,332
4	—	23,587,441
5	—	23,698,567

主要府縣別生産額(昭和四年)

縣 名	數量	價 額
北海道	—	3,022,193圓
東京	—	1,348,940
愛知	—	9,577,318
大阪	—	1,454,815
兵庫	—	2,075,450
廣島	—	3,802,231
福岡	—	983,259

可せられざる爲内地生産者頗る少く
到底需要に充たざるが爲めにして現
今需要の大部分は輸入品である。
○輸入品と國産品の優劣
内地民間製のものには輸入品に及ば
ず、政府製には優良品があるが民間
へ拂下げるものは何れも舊式の故物
なるを以て、是亦輸入品より遙かに
劣等である。

○輸入防止の主要處置

民間製造に對する取締法を寛大に
し、生産増加を圖る外なし。

三一七、軌道車輛

軌道車輛は鐵道客車及貨車、電車
鐵道馬車等凡て軌道を駛走する車輛
を謂ふ。各種類共車體、車臺、車架
車輪、車軸等より成り、製造材料及
形狀は大體類似してゐるが、車輪の
形狀及間隔は軌道に應じて夫々異り
車體の構造も亦運搬すべき目的物の
相違に依り夫々相異なる。

○輸入税率

車輛は價額に對する三〇%。
車輪及車軸は一〇〇斤に付四圓三
〇錢(其他部分品詳細税率略す)

○主要生産者

- 株式會社川崎造船所 (神戸)
- 株式會社神戸製鋼所 ()
- 汽車製造株式會社 (大阪)
- 株式會社藤永田造船所 ()
- 株式會社大阪鐵工所 ()
- 田中車輛工場 ()
- 株式會社住友製鋼所 ()
- 梅鉢鐵工所 ()
- 日本車輛製造株式會社 (名古屋)
- 株式會社新潟鐵工所 (東京)
- 株式會社雨宮製作所 ()
- 株式會社日立製作所 ()

輸 入 額
數量 價 額

大正10	—	18,049,629圓	—	5,255,174圓
11	—	12,332,959	—	2,701,516
12	4,335輛	14,589,842	—	5,634,646
13	5,360	19,577,804	—	6,134,140
14	4,556	12,348,533	—	3,686,185
昭和1	3,936	12,122,955	—	1,553,252
2	3,558	12,769,427	—	1,443,916
3	5,597	16,873,894	—	2,091,839
4	6,458	17,395,246	—	1,420,673
5	6,786	17,568,598	—	324,218

主要國別輸入額(昭和三年)

縣 名	數量	價 額	國 名	數量	價 額
東京	1,809輛	5,987,956圓	關東州	—	7千圓
新潟	285	936,661	英吉利	—	365
愛知	1,137	4,220,828	佛蘭西	—	35
三重	8	34,020	獨逸	—	164
大阪	202	2,003,290	白耳義	—	31
兵庫	1,024	3,127,985	瑞西蘭	—	37
福岡	671	479,293	和北米	—	8
					1,439

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣 名	數量	價 額
東京	1,809輛	5,987,956圓
新潟	285	936,661
愛知	1,137	4,220,828
三重	8	34,020
大阪	202	2,003,290
兵庫	1,024	3,127,985
福岡	671	479,293

○外國競争者

- ボルドウイン會社 (米國)
- ゼー・ジー・ブリル會社 ()
- サミュエル・フォックス會社 (英國)
- ビイツカーズ會社 ()
- リンケ・ホフマン會社 (獨逸)
- 三井物産株式會社 (東京)
- 三菱商事株式會社 ()
- 大倉商事株式會社 ()
- 株式會社米井商店 ()

○輸入の主要原因

主として價格關係に依る。

○輸入品と國産品の優劣

設計及製作技術に於て何等遜色な
く、本邦軌道の實情に適合せる點は
國産品の特徵である。

○輸入防止の主要處置

需要者が可及的に國産品を愛用す
れば、輸入は漸次減少すべし。

三一八、自動車

自動車には乗用、競争用、貨物用等の種類あり、又蒸氣自動車、電氣自動車、揮發油自動車等の別があるが、普通は揮發油自動車である。

◎輸入税率

價額に對する五〇%（協定三五%）

◎主要生産者

白楊社 (東京)
東京瓦斯電氣工業株式会社 (〃)
ダット自動車製造株式会社 (〃)
石川島自動車製作所 (〃)

◎主要輸入者

日本フォード株式会社 (横濱)
梁瀬自動車株式会社 (東京)
日本自動車株式会社 (〃)
中央自動車株式会社 (〃)
三柏商會 (〃)
白揚社 (〃)
興東貿易株式会社 (〃)
日佛シトロエン會社 (〃)

◎外國競争者

輸入自動車の主たるもの左の如し
フォード、ハドソン、エセツクス

	國産額		輸入額	
	數量	價額	數量	價額
大正10	—	2,610,623圓	1,074輛	3,261,808圓
11	—	3,628,932	752	2,216,051
12	305臺	952,250	1,938	4,955,211
13	771	982,235	4,062	8,772,851
14	4,092	7,436,435	1,762	4,630,009
昭和1	32,665	18,724,309	2,381	5,324,535
2	10,789	25,256,332	3,895	8,063,062
3	23,347	43,049,420	7,883	13,770,655
4	33,867	43,128,969	5,018	9,545,870
5	38,589	44,277,054	2,591	4,896,992

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
東京	2,600臺	5,523,321圓
神奈川	3,652	5,206,535
愛知	186	599,637
大阪	15,818	30,939,585
岡山	220	104,260
廣島	115	240,500
山口	120	110,500

主要國別輸入額(昭和三年)

國名	數量	價額
英吉利	173輛	313千圓
佛蘭西	79	134
獨逸	20	49
白耳義	11	40
伊太利	152	197
北米	7,423	12,987
加奈陀	12	29

ピアレス、スター、ドツヂブラザース、ビウイック、カデラック、クライスラー、ナツシュ、チャンドリー、クリーブランド、シボレー(以上米國)、シトロエン、ルノー(以上佛蘭西)、モースリ、ソニックロフト、オースチン(以上英國)ファイアット(伊太利)
此の外各種あるも、フォード自動車は斷然第一位を占め、他の追隨を許さず。

◎輸入の主要原因

國産僅少にして需要に充たず、且つ輸入品は優良なるが爲めである。

◎外國品と國産品の優劣

國産自動車は品質、價格、生産能力等に於て未だ輸入品と競争する程度に至らず、輸入品中就中フォード等に比して著しく劣る。

◎輸入防止の主要處置

優良國産品なきを以て輸入は止むを得ず、徒らに輸入を防止するは却つて不得策である。

三一九、自動車部分品

自動車部分品は原動力機以外の凡ての部分品にして、その主たるものは車輪及車軸、タイヤ、彈機、鎖ハンドル、ラツパ、變速裝置、氣化

價額
4,805,732圓
5,093,784
8,527,069
12,413,272
7,062,433
10,397,666
10,218,909
18,474,167
24,062,513
15,876,738

(昭和三年)

價額
624千圓
283
54
88
17,498
1,419

石橋計器製作所 (東京)
鈴木メーター (〃)
桑澤製作所 (〃)
浪花計器製作所 (大阪)
大阪メーター株式会社 (〃)

三一九、自動車部分品

自動車部分品は原動力機以外の凡ての部分品にして、その主たるものは車輪及車軸、タイヤ、彈機、鎖ハンドル、ラツパ、變速裝置、氣化器、電氣點火裝置等である。

◎輸入税率

價額に對する三〇% (協定二五%)

◎主要生産者

- (タイヤ其他のゴム製部分品)
- 三田土ゴム製造株式会社(東京)
- 合資會社明治ゴム製造所(〃)
- 東京ゴム工業株式会社(〃)
- 内外ゴム合資會社(神戸)
- 攝津ゴム株式会社(兵庫)
- 角一ゴム合資會社(大阪)
- (自動車ランプ)
- やまと電球製作所(東京)
- 徳永商店(〃)
- 東京電氣株式会社(〃)
- (自動車ラツパ)
- エンパイア自動車株式会社(東京)
- (自動車リム及ホイール)
- 日本リムホイール株式会社(東京)
- 木下ホイール工場(〃)
- (計器類)

	國 産 額		輸 入 額	
	數量	價 額	數量	價 額
大正10	—	—圓	—	4,805,732圓
11	—	—	—	5,093,784
12	—	13,059,957	—	8,527,069
13	—	11,920,348	—	12,413,272
14	—	13,101,568	—	7,062,433
昭和 1	—	17,118,391	—	10,397,666
2	—	21,139,909	—	10,218,909
3	—	13,245,263	—	18,474,167
4	—	14,482,537	—	24,062,513
5	—	15,018,136	—	15,876,738

(其他の車輛部分品を含む)

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣 名	數量	價 額
東 京	—	5,375,123圓
神奈川	—	77,431
福 井	—	99,900
愛 知	—	1,698,144
大 阪	—	5,446,846
兵 庫	—	190,779
廣 島	—	158,187
福 岡	—	66,744

主要國別輸入額(昭和三年)

國 名	數量	價 額
英 吉 利	—	624千圓
佛 蘭 西	—	283
獨 逸	—	54
伊 太 利	—	88
北 米	—	17,498
加 奈 陀	—	1,419

◎主要輸入者

- 日本フォード株式会社(横濱)
- 梁瀬自動車株式会社(東京)
- 日本自動車株式会社(〃)
- 中央自動車株式会社(〃)
- 三柏商會(〃)
- 白揚社(〃)
- 興東貿易株式会社(〃)
- 日佛シトロエン會社(〃)

◎外國競争者

輸入自動車の主たるもの左の如し
フォード、ハドソン、エセツクス

國 産 額

	數量	價 額
大正10	—	2,610,623圓
11	—	3,628,932
12	305臺	952,250
13	771	982,235
14	4,092	7,436,435
昭和 1	32,665	18,724,309
2	10,789	25,256,332
3	23,347	43,049,420
4	33,867	43,128,969
5	38,589	44,277,054

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣 名	數量	價 額
東 京	2,600臺	5,523,321圓
神奈川	3,652	5,206,535
愛 知	186	599,637
大 阪	15,818	30,939,585
岡 山	220	104,260
廣 島	115	240,500
山 口	120	110,500

國産僅少にして需要に充たず、且つ輸入品は優良なるが爲めである。

◎外國品と國産品の優劣

國産自動車は品質、價格、生産能力等に於て未だ輸入品と競争する程度に至らず、輸入品中就中フォード等に比して著しく劣る。

◎輸入防止の主要處置

優良國産品なきを以て輸入は止むを得ず、徒らに輸入を防止するは却つて不得策である。

◎外國競争者

英、佛、獨、米及伊太利產品等にしてタイヤは大部分米國品である。

◎輸入の主要原因

規格其他の關係上外國製品便利にして、且つ優秀安價なるに因る。

◎輸入防止の主要處置

自動車が大部分輸入品なるを以て其の部分品も大部分輸入品が使用されるは止むを得ない。

- 石橋計器製作所(東京)
- 鈴木メーター(〃)
- 桑澤製作所(〃)
- 浪花計器製作所(大阪)
- 大阪メーター株式会社(〃)
- (自動車用電池)
- 古河電氣工業株式会社(東京)
- 神戸電機株式会社(神戸)
- 湯淺蓄電池製造株式会社(大阪)
- (其他の部分品)
- 小田木芳次郎工場(東京)
- 日本精工株式会社(〃)
- 岡野製作所(〃)

三二〇、自轉車及自動自轉車

自轉車には男子用、婦人用、兒童用等の各種、自動自轉車には二輪車三輪車、一人乗、二人乗、揮發油發動機と電動機等の區別がある。自轉車は現在殆んど國産品を以て需要を充しつゝあるが、自動自轉車は大部分輸入品である。

◎輸入税率

自動自轉車一輛に付九三圓六〇錢
普通自轉車は同二五圓八〇錢。

◎主要生産者

- (自轉車)
 - 大日本自轉車株式會社 (東京)
 - 帝國輪業株式會社 (シ)
 - 合資會社宮田製作所 (シ)
 - ゼブラ自轉車製作所 (シ)
 - 岡本自轉車自動車製作所(名古屋)
 - 日英自轉車株式會社 (神戸)
 - 帝國鐵工株式會社 (シ)
 - 大阪自轉車合資會社 (大阪)
 - (自動自轉車)
 - 猿山自轉車店 (東京)
 - 鋼輪社 (大阪)
 - 上村商會 (シ)
- (但し主要部分は殆んど輸入品にし

輸入額	
數量	價額
13,387輛	1,919,275圓
10,167	1,758,210
9,538	1,786,237
10,991	3,086,523
6,804	2,803,090
6,847	2,782,211
4,750	1,728,301
3,824	1,684,196
3,507	1,606,653
2,079	967,095

(自動自轉車を含む)

國産額	
數量	價額
—臺	15,889,540圓
—	13,374,210
69,677	2,891,460
92,172	2,751,270
38,229	864,796
41,382	1,112,621
89,629	3,093,083
125,588	3,323,999
148,549	3,597,426
185,600	4,078,752

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
埼玉	1,000臺	18,000圓
東京	54,148	717,445
石川	2,400	16,800
愛知	23,373	1,580,255
大阪	30,163	515,727
兵庫	14,244	469,287

主要國別輸入額(昭和三年)

國名	數量	價額
英吉利	1,764輛	582千圓
獨逸	69	45
白耳義	11	5
伊太利	37	27
瑞典	5	3
北米	1,916	1,018

て純國産自動自轉車に非ず)

◎主要輸入者

- 株式會社丸石商會 (東京)
- 合資會社宮田製作所 (シ)
- 二葉屋株式會社 (シ)
- 株式會社野澤組 (シ)
- 山田輪盛館 (シ)
- 株式會社横山商店 (神戸)

◎外國競争者

- ジエービー・ブルツク商會(英國)
- ビー・エス・エー・サイクル商會(シ)
- ラレー・サイクル商會 (シ)
- トライアンフ・サイクル商會(シ)
- ハーレーダビットソン商會(米國)
- ヘンデー會社 (シ)

◎輸入の主要原因

自轉車は輸入極く少く、自動自轉車は殆んど國産なき爲めである。

◎輸入防止の主要處置

自轉車は既に略輸入防止の目的を達したるを以て其必要なく、自動自轉車に就ては製作技術を研究し國産の増加に努める事が急務である。

三二一、自轉車部分品

自轉車部分品の主たるものは、タイヤ、チユープ、リム、スポーク、サドル、バンドルバー、ペダル、チェーン、ハブ、ブレーキ、ギアケー

(昭和三年)

價額
2千圓
1,245
19
135
1
168

- 廣瀬製作所 (東京)
- セブラ製作所 (シ)
- 疋田製作所 (シ)
- 宇佐美自轉車製作所 (名古屋)
- 名城自轉車製作所 (シ)

- 穂積製作所 (東京)
- 水垣製作所 (シ)
- 吉川製作所 (シ)
- (サドル) (シ)
- 合資會社山本工場 (神戸)